

令和元年度第2回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

令和元年7月29日(月) 14時～
加西市役所 1階多目的ホール

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員等出席者の紹介

4 議事

平成30年度事業の評価検証

(1) 第1回部会 外部評価(2次評価)の進め方

(2) 第1回部会 外部評価(2次評価)の実施 ※3部会での検討

5 その他

6 閉 会

配布資料

- ・資料1 第1回部会 外部評価(2次評価)実施要領
- ・平成30年度総合計画施策評価一覧
- ・平成30年度総合計画評価シート

【次回開催予定】

第3回 令和元年8月21日(水) 14:00～ 市役所1階多目的ホール

※ 平成30年度事業の評価検証 等

令和元年度 第2回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

氏 名	団体名等	役 職	備 考
石 芳博	加西市区長会	富田地区代表区長	
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
織部 明政	加西市連合PTA	副会長	(欠席)
久米澤 稔	連合兵庫北播地域協議会	副議長	
杉本 建人	加西商工会議所	専務理事	
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	
高見 千里	女性農業者	代表	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	
仁科 崇良	北条金融協会	会長	
松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会	会長	
宮本 真見子	加西市立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	会長	

■市担当者（説明員）

氏 名	所属・役職名
山本 和孝	総務部長
奥隅 一博	健康福祉部長
河原 浩申	地域振興部長
末廣 泰久	都市整備部長
高井 勝仁	生活環境部長
本玉 義人	教育部長

■事務局

氏 名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課主任
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員

第 1 回部会 外部評価（2次評価）実施要領

1 外部評価（2次評価）の進め方

部会での検討（90分）

- ① 市民の視点から各施策について別紙「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1次評価）の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。

評価方法は、施策毎の1次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄にSからDを書き込んでいく。

総合評価基準	説明	目標数値の達成度 単年(H30)の数値目安
S 目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている	130 以上
A 目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	110～129
B 目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	90～109
C 目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	70～89
D 目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	69 以下

- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

2 部会の編成

部会名	対象政策	担当委員	事務局	説明員
①人づくり ・産業部会	政策 01 明日を担い 未来へつなげる人づくり	杉本副会長	岩野主任 小山専門員	教育委員会 本玉部長 地域振興部 河原部長
	政策 02 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり	石委員 織部委員		
	政策 03 地域の豊かさや元気を 取り戻す産業づくり	谷勝委員		
②まちづくり ・くらし部会	政策 04 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり	辻田委員	藤後課長 大西主事	健康福祉部 奥隅部長 都市整備部 未廣部長
	政策 05 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり	上田尾委員 高見委員		
	政策 06 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり	松岡委員		
③環境 ・地域経営部会	政策 07 自然環境の保全と 特色ある景観づくり	杉山会長	千石部長 後藤係長	総務部 山本部長 生活環境部 高井部長
	政策 08 循環型社会をめざす 生活環境づくり	久米澤委員		
	政策 09 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西	仁科委員 宮本委員		
	政策 10 健全な行財政運営の確立			

総合計画施策評価一覧
(平成30年度評価)

平成30年度

総合計画施策評価一覧

(サンプル)

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

各指標に対する実績を【評価シート】から転記

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	85	78	B	②	B 公民館活動の活性化を図り、広報からSNSまで様々な媒体を活用し生涯学習情報の発信を行いました。また、7校区の学校で、地域団体と連携して、土曜日に教育活動事業等を実施し、多数の児童が参加しました。図書館では各種イベントの充実を図るとともに、各学校と連携して団体貸出託送サービスや読み聞かせの出前講座等を継続しました。 市民会館では、利用者に気持ちよく利用いただけるよう丁寧な案内や清掃にも努めると同時に、自主事業の内容を工夫したことや種類が増加したことにより、利用者からも好評を得ています。加西市文化祭についても、例年以上の出品数がありました。	自主的に学ぶ公民館登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきているため、公民館主催講座を契機とし、自主的なグループ活動へ移行するプログラム作りに努めます。また、図書館については、今後さらに学校図書館との連携を強化し、図書資料の充実や、各種イベントの充実に努め、日頃から図書館に来館する習慣のない人にも足を運んでもらえるように図書館サービスの拡充を進めます。				
		2		6	教育委員会	生涯学習課	②	B	58	43	B	②						
		3		7	教育委員会	図書館	②	B	92	88	B	②						
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	104	104	A	②						
		5	5-83	9	教育委員会	総合教育センター	②	S	140	140	A	②						
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	88	70	B	②	B 事業を通して市内の若者団体との交流を図っています。加西サイまつり・成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリー教室等の指導者として参加しました。また、今年度も加西サイまつりでの企画「おたけ屋敷大作戦」や「新春のつどい」を継続して実施し、多くの参加者がありました。	青年連絡会の会員数減少に伴い、夢画する事業の数が減少しているため、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。また、青少年団体連絡協議会の登録者数は、進学や就職に伴って会員数が減少しており、一度離れた会員の再加入や新規会員の獲得につながるような広報活動が必要です。				
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	B	75	60	B	②						
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	97	96	B	②	B 加西南多目的広場やぜんぼうグリーンパーク各種設備などの体育施設の修繕を行い、利用者の利便性を向上させました。また、スポーツフェスティバルとして、沢松奈生子氏によるテニス教室と講演会を開催しました。その他、各種スポーツ教室を開催し、昨年に引き続き多くの方に参加してもらえました。	市民のスポーツ実施率向上のため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催していく必要があります。また、老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要となっています。				
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	82	B	②						
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	91	82	C	②						
1	出合いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	35	35	C	②	B 平成29年10月に民間事業者に委託して開設した出逢いサポーターセンターでは加西市商工会議所青年部と連携した婚活セミナーや婚活イベントを開催しており、平成30年5月より、仲人役となる「出逢いサポーター」の養成など、出逢い支援に向けた新たな事業を展開しました。	出逢いサポーターによるマッチングによって、成婚となったカップルができました。今度も成婚を増やしていくために、婚活イベント参加者に登録を促し登録者を増やしていきます。また、職域交流については、引き続き、商工会議所と連携していきます。				
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	400	200	B	②						

1 施策ごとに評価

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況				課題と今後の取組
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	85	78	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、広報からSNSまで様々な媒体を活用し生涯学習情報の発信を行いました。また、7校区の学校で、地域団体と連携して、土曜日に教育活動事業等を実施し、多数の児童が参加しました。図書館では各種イベントの充実を図るとともに、各学校と連携して団体貸出送サービスや読み聞かせの出前講座等を実施しました。 市民会館では、利用者に気持ちよく利用いただけるよう丁寧な案内や清掃にも努めると同時に、自主事業の内容を工夫したことや種類が増加したことにより、利用者からも好評を得ています。加西市文化祭についても、例年以上の出品数がありました。	自主的に学ぶ公民館登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきているため、公民館主催講座を契機とし、自主的なグループ活動へ移行するプログラム作りに努めます。また、図書館については、今後さらに学校図書館との連携を強化し、図書資料の充実や、各種イベントの充実にも足元を運んでくれるように図書館サービスの拡充を進めます。			
		2		6	教育委員会	生涯学習課	②	B	58	43	B	②						
		3		7	教育委員会	図書館	②	B	92	88	B	②						
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	104	104	A	②						
		5	5-83	9	教育委員会	総合教育センター	②	S	140	140	A	②						
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	88	70	C	②	B	各事業を通して市内の若者団体との交流を図っています。加西サイサイまつり、成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。また、今年度も加西サイサイまつりでの企画「お化け屋敷大作戦」や「新春のつどい」を継続して実施し、多くの参加者がありました。	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業の数が減少しているため、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。また、青少年団体連絡協議会の登録者数は、進学や就職に伴って会員数が減少しており、一度離れた会員の再加入や新規会員の獲得につながるような広報活動が必要です。			
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	B	75	60	B	②						
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	97	96	B	②	B	加西南多目的広場やぜんぼうグリーンパーク各種設備などの体育施設の修繕を行い、利用者の利便性を向上させました。また、スポーツフェスティバルとして、沢松奈生子氏によるテニス教室と講演会を開催しました。その他、各種スポーツ教室を開催し、昨年に引き続きも多くの方に参加してもらいました。	市民のスポーツ実施率向上のため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催していく必要があります。また、老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要となっています。			
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	82	B	②						
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	91	82	C	②						
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	35	35	C	②	B	平成29年10月に民間事業者に委託して開設した出逢いサポーターセンターでは加西市商工会議所青年部と連携した婚活セミナーや婚活イベントを開催しており、平成30年5月より、仲人役となる「出逢いサポーター」の養成など、出逢い支援に向けた新たな事業を展開しました。	出逢いサポーターによるマッチングによって、成婚となったカップルができました。今度も成婚を増やしていくために、婚活イベント参加者に登録を促し登録者を増やしていきます。また、職域交流については、引き続き、商工会議所と連携していきます。			
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	400	200	B	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	半年(H30)	最終(R2)			総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
														H30取組状況	課題と今後の取組		
2	5	特色ある教育	1	5-82	19	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	67	B	②	B	小中連携教育が積極的に推進されるよう、引き続き、小中合同研修会や相互授業参観、さらには、小・小もしくは小中の合同授業や合同交流会を実施しました。また、幼稚園、こども園、特別支援学校及び公民館活動等へ、ALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。 大学や県立教育研修所などの関係機関と連携し、英語や道徳の教科化に向けた研修をはじめ、教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修を実施しました。 北条高校の活性化について、幅広いジャンルから優れた講師を選出し講演をさせていただく「講演会事業」を新たに実施し、生徒だけでなく多くの保護者や地域住民を高校へ呼び込み、地域における文化活動の拠点として学校を位置付けることを目指しました。		
			2		20	教育委員会	学校教育課	②	A	100	86	B	②				
			3		21	教育委員会	教育総務課	②	B	92	67	B	③				
			4		22	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②				
			5		23	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②				
			6	5-86	24	教育委員会	総合教育センター	②	S	113	113	B	②				
			7		5-85	25	教育委員会	学校教育課	②	B	33	33	C				
			8	5-87	26	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	112	103	B	②				
2	6	安全安心で潤いのある学校	1	5-84	27	教育委員会	教育総務課	③	—	—	100	B	①	C	特別支援学校感覚学習室・体育館改修工事、加西中学校職員トイレ棟改修工事の設計を行いました。 南部学校給食センター改築工事については、補助事業の未採択に伴い、未実施となりました。	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて平成27年度までに改修を完了しましたが、それ以降に建設された建物は、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。	
								③	—	—	100						
								③	—	—	100						
			2		28	教育委員会	教育総務課	②	B	10	8	C	②				
3		29	教育委員会	教育総務課	②	A	100	0	C	②							
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	31	教育委員会	学校教育課	②	S	101	98	B	②	B	引き続き、各校で地域の方々をゲストティーチャーとして招き、「生きる力」の育成とふるさと意識の醸成に努めました。 ワンジョイスクール事業を展開している全小学校においては、メンバーの部屋が設置され、地域住民が訪問し、学校教育を支援できる環境が整い、交流の場としての機能も果たしています。 また、オープンスクールや各種行事を通じて、学校の特色ある取組を周知し、地域から信頼される学校づくりを推進しました。	ゲストティーチャーに限らず、学校の業務改善につながる地域人材の活用や確保を推進します。オープンスクール等の実施内容を充実させ、地域住民への周知方法を検討し、地域に信頼される学校づくりに繋げていきます。 学校が地域の交流の場となることが期待される中、活動しやすい環境づくりを進めていくことが課題です。	
			2		32	教育委員会	総合教育センター	③	—	—	100	B	①				
			3		33	教育委員会	学校教育課	②	B	92	80	C	②				

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り達成、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)					最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H30取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等
								区分	単年(H30)	最終(R2)							
3	裾野の広い農業の育成	1	4-65 3-60	35	地域振興部	農政課	②	A	100	67	A	B	裾野の広い農業を育成するため、「かさい農業塾」の開催、特産品普及推進、市民農園の整備、新規就農の受け入れ促進、法人化を検討する組織との協議、認定産業者ならびに「農業法人による利用集積の加速等を行い、JA兵庫みらいが特産化を目指すアスパラガスは、アスパラ部会も設立され生産者も121に増加しました。また、新たにトマト農家が就農し、加西市では初めての夫婦型の就農となりました。	市民農園については、関係機関へのPRだけでなく、都市農村交流に係る多様な取り組みを通して様々な媒体を使ったPRが必要であると考えています。 新規就農支援策では、市外の新規就農者にとっては、農地・住居の選定に時間を要することが多く、新規参入しやすい空き農地や空き家の情報収集に努めています。 また、大規模施設園芸のみならず、新技術の裾野を広げていくための取り組みを推進していきます。一方、味に拘り土耕栽培を行ってきた「加西とまと」「加西いちご」等の生産者が加西産産物のブランドを作り上げてきましたので、両者のバランスを考えながら相乗効果を出せるような方向性が必要です。			
							②	S	150	150	A						
		2	2-46	36	地域振興部	農政課	②	S	150	100	A						
							②	B	78	67	C						
		3	3-62 2-47	37	地域振興部	農政課	②	B	50	50							
							②	A	100	100							
		4	2-49 2-50	38	地域振興部	農政課	②	S	250	250	B						
							②	A	100	100							
5	39	地域振興部	農政課	②	S	160	106	S	②								
6	40	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②								
7	2-48	41	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②							
8	3-59	42	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②							
3	地域資源を活用した産業振興	1	4-66	43	地域振興部	農政課	②	B	80	60	B	B	加西インター産業団地整備について、整備対象となる土地の所有者の合意形成を図るため説明会や個別交渉を行いました。また、1工区の整備工事実施設計を行ったほか、農村地域産業導入実施計画の策定、産業振興地域整備計画による総合見直し、優先交渉事業者の募集を行いました。 市内企業の拡張支援について、市街化調整区域の産業促進を図るため、「鶴野飛行場跡地東部産業拠点地区」「鶴野上町産業集積地区」、「東高室次世代へのまちづくり産業立地促進地区」及び「加西インター産業団地地区」において、地区計画を策定しました。また、市街化区域である「中野・下宮木地区」において、市街化を促進するため用途地域の変更を行いました。 産業振興を図るため、加西商工会議所と連携し、各種ビジネス講座や個別相談会等の地域経済の活性化を目指した多彩な事業を開催、ポイントカード事業や市内共通商品券事業等を実施し市内消費の喚起に努めました。 低利子かつ保証料補助等を行う市の中小企業制度融資を実施し、市内中小企業への運転資金や設備投資のための融資をあっせんしました。商業施設誘致についての調査・研究も引き続き行っています。	加西インター産業団地について、優先交渉事業者と契約に向けて交渉を行い、同事業者が万全のスタートをきれるよう、必要な事務手続きを踏まえ1-2工区の造成工事に着手します。 市内企業の拡張支援について、特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った適切な制度の選択による規制緩和に取り組みます。 産業振興策による地域経済の活性化については、今後の急速な人口減少により縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図ります。 中小企業制度融資や創業支援事業等、他市町及び県の制度の動向等をみながら、制度のあり方を研究していきます。また、金融機関と調整会議を開催し、ニーズの把握に努めていきます。 市が誘致したビジネスホテル「ルートイン加西 北条の宿」がH30年12月オープン。さらなる街の賑わいの創出の機会として、地域経済の循環と持続性を高めるため、商業における事業環境の整備や地域課題の解決に向けたさらなる取り組みの支援を図ります。			
							②	S	160	160	A						
		3	2-52	45	地域振興部	産業振興課	②	B	99	97	C						
							②	S	105	96	A						
		4	3-57	46	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	107	94							
							②	S	102	100	B						
		5	47	地域振興部	産業振興課	②	S	102	100	B	②						
		6	4-67	48	地域振興部	産業振興課	②	A	100	97	B						②
		7	2-39 4-68	49	都市整備部	都市計画課 開発推進課	②	未発表	未発表	未発表	B						②
8	50	地域振興部	産業振興課	③	A	100	100	B	①								
9	3-56	51	地域振興部	産業振興課	②	S	102	100	B	②							
3	加西に住んで働ける就労支援	1	2-37	53	地域振興部	産業振興課	②	S	101	98	C	B	兵庫県、大阪府、岡山県、鳥取県の兵庫県出身者の多い3大学を訪問し、Uターン、Uターンへの推進に努めるとともに、兵庫労働局との雇用対策協定のもと、加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇、加西市雇用開発福祉協議会等の関係機関と連携して、各種就職支援に取り組んだほか、女性や社会的弱者に対する相談体制を充実しました。 また、産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口(産業振興課)、かさい創業塾(加西商工会議所)、創業支援相談窓口(加西商工会議所)等の創業希望者に対する支援を行いました。 その他、Uターン者の支援として交付しているUターン促進補助金について、申請者が昨年より増加し、継続申請者数が185人、新規申請者数が46人、合計231人のUターン者に対し当該補助金を交付しました。	全国的な人手不足により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあるため、大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRやハローワーク西脇と協力して、加西市内で保育分野、介護分野の就職面接会(説明会)を実施します。また、令和元年から、インターンシップ雇用促進モデル事業を始め、地方の大学生がUターンによる就職を考える機会を設けます。 街角コンサート事業については、観客席数も限られており、観客数が思うように伸びていません。一定の周知がされている現在の形をベースにしつつ、新たな開催場所等について検討します。			
							②	B	83	76	C						
		3	2-34	55	地域振興部	産業振興課	②	B	79	75	C						
							②	B	83	76	C						
		4	2-38	56	地域振興部	産業振興課	②	B	0	0	C						②
		5	2-32	57	地域振興部	産業振興課	②	S	107	91	C						②
		6	2-33	58	地域振興部	産業振興課	②	B	96	90	C						②
		7	2-36	59	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	80	56	B						②
		8	2-41	60	ふるさと創造部	ふるさと創造課 文化・観光・スポーツ課	②	B	40	40	C						
							②	B	66	66	C						
9	2-42	61	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	20	20	C	②							
10	2-45	62	地域振興部	産業振興課	②	S	171	171	B	②							
3	加西らしい観光サービス	1		63	教育委員会	生涯学習課	②	S	215	187	S	B	市指定文化財として3群(11建物)を新指定し、文化財説明看板を4基新設しました。また、市指定に先立ち酒見寺建造物群の実測、「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」策定の事前調査として腰石積建物調査を実施しました。 鶴野飛行場跡へツアー企画を実験実施し、400人の想定を上回る560人超が訪れ、関心の高さが見えました。「かさいまちあそび」従来の事業に加えて、事業の企画・運営能力、内部コミュニケーションの向上を図るセミナーを開催しました。	令和元年度に策定予定の「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」に基づき、今後は包括的な文化財の指定を進め、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進します。 鶴野飛行場跡は、生活圏にあるため地域の理解が必要です。「かさいまちあそび」については、市民活動団体の育成を継続していきます。また、まちあそびの周年開催に向けて、団体を育成します。Wifiは、拡充設置に向けて検討します。			
							②	S	189	170	B						
		3	3-58	65	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	103	89	A						
							②	B	98	88							
		4	66	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	86	86	C	②						
		5	2-51 6-92	67	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	88	89	B						②
		6	3-54	68	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	167	100	S						①
7	3-55	69	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②							

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
4-12	魅力ある中心市街地の形成	1	71	総務部	管財課	②	B	0	0	B	②	A	北条西保育所跡地については、早期に境界確定を行い、登記事務を完了の上、売却事務を進めます。旧庁舎近隣にホテルが開業したため、今後の周辺土地利用の需要を考慮して効果的な跡地利用を検討していきます。 西高堂土地区画整理事業について、事業計画の変更・認可後に換地処分が完了し、事業が完了する予定です。 中野町上山地区において、まちづくり協議会と協働し、引き続き良好で利便性の高いまちづくりを積極的に推進します。 空き家・空き店舗の活用について、ハード面での整備が完了しましたが、建物を維持しながら運営する主体が自走するためには、行政や地域住民等の協力が不可欠であり、4か所のモデル拠点が互いに連携できる関係づくりが必要ですので引き続き側面支援を行っていきます。 また、空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。					
		2	1-31	72	都市整備部	開発推進課	②	S	125	100	A					②		
		3		73	都市整備部	都市計画課	②	B	70	70	C					②		
		4	2-40 2-43 2-44	74	地域振興部	ふるさと創造部	産業振興課	人口増政策課	②	B	87					87	C	②
									②	B	0					0		
									②	B	33					20		
		5	4-77	76	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	180	180	S					②		
		6	1-25	77	都市整備部	都市計画課	②	—	—	—	C					②		
		7・8	1-27	78	ふるさと創造部	人口増政策課	③	—	—	151	S					①		
		9	1-28	79	ふるさと創造部	人口増政策課	③	—	—	98	B					②		
		10	4-74	80	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	200	200	S					①		
11	4-78	81	都市整備部	都市計画課	②	S	130	100	A	②								
4-13	周辺地域の定住促進	1	3-63 3-64 4-76	83	ふるさと創造部	地域振興部	ふるさと創造課	きてみて住んで課	②	B	0	0	C	②	空き家対策について、ふるさと創造会議の新たな交付金制度の中で、選択課題解決加算を創設しました(H30年度から運用開始)。また、平成30年度にきてみて住んで課が新設され、移住相談会、電話、窓口、メールなどによる移住に関する相談の窓口が一本化されました。 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しの検討を行いました。 加西インター産業団地地区において、農村地域産業導入実施計画を策定し、ほ場整備事業と整合した土地利用のあり方について地元や県担当部局と協議を行いました。 鶴野飛行場跡地では環境周辺整備や空がつなぐまち・ひとづくり交流事業により、地域活性化施設の建物及び展示の基本設計を行いました。 また、情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めるため、大阪や神戸などへの出張移住相談会に計5回参加しました。 新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ周知徹底してまいります。			
									②	S	237	166						
									②	B	33	20						
									②	B	40	40						
		2		85	都市整備部	都市計画課	②	B	67	40	C	②						
		3	1-26 1-30	86	地域振興部	産業振興課	②	S	229	206	A	②						
							②	B	77	71								
		4	4-75	87	都市整備部	開発推進課 都市計画課	②	A	100	100	B	②						
		5	3-53	88	ふるさと創造部	鶴野未来課	②	A	100	50	B	②						
6		89	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②								
7	1-24	90	都市整備部	都市計画課	②	B	63	48	C	②								
8	1-29	91	ふるさと創造部	ふるさと創造課	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止								
9	2-35	92	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	167	167	A	②								
4-14	公共交通網の構築	1・2 6・9	1-1 4-69 4-71	93	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	126	101	B	②	コミバスの利用者に対する交通調査を行い、利用状況の調査・分析を実施し、地域公共交通網形成計画を策定するとともに、地域主体型交通検討のためのアンケート調査を一地区で実施し、導入検討に向けた支援を行いました。 また、公共交通を促したモーターツアの実施や北条町駅、法華口駅および車庫内のWiFi整備への支援を行い北条鉄道の利用促進を行いました。 地域公共交通網形成計画に定める目指すべき公共交通サービスの構築に向け施策を進めます。 また、広域幹線バスのフィーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入の推進、市内の施設情報などの充実、老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。 コミバス利用者の新規開拓として特に子育て世帯への利用促進を行います。					
							②	B	89	87								
		3	1-1 4-71	94	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	126	101	B	②						
		4	1-1 4-69 4-71	95	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	126	101	B	②						
		②	B	89	87													
5	4-69	96	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	89	87	C	②								
7・8	1-1 4-69 4-71	97	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	126	101	B	②								
②	B	89	87															
4-15	住みよい住環境	1	99	都市整備部	都市計画課	②	S	101	97	B	②	B	都市公園等については指定管理者と協働し、利用者数の更なる増加に向けての取り組みや、遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。また、丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについて、撤去も視野に入れた対策を検討していきます。平成30年度に撤去した塩田地西側の東屋周辺のウッドデッキについては、令和元年にインターロッキング舗装と転落防止柵の整備を行います。 道路・河川の整備や橋梁の修繕等を計画的に進めます。 また、史跡整備・活用については、補助事業のため、国・県の状況によりスケジュールの遅れが発生しており、国・県とスケジュールを調整し整備計画を変更する必要があります。					
		2	100	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	50	B	②							
		3	4-70	101	都市整備部	土木課	②	B	24	13	C					②		
		②	B	59	32													
		4	102	都市整備部	土木課	②	B	98	96	B	②							
		5	103	都市整備部	土木課	②	S	107	64	B	②							
		6	104	都市整備部	土木課	②	B	40	29	C	②							
7	105	都市整備部	土木課	②	B	33	20	C	②									

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	半年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
5-16	社会参加を通した生きがいづくり	1		107	教育委員会	生涯学習課	②	S	120	115	S	②	B	高齢者講座について、運営委員会の自主運営で事業を実施している講座では、企画に参画するなど、活性化しています。障がい者サロンは新規2団体を含め、計8団体による実施となり、障がい者フォーラム等の新規事業を実施することができ、内容に幅が出てきました。社会参画機会の拡大と環境づくりを進めるため、障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援の実施や市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き生き元氣塾」は参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、ボランティアの確保にはつながっていません。障がい者サロンについては、参加人数も徐々に増加していますが、今後も広報等を行い新規参加者を増やしていきます。また、障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。			
		2		108	健康福祉部	長寿介護課	②	B	74	68	C	②						
		3		109	健康福祉部	長寿介護課	②	B	58	51	C	②						
		4		110	健康福祉部	地域福祉課	②	S	107	103	A	②						
		5		111	健康福祉部	地域福祉課	②	S	101	95	B	②						
		6	3-61	112	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②						
5-17	こころからたの健康づくり	1	5-80	113	健康福祉部	健康課	②	B	83	74	B	②	B	がん検診無料クーポンの配布と未受診者の動員を行ったほか、特定健診の無料化を実施し、老人会と連携した受診促進を行いました。また、健幸ポイント事業の参加者数が1,500人となり、県庁ワークセンターの入園や北条鉄道の利用をポイント付対象に加えたほか、ウォーキングイベントや加西市ラジオ体操などのポイント付イベントも充実させ、健康づくりの環境整備を進めました。	予防接種の助成制度について、本来任意予防接種は定期接種と違い、接種の努力義務がないため個別通知を行いますが、対象者へ確実に情報を届けるために個別通知を実施しました。その効果もあり1歳6か月児健診アンケートでは多くの保護者に周知できていることを把握しました。今後も広報だけでなく個別通知を継続し、接種希望者が利用しやすい事業にします。また、今後もおたふくかぜの予防接種の継続と高齢者への任意予防接種として定期予防接種対象年齢外の肺炎球菌予防接種の助成を継続します。また、平成30年度に自殺対策計画を策定し、全庁的な取り組みとして、庁内横断的に、関係者との連携・協働によりさらに対策を推進していきます。			
							②	S	111	106								
							②	B	91	77								
		2	1-2	115	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②						
							②	—	—	—	C	②						
		3		116	健康福祉部	健康課	②	B	65	62	B	②						
							②	S	101	98								B
		4		118	健康福祉部	健康課	②	B	91	83	C	③						
							②	S	120	114	A	②						
7		121	健康福祉部	健康課	②	—	—	—	B	②								
					②	—	—	—										
					②	B	96	107										
8	1-19	123	健康福祉部	健康課	②	B	61	55	C	②								
					②	S	150	150	A	③								
9	5-79	124	健康福祉部	健康課	②	S	150	150	A	③								
					②	—	—	—	D	②								
5-18	地域医療体制の充実	1		125	加西病院		②	B	0	0	C	②	C	信頼される病院づくりに努めるため、中学生向けの救急救命講習や住民向けの病院出前講座などを実施するとともに、循環器内科の開業医・救急向けホットラインを運用し、急変した患者さんの早期受け入れを促進しました。また、市立加西病院の将来のあり方を検討する市立加西病院将来構想検討委員会を開催しました。その他、電子カルテシステムを更新し、患者さんのニーズに合わせてクレジット払い、夜間救急時の清算支払いを実施するとともに一部医療機器の充実を図りました。また、加西市医師会による休日診療、加西市歯科医師会による年末年始の休日歯科診療を実施しました。	平成29年度に地域の方々で構成された、加西病院サポーターの会が結成され、病院内でのボランティア活動や院外での病院認知度向上の活動をしてもらっており、積極的に協力して親しめる。選ばれる病院づくりを進めるとともに、加西市将来構想検討委員会での病院の在り方の検討を進めます。紹介患者数は11.7%増加しましたが、救急受入増等患者数の増により紹介率、逆紹介率は低下しました。今後も開業医との連携を強化して入院患者数の増を図ります。また、はりま姫路総合医療センターが令和4年にも開設される予定であり、同センターとも機能連携協議を開始します。身近にある病院としての救急の受入、可能な急性期医療の提供、地域包括ケア病棟の活用により、開業医と連携を深めて地域医療の充実を図ります。			
		2		127	加西病院		②	B	97	89	C	②						
		3		128	健康福祉部	健康課 福祉企画課	②	B	94	89	C	③						
		4		129	健康福祉部	福祉企画課 健康課 長寿介護課	②	B	0	0	C	②						
		5		130	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②						
		6	1-4	131	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
6-19	地域で支え合う安心の暮らし	1		133	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課 福祉企画課	②	S	116	108	B	②	B	地域の介護予防リーダーの養成について、社会福祉協議会と共催により、生活支援サポーター養成講座と共通講座(2回)を設けて、年に1度全4回の講座を開催し、延べ120名の参加がありました。 また、各小学校区ごとに1町選出し、あったか声かけ作戦を実施しました。キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座を行い、その後、住民らによる寸劇や声かけ体験を実施し、行方不明の人がいたらどのように対応したらよいかを学びました。	配食サービスについて、令和元年度より一定の要件を満たす民間事業者を含めた加西市登録配食事業者からの配食サービスに利用助成を行います。また、登録された事業者をネットワーク化することで助成事業に該当しない高齢者等にもより安心して安全な食事の選択の幅を拡大し、利便性を確保することにつなげます。 高齢者の移動手段確保のニーズが高まっていますが、公共交通との積み分けが課題となっています。関係機関と調整のうえ、総合的な移送サービス事業を検討していきます。			
		2		135	健康福祉部	長寿介護課	②	B	87	87	C	②						
		3		136	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	B	52	52	C	②						
		4		137	健康福祉部	長寿介護課	②	S	119	100	A	②						
		5	5-81	138	健康福祉部	長寿介護課	②	B	25	13	C	②						
		6		139	健康福祉部	長寿介護課	②	A	100	100	B	②						
6-20	防犯・防災のまちづくり	1		141	総務部	危機管理課	②	B	84	82	C	②	B	資機材整備補助制度の見直しによる消防関係の資機材を中心とした補助申請が増え、新たに11団体に対して補助を行いました。 また、通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図るため、LED防犯灯を自治会申請、通学路設置含めて59灯を設置しました。また、防犯カメラは、市設置を8基、自治会設置を9基設置しました。	災害時要援護者の登録について、平成31年2月時点で災害時要援護者数1,198名(+39)、支援不要と回答があった未登録要援護者746名(+18)、支援希望の有無について回答がない潜在要援護者244名(+13)となっており、台帳登録率に変化がないため、今後、福祉委員(民生委員)の協力も得ながら、支援希望の回答のない方にアプローチしていきます。 また、老朽危険空き家問題に取り組むため、令和元年度に空家等対策計画の策定を行うほか、消防団のあり方についても継続して検討します。			
		2	5-89	142	総務部	危機管理課	②	B	44	38	C	②						
		3		143	総務部	危機管理課	②	S	102	97	B	②						
		4		144	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②						
		5		145	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②						
		6		146	総務部	危機管理課	②	B	40	40	B	②						
		7		147	総務部	危機管理課	②	S	203	122	A	②						
6-21	安心できる子育て支援	1	1-6	149	教育委員会	こども未来課	②	B	67	80	C	②	B	ひろば事業について、来園者数が減少傾向であることより、今後は、出張広場のように他施設や地域に積極的に出向いて、働きかける必要があります。 学童保育や公立の認定こども園において、待機児童が発生しています。放課後児童支援員や保育士の確保が課題となっています。 学童保育については、児童が安全に生活できるよう富田学童保育園舎を拡充するなど環境整備に努め、指導員の研修会を計画的に開催し、毎月の連絡会とともに、指導員の共通理解を深めました。 平成30年度も昨年同様、4-5歳児の保育料を無償化し、負担軽減を実施しました。病児・病後児保育事業については、平成30年度より月曜日から土曜日の開設としました。 また、働き方改革セミナーとして、有給や産休、育休の取得促進に関するセミナーを実施しました。	ひろば事業について、来園者数が減少傾向であることより、今後は、出張広場のように他施設や地域に積極的に出向いて、働きかける必要があります。 学童保育や公立の認定こども園において、待機児童が発生しています。放課後児童支援員や保育士の確保が課題となっています。 また、インクルーシブ教育を進めていくために、研修を通して特別支援教育の専門知識と実践力を高め、個々の園児に合った支援の方法を探っていく必要があります。支援を必要とする園児数は年々増加していますが、加配職員の確保が厳しい状況であります。丁寧な関わりがもてる環境を整えるため、引き続き職員の確保と育成に努めていきます。 また、働き方改革制度の周知を図るとともに、くろみん認定制度、えるぼし認定制度等の子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するための制度の説明等を、関係機関と連携し実施します。			
		2	1-20	150	健康福祉部	健康課	②	B	80	79	C	②						
		3	1-6	151	教育委員会	こども未来課	②	B	67	80	C	②						
		4		152	健康福祉部	地域福祉課	②	S	292	219	A	②						
		5	1-23	153	教育委員会	こども未来課	②	B	93	93	C	②						
		6	1-22	154	教育委員会	こども未来課	②	A	100	100	B	②						
		7	1-12 1-7	155	教育委員会 (ふるさと創造部)	こども未来課 (人口増政策課)	②	A	100	100	C	②						
		8	1-13	156	教育委員会	こども未来課	②	S	108	86	A	②						
		9	1-21	157	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	97	B	②						
		10	1-18	158	健康福祉部	国保医療課	②	B	94	93	C	②						
		11	1-3	159	健康福祉部	健康課	②	S	118	94	B	②						
		12	1-5	160	健康福祉部	地域福祉課	②	—	—	—	B	②						
		13	1-8	161	地域振興部	産業振興課	②	B	93	93	B	②						
		14	1-9	162	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	67	B	②						
		15	1-10	163	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②						
		16	1-11	164	教育委員会	こども未来課	①	—	—	—	C	③						
		17	1-14	165	教育委員会	こども未来課	②	S	311	155	A	②						
		18	1-15	166	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	94	87	B	②						
		19	1-16	167	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	71	64	C	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り達成、B:予定より遅延

※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アクション プラン	個票 ページ	主管部課		進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年 (H30)	最終 (R2)			最終とりまとめ		総合 評価	総合 評価	意見・提案等	
													H30取組状況	課題と今後の取組				
7	22	自然と共生する里 地里山づくり	1	169	地域振興部	農政課	②	B	90	90	B	②	B	自然と共生する里地里山づくりのため、住民参加による地域の里山整備を支援し9団体に対し補助金を交付しました。ため池の改修は、事業着手(三口町、坂本町、田谷町)5池、調査設計(東高室)3池を実施しています。 あびき湿原では近年来場者が多くなったため、市と県が補助を行い、あびき湿原内に盗掘防止用の柵を設置しました。また、保全活動を推進するため、ソフト面の支援を行いました。 また、兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業として、夏休みにバスツアーを企画し159名の応募があったものの、天候不良のため実施できませんでした。	有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐため、新たに被害が発生している南部地域を中心に金網柵を設置するとともに、有害鳥獣の直接駆除により個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努めます。 兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業では、平成30年度は天候不良のため未実施となったが、次年度以降は、様々な層に知的関心をもっていただけるような企画を検討・実施します。			
			2	170	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②						
			3	171	生活環境部	環境課	②	A	100	100	B	②						
			4	172	地域振興部	農政課	②	A	100	73	B	②						
			5	173	地域振興部	農政課	②	S	120	112	A	②						
			6	174	地域振興部	農政課	②	S	111	100	A	②						
7	23	加西の風土を活 かした景観づくり	1	175	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	188	150	S	②	B	市街地の再活性化及びビジネスホテルの開業に合わせて、旧市街地への流れを作るためのマップを作成しました。サイクリストに人気のマップ「カサイチ」を更新した。フォトコンテストでは、Instagram部門を新設し、369点の出品がありました。 花咲くまちづくりを推進するため、フラワーセンター、播磨農高で花苗の育苗を行い、公共施設や老人会花壇等に植栽することで、加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり」活動に努めました。また、植栽、育苗作業に取り組むボランティアや老人会会員の生きがいや交流の場を創出しました。	現行の観光ガイドマップが10年経過しており、新しい観光ガイドマップを作成して、加西市内の体験型ツーリズム(コト消費)をPRしていきます。 また、花苗、土等の資材単価が高騰していますが、目標とする花苗の配布数の確保に努めます。			
			2	6-92	176	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	209	191	A						②
			3	177	都市整備部	都市計画課	②	B	87	74	B	②						
			4	178	都市整備部	都市計画課	②	B	83	83	C	②						
			5	179	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】…①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】…S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】…①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
8-24	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1	181	生活環境部	環境課	②	S	103	101	A	②	A	市庁舎の電気使用量について、デマンド監視システムを運用し、庁舎電力負荷が上がらないように努めました。 また、引き続き電気自動車とともに住宅用蓄電池に対する設置補助金を実施しました。大規模太陽光発電施設の設置について、事業者へ指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めるほか、グリーンハウス建築促進補助金を実施しました。	省エネ・蓄エネ・創エネの推進として、市庁舎の電気使用量についての取組を継続していきます。 引き続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施し、蓄エネ・節エネをより一層推進します。				
		2	182	都市整備部	都市計画課	③	—	—	96	B	①							
		3	183	生活環境部	環境課	②	S	151	130	S	②							
8-25	水環境のまちづくり	1	185	生活環境部	上下水道課	②	B	99	97	C	②	B	水道事業では、3地区 L=2.04kmの配水管布設を実施しました。有収水量は、家庭用・公共用の減少を営業用の増加で補い、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減に努めました。 下水道事業では、引き続き水酸化補助金の交付制度を実施し、水酸化率の向上に努めました。 また、福住・剣坂地区の実施設計と南網引地区の工事を行いました。 道路改良事業に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。	配水池の新設工事に伴う新設管の布設工事を優先したため、非耐震管の布設工事が行えませんでした。新設管布設工事は令和2年度より実績を上げていきます。 市川町とは受水状況を見ながら協議することとなっていることから、引き続き交渉を継続します。 水酸化率は順調に伸びていますが、今後も補助金制度を継続実施し、水酸化の促進に努めます。また、生活排水処理計画に基づき、統廃合事業を実施します。 歩道の透水性舗装については、道路改良事業と併せて計画的に整備を進めてまいります。				
		2	186	生活環境部	上下水道管理課	②	S	102	100	A	②							
		3	187	生活環境部	上下水道課	②	A	100	33	B	②							
		4	188	生活環境部	上下水道管理課	②	S	104	104	A	②							
		5	189	都市整備部	土木課	②	B	36	23	C	②							
8-26	ゴミ減量と資源リサイクルの推進	1	191	生活環境部	環境課	②	S	111	100	A	②	B	播磨風土記をデザインしたマイバック(エコバック)を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減に取組みました。平成30年度はマイバック(エコバック)300個を補充作成(配布実績301個)しました。 家庭用の廃食用油の回収量は、平成30年度10.925L、廃食用油売却収入は29,565円でした。「与作プロジェクト」は、市内間伐ボランティアや市内福祉法と協力し、6tの間伐材が薪に加工されました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林整備のため、樹木粉砕機を貸出しました(4団体)。	市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。今後、広報、回収方法の再検討が必要です。 資源物集団回収登録団体による年間回収量(t)について、市内全域に民間企業による新聞雑誌、段ボールの回収ボックスが設置され、集団回収事業で回収量が減少傾向にありますが、引き続き事業の啓発に努め、地域におけるごみ減量とリサイクルの推進を図ります。				
		2	192	生活環境部	環境課	②	A	100	99	C	②							
		3	193	生活環境部	環境課	②	B	78	75	C	②							
		4	194	生活環境部	環境課	②	B	90	89	C	②							
8-27	環境学習の推進	1	195	教育委員会	生涯学習課	②	B	56	42	B	②	B	環境学習の推進として、公民館ではこども向けの講座や高齢者学級で環境学習を開催しました。 また、小・中学校で、校区の特性を生かした里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等農業体験などの環境体験学習等を実施するほか、地域人材を活用し、人・地域とつなげる研究を進めるなどの取組も行いました。 教員を対象とした環境学習に関する研修として、「次世代型農業施設」や「あき温泉」を見学し、農業と科学を融合させた環境にやさしい次世代型農業について考え、守り伝えるべきふるさとの自然に触れ、教科化について考える機会となりました。	兵庫県教育委員会が推進する「兵庫型体験学習」の一環として、小学校3年生での環境体験学習を中心に、事業が継続されています。今後は、これまでの実績に加え、小中9年間を見通した環境学習の実施、各校区の色を踏まえたカリキュラムの整備、人材バンク等、実績の蓄積と改善が必要な時期となってきています。そして、各校区での体験をともなう新たな学習教材の開発、地域人材の発掘に努め、さらに意味ある環境体験学習を目指していきます。 環境経営システムは、認証取得に数十万円から百数十万円の費用がかかるため、取り組める事業者が限られます。更新しない事業者が増えているため、取組内容の変更も含め、見直しを検討します。				
		2	196	教育委員会	生涯学習課	②	S	253	233	S	②							
		3	197	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②							
		4	198	生活環境部	環境課	②	B	66	66	C	③							
		5	199	教育委員会	学校教育課 総合教育センター	②	B	50	100	C	②							

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延

※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アクション プラン	個票 ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	最終とりまとめ		総合 評価	意見・提案等	
								区分	単年 (H30)	最終 (R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
9 28	情報公開と住民自治のまちづくり	1	6-91	201	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	75	75	C	③	C	地域おこし協力隊について、2名(2期生)でスタートし、平成30年5月に3期生1名を採用し、3名体制で実施しました。但し、2期生のうち1名は市内で起業・定休の自選が途中で退任したほか、残りの2期生1名は、市の求める隊員活動とズレが生じたため退任。新たな協力隊の採用にむけて、受け入れ地域団体(ふるさと創造会議)を対象に、協力隊研修を実施しました。 ふるさと創造会議では、平成30年3月をもって市内全地区において、創造会議が設立されたことから、平成30年度は各創造会議の組織運営を中心に支援しました。	地域おこし協力隊では、受け入れ地域団体(ふるさと創造会議)の協力隊制度及び隊員の活動内容に対する周知や理解が不足していると考えています。 ふるさと創造会議については、組織メンバー及び事業(イベント中心の事業)の硬直化や限られたメンバー(役員)間のみでの情報共有が課題であると考えていることから、外部アドバイザーの活用や地域づくりセミナー等を実施し、組織体制や組織運営の支援を行っていきます。			
							②	B	50	50								
		2	6-90	202	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	76	54	C	②						
							②	B	41	27								
		3		203	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	143	143	B	②						
		4	4-73	204	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	100	B	②						
5		205	ふるさと創造部	秘書課	②	B	50	50	C	②								
6	4-72	206	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	②								
9 29	自己実現と共生のまちづくり	1		207	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	48	40	C	②	B	在住外国人のための学習支援について、学校の授業についていけない児童とその保護者のための日本語教室を開塾するとともに、増加する外国人に対応できるよう整備していきます。 地区人権学習会、まちかどフォーラム(町別学習会)の内容、進行について、参加者から「マンネリ化している」「意見発表を求められるので参加したくない」などの意見がだされたり、町の役員の責任出席化している状況などから、内容、進行方法等について音楽を取り入れるなど、楽しみながら学習できる手法を取り入れる等の工夫をしていきます。				
		2		208	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	51	34	C	②						
		3		209	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	75	60	C	②						
		4		210	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	323	258	A	②						
		5		211	ふるさと創造部	人権推進課	②	S	109	101	A	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アクション プラン	個票 ページ	主管部課		進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年 (H30)	最終 (R2)			総合 評価	最終とりまとめ		総合 評価	意見・提案等
														H30取組状況	課題と今後の取組		
10 30	行政サービスの向上と効率経営	1		213	総務部	総務課	②	S	101	100	B	②	B	市役所の正規職員総数について、新規採用を抑制し、再任用制度を活用し計16名の任用を行うこと等により、正規職員数を4名減としました。 第6次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、引き続き地域の産学官金労言老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計4回の会議を開催しました。 また、行財政改革の取組みとして、基金残高は前年度の病院への繰出等の影響により基金積立は少なく、前年と同水準のまま目標を下回りましたが、ふるさと納税推進事業の更なる強化をはじめ、歳入の確保・歳出の適正化に努めた結果、実質収支に大きな改善が見込まれ、R元年度には多額の基金積立を行い目標に近づくことができそうです。	行政ニーズの多様化・高度化に対応するため、行政職を中心に業務量は増加している状況にあり、働き方改革やワークライフバランスに配慮した人員体制の確保を行っていく必要があります。 また、令和2年度から予定される会計年度職員制度の準備が必要です。 定住自立圏においては、次期計画の策定(令和元年度末)に向けて連携事業の評価・見直し等を進めていきます。		
		2		214	総務部	総務課	②	A	100	67	B	②					
		3・8	6-95	215	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	97	93	B	②					
		4		217	総務部	管財課	②	—	—	—	B	②					
		5	6-94	218	総務部	財政課	②	B	88	88	B	②					
							②	S	106	102							
							②	S	101	101							
					②	B	96	88									
6		220	総務部	税務課	②	S	128	127	A	②							
7		221	総務部	管財課	②	S	128	128	B	②							

総合計画評価シート
(平成30年度評価)

平成30年度評価

(サンプル)

政策・施策										
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり									
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり									
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。									
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				
	経費(千円)	3,257				3,505				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	50	
		実績	—	40	39	37	39			
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%	H30実績		
			最終年度	80%	78%	74%	78%			
H29取組状況	公民館主催講座として、地域文化の学習や社会課題に応じた講座等を連続講座39、単発講座14、合計53講座開催しました。参加者は、昨年度より279人増加し、延べ10,238人となりました。生涯学習情報については、市広報誌の他、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネット等、さまざまな媒体を活用し情報提供を行っています。									
課題と今後の取組	主催講座の参加者が公民館まつりに参加するなど、学習成果を活動に活かせるようになってきています。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)						
	②実行中	B: 予定より遅延	85%	78%	B: 目標を達成		②継続			
実施計画										
実施計画	①未着手 ②実行中 ③完了	S: 予定より早く進行 A: 予定通り進行 B: 予定より遅延 評価の目安 ※単年(H30)参照 S…101%以上 A…100% B…99%以下				左	S: 目標を大きく上回って達成 A: 目標を上回って達成 B: 目標を達成 C: 目標を下回っている D: 目標を大きく下回っている ※指標ではなく、【基本計画】に対する自己評価			①完了 ②継続 ③見直し ④廃止
	経費(千円)									
備考										

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供			
	経費(千円)	3,257				3,505			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	50
		実績	—	40	39	37	39		
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%		
			最終年度	80%	78%	74%	78%		
H30取組状況	公民館主催講座として、地域文化の学習や社会課題に応じた講座等を連続講座39、単発講座14、合計53講座開催しました。参加者は、昨年度より279人増加し、延べ10,238人となりました。生涯学習情報については、市広報誌の他、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネット等、さまざまな媒体を活用し情報提供を行っています。								
課題と今後の取組	主催講座の参加者が公民館まつりに参加するなど、学習成果を活動に活かせるようになってきています。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	85%	78%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供							
	経費(千円)	3,505							
備考									
講座内容の見直しを行った為変更									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充				・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度(公民館出前講座)参加グループ数		目標		30	35	40	45	50	60
		実績	—	25	29	21	26		
(指標及びR2目標値の設定理由) 出前講座実施グループ実数。10年後に約半数のグループが実施と設定。		目標数値の達成度	単年度	83%	83%	53%	58%		
			最終年度	42%	48%	35%	43%		
H30取組状況	公民館登録グループが、延べ52回にわたり市民3,492人に対して出前講座を行いました。昨年度より参加グループが5グループ増加しました。								
課題と今後の取組	自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきています。公民館主催講座を契機とし、自主的なグループ活動へ移行するプログラム作りに努めます。現行グループについては、引き続き出前講座のコーディネートに努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	58%	43%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	図書館			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実				・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実			
	経費(千円)	114,383				122,536			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
年間図書館来館者数(万人)		目標		23	23	23	24	24	25
		実績	26	23	22	23	22		
(指標及びR2目標値の設定理由) 図書館への来館者数の減少傾向をストップし、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	100%	92%		
			最終年度	92%	88%	92%	88%		
H30取組状況	小学校、中学校において、出前講座のブックトークやおはなし会を開催し、小学校・特別支援学校には、図書館見学で館内の案内と本の貸し出しを行いました。また、小・中学校・特別支援学校へ団体貸出託送サービスを行ったり、学校図書館の相談や本の整理作業を手伝いました。また、館内では、図書館まつりや絵本講座の開催、子ども読書週間・夏休み・キッズクラフトなどのイベントを開催したり、毎月、本の特集を各コーナーで設けました。								
課題と今後の取組	今後さらに学校図書館との連携を強化し、図書資料の充実や、各種イベントの充実に努め、日頃から図書館に来館する習慣のない人にも足を運んでもらえるように図書館サービスの拡充を進めたいと思います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	92%	88%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実							
	経費(千円)	122,536							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・東はりま大茶会 ・ふれあいの祭典兵庫短歌祭 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(実施設計) ・加西能の開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事) ・加西能の開催 ・東はりまみんよう大会 			
	経費(千円)	18,972				122,733			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西市文化祭参加者人数		目標		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		実績	—	2,440	2,791	2,875	2,505		
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市文化祭参加者人数(出演者・出品者)について一定の水準を維持するよう、27年度の実績をもとに目標値として設定した。		目標数値の達成度	単年度	102%	116%	120%	104%		
			最終年度	102%	116%	120%	104%		
H30取組状況	加西市文化祭参加者については、3連休を含んでいた前年度からは減ですが、目標値を上回る来場者がありました。また、持回り事業の東はりま大茶会では茶券完売、兵庫短歌祭についても過去を上回る来場者で盛況であり、来場者からもよい評価をいただきました。3回目を迎える加西能でも、開演前に大行列ができるなど、市内にとどまらず、加西の能狂言文化が浸透しつつあると評価しています。コミセン改修については、順調に実施設計を終え、次年度以降工事開始見込みです。								
課題と今後の取組	加西市文化祭や持回り事業の主会場となる加西市民会館コミュニティセンターが2019年度以降改修工事の関係上一時休館のため、他の会場確保、事業に支障のない運営の工夫及び来場者への周知が課題です。同時に、加西市民会館コミュニティセンター改修工事を、都市計画課、工事業者及び市民会館指定管理者等との密な連携を取りながら進め、より一層の利便性向上を図ります。また、加西能については、市外関係自治体との連携を深め、新たな事業展開を模索しつつ発展させたいと考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	104%	104%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事) ・加西能の開催 							
	経費(千円)	408,455							
備考									
H30取組内容追加(ふれあいの祭典兵庫短歌祭) H30経費修正 R元経費修正、取組内容追加(東はりまみんよう大会) R2経費修正、取組内容追加(加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事)) R元、R2経費修正									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★地域での子どもの共育活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・7校区で実施				・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・6校区で実施			
	経費(千円)	2,707				2,707			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★土曜チャレンジ学習事業(校区)【5-83】		目標		3	5	5	5	5	5
		実績	—	3	5	7	7		
(指標及びR2目標値の設定理由) 学校家庭地域の連携協力推進事業のうち、代表的な事業の土曜日の教育活動事業の実施校数。小学校区の約半数と設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%	140%		
			最終年度	60%	100%	140%	140%		
H30取組状況	北条小、北条東小、下里小、九会小、富合小、宇仁小、泉小校区で学校や地域団体と連携して、土曜日等学校休業日に教育活動事業を実施しました。57回にわたり、延べ2,239人の小学生が参加し、非常に参加者の多い事業となっています。								
課題と今後の取組	今後も学校や地域団体、家庭との連携・協力を推進し、地域で学ぶ教育活動を継続するとともに、子ども達にとって魅力ある活動を目指します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	140%	140%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・実施地域の拡大と内容の充実							
	経費(千円)	3,000							
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から総合教育センターへ所管が変わります。 ・過年度の実績をもとに、経費を事業にあった金額に変更します。 									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 			
	経費(千円)	158				158			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
若者広場年間事業数(回)		目標		6	7	7	8	9	10
		実績	3	6	5	6	7		
(指標及びR2目標値の設定理由) 参画する地域事業の回数を示すもので、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	71%	86%	88%		
			最終年度	60%	50%	60%	70%		
H30取組状況	加西サイサイ祭りにおいて「おけけ屋敷大作戦」を実施し、約800名が来場しました。各事業を通して市内の若者団体との交流を図っています。								
課題と今後の取組	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業の数が減少しています。今後、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	88%	70%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 							
	経費(千円)	158							
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。(H29→H30)									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	2 主体的な青少年活動
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。

基本計画・主管部課			
基本計画	2 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。		
主管部課	部名	教育委員会	課名 総合教育センター

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き
	経費(千円)	230	230

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
青少年団体連絡協議会登録者数(人)	目標	/	30	30	30	40	40	50
	実績	-	30	30	30	30		
(指標及びR2目標値の設定理由) 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者の合計人数を示し、事業内容をもとに50名を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	75%	
			最終年度	60%	60%	60%	60%	

H30取組状況	空手やボーイスカウトなど青少年の健全育成を目指す団体の指導者が、長年にわたり熱心に活動しています。恒例になっています「新春のつどい」には、例年約500名が参加しています。
---------	---

課題と今後の取組	進学や就職に伴った会員数の減少が大きな課題です。一度離れた会員の再加入や新規会員の獲得につながるような広報活動が必要です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
	②実行中	B: 予定より遅延	75%	60%	B: 目標を達成	②継続

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	
	取組内容	・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	
	経費(千円)	230	

備考	
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。	

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 ・駐車場整備(アクアスカさい) 				<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 ・駐車場整備(アクアスカさい) 			
	経費(千円)	16,446				17,200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数(人)		目標		89,000	89,200	89,400	89,600	89,800	90,000
		実績	78,000	88,890	83,896	86,293	86,848		
(指標及びR2目標値の設定理由) 多くの住民がスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、1000人増を設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	94%	97%	97%		
			最終年度	99%	93%	96%	96%		
H30取組状況	加西南多目的広場の外野フェンス設置、ぜんぼうグリーンパーク入口改修、アクアスカさい駐車場整備等、体育施設の改修・修繕を行い利用者の利便性を向上させました。								
課題と今後の取組	老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要です。また、利用者数の向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携したスポーツ教室やイベントを開催する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	96%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 							
	経費(千円)	3,000							
備考									
令和元年度経費を17,200千円と改めます。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・指導者養成講座開催				・指導者養成講座開催			
	経費(千円)	200				150			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
指導者養成講座の参加人数		目標		100	105	110	115	120	125
		実績	—	110	93	40	102		
(指標及びR2目標値の設定理由) 指導者不足の解消のため指導者養成講座参加者を約100名増の125名とする。		目標数値の達成度	単年度	110%	89%	36%	89%		
			最終年度	88%	74%	32%	82%		
H30取組状況	播磨圏域連携中枢都市事業を活用した指導者養成講座(スポーツ教室)を実施しました。								
課題と今後の取組	「教室」形式の指導者講習会が指導者と競技者がともに参加できるので望ましいと考えます。今後も競技種目を変えた講習会を開催していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	89%	82%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・指導者養成講座開催							
	経費(千円)	150							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催				・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催			
	経費(千円)	500				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
スポーツ教室の年間参加人数		目標		300	320	340	360	380	400
		実績	—	353	391	384	326		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数をH32に100人増とする。		目標数値の達成度	単年度	118%	122%	113%	91%		
			最終年度	88%	98%	96%	82%		
H30取組状況	ヴィッセル神戸サッカースクールを開催しました。 ソフト卓球(ニュースポーツ)教室を開催しました。 ヴィクトリーナ姫路バレーボール教室を開催しました。								
課題と今後の取組	子どもから大人まで幅広い年代層が参加できるスポーツ教室を開催し、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創る。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	91%	82%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催							
	経費(千円)	500							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出合いを求める若者の応援								
到達目標	出合いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 事業者と連携し、若者の出合いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西市出逢いサポートセンター事業				・加西市出逢いサポートセンター事業			
	経費(千円)	5,206				5,263			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
カップル成立年間組数【1-17】		目標		19	20	20	20	20	20
		実績	—	22	3	16	7		
(指標及びR2目標値の設定理由) 婚活実施事業数を3~4回 1回あたりのカップル数を5として算定		目標数値の達成度	単年度	116%	15%	80%	35%		
			最終年度	110%	15%	80%	35%		
H30取組状況	平成29年度10月より加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ民間業者に委託しました。平成30年5月より登録者同士のマッチングを始め、126回のお見合いの機会を設けました。また、セミナーと婚活イベントを4回ずつ開催しました。								
課題と今後の取組	登録者が増えてきたが、サポーターが充足しているとまではいっていないため、サポーターの確保及び養成が必要です。令和元年中に結婚予定が3組いますが、さらに成婚に結びつけられるようお見合いの機会を作るようにします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	35%	35%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・加西市出逢いサポートセンター事業							
	経費(千円)	5,263							
備考									
平成29年度より加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、イベントだけではなく、ひとりひとり丁寧に婚活をサポートするサポーターを養成して、支援にあたる体制を構築中である。その取り組みを通して、カップル成立組数を増やしていきたい。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出合いを求める若者の応援								
到達目標	出合いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催				ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催			
	経費(千円)	委託費に含む				委託費に含む			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職域交流年間事業数(回)		目標		1	1	1	1	1	2
		実績	0	5	1	4	4		
(指標及びR2目標値の設定理由) 会議所との連携による。加西市の規模であれば1回が妥当であるため。		目標数値の達成度	単年度	500%	100%	400%	400%		
			最終年度	250%	50%	200%	200%		
H30取組状況	加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを、加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。								
課題と今後の取組	引き続き、各地域のふるさと創造会議や商工会議所と連携し、イベントを開催していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	400%	200%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催							
	経費(千円)	委託費に含む							
備考									
加西市出逢いサポートセンターが開催するイベントとして、ふるさと創造会議や市内事業所などと共催して、地域ぐるみで婚活事業を取り組む。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムに基づく取組の充実 ・保幼小中連携教育研修講座の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムに基づく取組の充実 ・保幼小中連携教育研修講座の実施 			
	経費(千円)	1,060				1,080			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】		目標		1	1	1	2	3	3
		実績	—	1	1	1	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数を示し、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	33%	33%	33%	67%		
H30取組状況	全4中学校区において、小中連携教育推進委員会及び部会での協議を基軸にした合同研修会や相互授業参観、さらには、小小もしくは小中合同授業・合同交流会が実施されるなど、小中連携教育が積極的に推進されました。								
課題と今後の取組	小中連携プランに基づく取組を進めるとともに、各中学校区における特色あるカリキュラム作成に取り組めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランの見直し ・9年間のカリキュラムの見直し ・保幼小中連携教育研修講座の実施 							
	経費(千円)	1,060							
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり							
施策	5 特色ある教育							
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	2 小中教員の連携、外国人語学指導助手(ALT)の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。							
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人語学指導助手配置事業 小学校6年間における外国語活動実施事業 幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 				<ul style="list-style-type: none"> 外国人英語指導助手配置事業 小学校6年間における外国語活動実施事業 幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業 		
	経費(千円)	24,985				25,501		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
外国語指導助手の配置人数		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	目標		6	6	6	6	7	7
(指標及びR2目標値の設定理由) H32年度から全面実施される小学校における外国語の教科化に伴い、小学校への派遣講師を1名増やし充実にあてる。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
		最終年度	86%	86%	86%	86%		
H30取組状況	<p>派遣契約及び直接雇用で6名のALTを確保し、小中学校における英語科や外国語活動の充実を図りました。また、小学校では英語が堪能な地域住民を活用しオンライン英会話授業のサポートや学級担任とのチームティーチング授業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語活動及び英語科における相互授業参観や教員研修を行い小中連携の充実を図りました。 小学校外国語活動におけるALTの授業補助は、1～4年生に10時間、5、6年生に35時間を実施し、異文化理解や主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指しました。 幼児園、こども園、特別支援学校及び公民館活動及び夏期休業中の「kasai英語村サマーキャンプ」へALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。 							
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> R2より始まる小学校外国語活動の教科化を見通して、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための教員研修の充実と校内研修の支援を行います。 小学校1年生から外国語や異文化について興味関心を高め、体験的に理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 幼児園、こども園、特別支援学校及び公民館等でのALTの派遣は効果があり、事業内容の拡大とさらなる充実を推進します。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%	B: 目標を達成		②継続	
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人英語指導助手配置事業 小学校6年間における外国語活動実施事業 幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業 						
	経費(千円)	25,691						
備考								
R元年10月からの消費税の税率引き上げに伴い、経費を見直しました。								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	※リース				※リース			
	経費(千円)	37,514				45,547			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
教育用PC更新済校数		目標		2	8	12	13	16	18
		実績	—	2	8	12	12		
(指標及びR2目標値の設定理由) リース更新年により決定		目標数値の 達成度	単年度	100%	100%	100%	92%		
			最終年度	11%	44%	67%	67%		
H30取組状況	教育用ICT機器は、これまで5年ごとの更新としていましたが、H29年度よりこれを「8年」に変更しています。よって、H30年度の教育用ICT機器更新は実施していません。(次回はR3年度を予定しています。)								
課題と今後の取組	※次回はR3年度を予定								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	92%	67%	B: 目標を達成	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	※リース							
	経費(千円)	45,547							
備考									
教育用ICT機器は、これまで5年ごとの更新としていましたが、H29年度よりこれを「8年」に変更しています。この変更は、現状の稼働率及び機器寿命などの状況を総合的に勘案して見直しを行ったものです。 ※次回の教育用ICT機器更新…R3年度(予定)									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各校における環境体験学習の実施 小学校における「あびき湿原環境学習」の実施 				<ul style="list-style-type: none"> 各校における環境体験学習の実施 小学校における「あびき湿原環境学習」の実施 			
	経費(千円)	2,004				2,122			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
小中学校での体験型環境教育の年間時間数		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	8	8	10	10	10		
(指標及びR2目標値の設定理由) 1校あたりの年間授業時数を示すもので、数値設定のみならず、学習内容の充実を図ることをねらいとする。		目標数値の達成度	単年度	80%	100%	100%	100%		
			最終年度	80%	100%	100%	100%		
H30取組状況	各校の状況に応じて、地元人材や専門家等様々な方からの協力を得ながら、校区の特性を生かした里山体験、希少生物の観察・調査、稲作等の農業体験、河川の調査などを通して、自然の不思議さやすばらしさを実感した学習を展開することができました。特に、小学校全校で「あびき湿原」を中心として、加西市の自然について環境学習に取り組み、ふるさと加西の環境について考えることができました。								
課題と今後の取組	小学校においては、すべての学校において3年生を中心とした「あびき湿原」での環境体験学習の取組を継続させています。中学校においては、理科を中心とした教科学習の中で環境学習を継続しています。今後も引き続き、これまでの実績を活かし、小中のつながりある学習や校区の実態や特性に応じた教材やカリキュラムの作成に関して計画を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各校における環境体験学習の実施 小学校における「あびき湿原環境学習」の実施 							
	経費(千円)	2,122							
備考									
「あびき湿原環境学習」の実施について、当初、小学校及び中学校で実施すると計画していましたが、小学校のみ実施することに変更します。 学級数の変動により経費を見直しました。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議				・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議			
	経費(千円)	135				185			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数		目標		3	4	4	5	5	5
		実績	—	3	4	4	5		
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標: 専門研修の開催数 目標値設定理由: 校内支援体制の充実		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	60%	80%	80%	100%		
H30取組状況	特別支援教育コーディネーター研修を3回と幼保こども園の特別支援教育コーディネーターも参加してのネットワーク会議2回の合計5回の研修会を行いました。個別の教育支援計画と個別の指導計画の様式を見直し、改善を行い各学校に周知することによって、教職員が正しく理解し、PDCAサイクルによる活用についての認識を深めました。さらに、管理職のリーダーシップのもと、チームで取り組む校内支援体制も整いつつあり、関係機関との連携も円滑に進んでいます。								
課題と今後の取組	関係機関との連携による切れ目のない一貫した相談・支援体制の充実を図るために、保健・福祉機関や医療機関、発達障害者支援センター、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの定期的な情報交換や情報共有の場をもち横の連携を深めます。さらに、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムを構築するために、就学前から卒業後へと繋ぐ縦の連携を深めるため、加西市内の園・小・中・高の特別支援教育コーディネーターの協議会を開催します。今後の取組としては、特別支援学校のセンター的機能やエリアコーディネーターを活用し、通常の学級におけるインクルーシブ教育システムを踏まえた学級づくり、授業づくり、環境づくりなどを中心とした校内支援体制をつくります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議							
	経費(千円)	185							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催				・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催			
	経費(千円)	1,000				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①総合教育センターにおける年間研究講座数	目標			15	39	40	40	40	40
	実績		10	36	43	45	45		
(指標及びR2目標値の設定理由) 総合教育センターが主催する研修講座の年間開催数を示し、教育課題から内容回数を設定		目標数値の達成度	単年度	240%	110%	113%	113%		
			最終年度	90%	108%	113%	113%		
②★校内研修の実施回数(月あたり回数)【5-86】	目標			3	3	3	3	3	3
	実績		—	3	3	3	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数(月あたり)を示し、各月週1回開催をもとに設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	・教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修内容を検討し、36コース45講座を実施しました。 ・研修内容や講師については、兵庫教育大学や環太平洋大学、県立教育研修所など関係機関と連携し、研修講座がより充実したものになるようにしました。 ・英語や道徳の教科化に向けた研修をはじめ、小中教員が意見交流できる研修の場を設定しました。								
課題と今後の取組	小中教員にアンケート調査をし、現場の声と教育界を取り巻く喫緊の課題を照らし合わせながら、よりよい研修の機会を設定します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	113%	113%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催 ・特別研修講座の開催							
	経費(千円)	1,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★特色のある部活や教室を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価 				<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者及び部活動指導者の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価 			
	経費(千円)	1,362				2,527			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】		目標		—	1	1	3	3	3
		実績	—	—	1	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 総合教育センターとの連携により、職員研修の一環として講座を開講する		目標数値の達成度	単年度	—	100%	100%	33%		
			最終年度	—	33%	33%	33%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのための検討委員会を8月に開催しました。国や県のガイドラインに則り、一部修正やノ一部活デーの確実な設定に関する文言の追加を行いました。 ・総合教育センターと連携して、部活動指導者研修講座を8月に開催しました。 ・部活動外部指導者(市費)5名及び部活動指導員(国・県費)1名を任用しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導者研修会はH28～H30の3年間で全ての中学校教員が受講しました。 ・部活動外部指導者・部活動指導員の活用を一層促進し、部活動の活性化、顧問教員の負担軽減も含めた持続可能な部活動の在り方を検討します。 ・加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのための検討委員会を8月に開催する予定です。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	33%	33%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者及び部活動指導員の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価 							
	経費(千円)	2,527							
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・従来の部活動外部指導者の配置に加えて、国・県費を補助金として活用した部活動指導員を配置し活用します。 									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★地元高校の活性化を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援(アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)				・北条高校活性化協議会への支援(アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)			
	経費(千円)	9,397				10,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】		目標		400	420	440	460	500	500
		実績	—	416	406	631	514		
(指標及びR2目標値の設定理由) 北条高校活性化協議会の柱となる取組みであるアフタースクールゼミの参加者数を示すもので、年々延べ20人増えると想定。		目標数値の達成度	単年度	104%	97%	143%	112%		
			最終年度	83%	81%	126%	103%		
H30取組状況	河合塾によるゼミを「受験コース」、兵庫教育大学の学生を講師としたゼミを「基礎コース」を開設し、よりきめ細やかな学習支援を行いました。 また、H30は幅広いジャンルから優れた講師を選出し講演をしていただく「講演会事業」を新たに実施し、生徒だけでなく多くの保護者や地域住民を高校へ呼び込み、地域における文化活動の拠点として学校を位置付けることを目指しました。								
課題と今後の取組	平成31年度入学の募集定員において、残念ながら普通科が1クラス減となりました。令和2年度入学には1クラス増となるよう、兵庫県教育委員会へ引き続き要望活動をするだけでなく、北条高校活性化協議会が実施する他の事業についても見直しを行い、北条高校の生徒確保及び活性化を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	112%	103%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援(アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)							
	経費(千円)	10,050							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	※耐震化完了				※耐震化完了			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①学校耐震化率(鉄筋コンクリート・鉄骨造)		目標		100	—	—	—		
		実績	58	100	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
②学校耐震化率(木造)		目標		100	—	—	—		
		実績	0	100	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
③学校施設における太陽光発電容量(kw) 【5-84】		目標		197	—	—	—		
		実績	10	197	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	なし								
課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	③完了	—	—	100%					
	③完了	—	—	100%					
	③完了	—	—	100%	B: 目標を達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	※耐震化完了							
	経費(千円)	—							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・特別支援感覚学習室・体育館、加西中職員トイレ棟				・日吉小北校舎			
	経費(千円)	79,900				21,700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
改修工事の完了棟数		目標	/	—	—	6	10	11	13
		実績	—	—	—	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 建築年度により計画棟数を設定		目標数値の達成度	単年度	—	—	17%	10%		
			最終年度	—	—	8%	8%		
H30取組状況	特別支援学校感覚学習室・体育館改修工事 設計委託 加西中職員トイレ棟改修工事 設計委託								
課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	10%	8%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	・富田小体育館、賀茂小北校舎、宇仁小体育館、北条中武道場							
	経費(千円)	117,450							
備考									
事業実施計画により、取組内容を変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・改築工事				—			
	経費(千円)	796,776				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
単独調理場数【減少指標】		目標	/	3	3	3	3	0	0
		実績	—	—	—	3	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 南部給食センターH29設計、H30建設工事、H31解体工事 H31に単独調理場統合		目標数値の達成度	単年度	—	—	100%	100%		
			最終年度	—	—	0%	0%		
H30取組状況	補助事業の未採択に伴い、南部学校給食センター改築工事が未実施となる。								
課題と今後の取組	単独調理場施設が、建設より28年を経過しており、南部給食センターの早期完成により統合する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	0%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									
補助事業の未採択に伴い、南部学校給食センター改築工事が未実施となる。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業				・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業			
	経費(千円)	1,353				1,750			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】		目標		380	385	390	395	400	410
		実績	380	380	385	390	400		
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標:ゲストティーチャーの延べ人数 目標値設定理由:地域に開かれた学校づくり		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	101%		
			最終年度	93%	94%	95%	98%		
H30取組状況	<p>・小・中・特別支援学校がそれぞれの地域の特性を生かした教育活動の場面において、地域の人材を活用し、児童生徒の生きる力とふるさと加西の意識の醸成を図っています。</p> <p>・特に、H30年度は、県の事業も活用しながら、小学校では総合的な学習の時間を中心に、中学校ではキャリア教育を中心に多くの地域人材にかかわっていただき、より地域の特性を生かした取組を推進することができました。</p>								
課題と今後の取組	<p>・年間指導計画を精査し、地域人材をゲストティーチャーとして活用できる場면을意図的・計画的に推進します。</p> <p>・ゲストティーチャーに限らず、学校の業務改善につながる地域人材の活用や確保についても推進します。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	98%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業							
	経費(千円)	1,750							
備考									
事業実績に基づき、加西学校づくり応援事業の経費を見直しました。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・学校・家庭・地域の連携協力推進事業				・学校・家庭・地域の連携協力推進事業			
	経費(千円)	4,882				4,782			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
校内交流広場設置数		目標	16	—	—	—			
		実績	11	16	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内の小中特別支援学校の校内交流広場設置数を示し、全校設置を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	ワッシュヨイスクール事業を展開している全小学校においてメンバーの部屋が設置されています。また、市内全学校において地域住民が訪問し学校教育を支援できる環境が整うとともに、交流の場としての機能を果たしています。								
課題と今後の取組	コミュニティーROOMの設置など、地域の交流の場となることが期待される中、活動しやすい環境づくりを進めていくことが課題です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	③完了	—	—	100%	B: 目標を達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・学校・家庭・地域の連携協力推進事業							
	経費(千円)	4,782							
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催				・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催			
	経費(千円)	309				315			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
オープンスクール年間開催数(1校あたり)		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	—	10	10	10	12		
(指標及びR2目標値の設定理由) 1校あたりのオープンスクールの開催回数を示しており、当初値から1.5倍増で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	91%	83%	92%		
			最終年度	67%	67%	67%	80%		
H30取組状況	・兵庫の教育推進月間中のオープンスクールや各種行事の機会を通して、児童生徒の学習活動の様子を公開し、保護者や地域住民に対して学校の特色ある取組について周知しています。具体的な児童の姿について感想をもらうなどし、地域から信頼される学校づくりを推進しました。								
課題と今後の取組	・実施内容を充実させ様々な児童の姿を公開する機会を設けたり、広く地域に周知できる方法を検討したりすることによって、今後さらに地域に信頼させる学校づくりにつなげていきます。 ・校内学校評価委員会や学校評議委員会において、オープンスクールに参加した保護者や地域住民からの意見や感想をもとに省察し、各校の掲げる学校教育目標に到達するような取組の推進を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	92%	80%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催							
	経費(千円)	315							
備考									
学校評議員数の増加により経費を見直しました。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動 				<ul style="list-style-type: none"> ・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動 			
	経費(千円)	100				100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】		目標		1	1	1	2	2	3
		実績	0	1	1	1	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 主要作物毎に塾の開催を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	33%	33%	33%	67%		
②★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】		目標		1	1	2	2	2	2
		実績	—	1	2	3	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 現行の取り組み以外に学生と密に交流できる取り組みを行う。		目標数値の達成度	単年度	100%	200%	150%	150%		
			最終年度	50%	100%	150%	150%		
H30取組状況	農業に関わる女性が集まる機会を初めて開催した。また、花卉の分野では、高校生にも参加を勧め加西市が花卉の産地(花壇苗)であることをPRした。								
課題と今後の取組	農業関係者の集まる機会を増やし、グループが立ち上げられるように勧めたい。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	A: 目標を上回って達成	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	150%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動 							
	経費(千円)	100							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 生産、加工、販売の一体的な6次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業者への支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産及び加工推進				・アスパラガスの生産及び加工推進			
	経費(千円)	2,500				2,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★高付加価値品種育成数【2-46】		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	—	1	3	3	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西ブランド協議会の取り組みに加え、JAによる産地形成の取り組みに協力する。		目標数値の達成度	単年度	50%	150%	150%	150%		
			最終年度	33%	100%	100%	100%		
H30取組状況	加西市で新たにアスパラガスの栽培に取り組む農家のハウス補助をJA兵庫みらいと連携し上乗せ補助を実施。JA兵庫みらい管内の中で、加西市が産地になるように支援した。								
課題と今後の取組	引き続き、支援を実施。市民に加西市でアスパラガスが生産されているという認識を深めていく取り組みを行う必要がある。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	100%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・アスパラガスの生産及び加工推進							
	経費(千円)	2,000							
備考									
アスパラガスの特産品化をJAと連携して進めるため、パイプハウスの整備補助を行う。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会				・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会			
	経費(千円)	200				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市民農園年間利用区画数【3-62】		目標		40	50	60	60	70	70
		実績	—	43	46	43	47		
(指標及びR2目標値の設定理由) H28~30は西笠原による増。H31以降は新たな園による増を想定。		目標数値の達成度	単年度	108%	92%	72%	78%		
			最終年度	61%	66%	61%	67%		
②★新規年間就農者数【2-47】		目標		1	2	2	2	2	2
		実績	—	3	5	0	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 毎年2名以上の就農認定を想定。		目標数値の達成度	単年度	300%	250%	0%	50%		
			最終年度	150%	250%	0%	50%		
H30取組状況	・市民農園については、H28に開設された西笠原市民農園の告知を推進しました。 ・加西市新規就農促進協議会として、県内外の新規就農相談会等に積極的に参加し、市外就農希望者に加西市の農業を広くPRするとともに、新規就農者向けPR冊子を作成するなど就農者増に繋がる取り組みを行いました。								
課題と今後の取組	市民農園については、関係機関へのPRだけではなく、都市農村交流に係る多様な取り組みを通して様々な媒体を使ったPRが必要であると考えています。 新規就農支援施策では、市外の新規就農者にとっては、農地・住居の選定に時間を要することが多く、新規参入しやすい空き農地や空き家の情報収集に努めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	78%	67%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	50%	50%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会							
	経費(千円)	200							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)					R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助					・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助		
	経費(千円)	17,000					17,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①農業法人数	目標			9	9	9	10	10	10
	実績		1	9	9	10	10		
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標は法人化した集落営農組織の数。農業生産法人はこれ以外にも多数あり。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	111%	100%		
			最終年度	90%	90%	100%	100%		
②★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】	目標			2	2	2	2	2	2
	実績		—	3	11	6	5		
(指標及びR2目標値の設定理由) 安定して研修受入から就農に結びつけることを想定。		目標数値の達成度	単年度	150%	550%	300%	250%		
			最終年度	150%	550%	300%	250%		
③★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】	目標			1	2	2	2	2	2
	実績		—	5	3	3	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 就農認定に伴い補助制度の有効活用を図る。		目標数値の達成度	単年度	500%	150%	150%	100%		
			最終年度	250%	150%	150%	100%		
H30取組状況	新たにトマト農家が就農。加西市では初めての夫婦型の就農となった。								
課題と今後の取組	国の補助が厳しくなってきたり、新たに就農希望の者の確保が課題。トマトとブドウ以外の新規就農者の発掘が必要。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成			②継続
	②	②実行中	S: 予定より早く進行	250%	250%				
③	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予算額)							
	取組内容	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助							
	経費(千円)	17,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさを取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充				・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充			
	経費(千円)	13,000				13,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
農用地利用権設定面積(ha)		目標		570	300	350	400	450	600
		実績	241	286	290	621	638		
(指標及びR2目標値の設定理由) 認定農業者と認定就農者の増に伴う設定面積増を図る。		目標数値の達成度	単年度	50%	97%	177%	160%		
			最終年度	48%	48%	104%	106%		
H30取組状況	基盤法に基づく農地利用権設定による集積に加え、農地中間管理事業を通じた担い手への集積を推進しました。(基盤法による集積 303ha、農地中間管理事業による集積 335ha) また、認定農業者や集落営農組織への支援として、担い手育成施設整備支援事業を拡充しました。								
課題と今後の取組	集落営農組織や認定農業者が存在する地域とそうでない地域の集積率の差、また集落営農組合員の高齢化が著しい集落など、地域ごとに抱える問題は多くあります。担い手となる農業者への支援、新規就農者の育成に一層注力し、効率的かつ持続性のある地域農業を目指し集積を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	160%	106%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充							
	経費(千円)	13,000							
備考									
農地利用集積促進補助金の廃止に伴い、担い手育成施設整備支援事業の拡充を図り、経費を13,000千円に増額したものです。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農地維持活動 110組織 共同活動 109組織 長寿命化活動 108組織 				<ul style="list-style-type: none"> 農地維持活動 110組織 共同活動 109組織 長寿命化活動 108組織 			
	経費(千円)	278,145				290,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
多面的機能支払交付金事業への参加団体数		目標		110	110	110	110	110	110
		実績	—	110	110	110	110		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内全域の農地を地域住民が管理していく仕組み作りのため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取り組みとして、農地維持活動110組織、資源向上(共同)活動109組織、資源向上(長寿命化)活動108組織が事業を行いました。								
課題と今後の取組	平成31年度より第3期に入るため、全組織が継続して活動できるよう努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農地維持活動 110組織 共同活動 109組織 長寿命化活動 108組織 							
	経費(千円)	290,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★ICTを活用した施設園芸の普及に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・大規模農業施設支援事業				・大規模農業施設支援事業			
	経費(千円)	16,842				16,627			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★施設園芸新設数【2-48】		目標		1	1	1	1	2	2
		実績	—	1	0	0	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 大規模施設園芸の開設数 投資規模(1億円以上の投資)により設定		目標数値の 達成度	単年度	100%	0%	0%	0%		
			最終年度	50%	0%	0%	0%		
H30取組状況	IT技術を活用した施設園芸を目指す生産者への設備補助を行いました。(ただし、投資予定は1億円未満。)								
課題と今後の取組	大規模施設園芸のみに拘らず、新技術の裾野を広げていくための取り組みを推進していきます。一方、味に拘り土耕栽培を行ってきた「加西とまと」「加西いちご」等の生産者が加西産農産物のブランドを作り上げてきました。両者のバランスを考えながら相乗効果を出せるような方向性が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・大規模農業施設支援事業							
	経費(千円)	16,627							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・調査研究				・誘致協議			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★サテライト機能の具体化(大学数)【3-59】		目標	/	—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由) サテライトキャンパス機能を加西市に有する 大学数が指標として最適である。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—	—		
			最終年度	—	—	—	—		
H29取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と今後の取組	先進的に取組んでいる事例研究等を行いながら、神戸大学の食資源センターとの連携も含め加西市に即した形態のサテライトキャンパスの誘致について引き続き検討を行うこととします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	—	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 地元農産物を食材利用する事業者を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。				・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。			
	経費(千円)	500				5,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★加西産農産物提供店舗数【4-66】		目標		4	15	15	15	20	20
		実績	—	12	12	12	12		
(指標及びR2目標値の設定理由) 地元産の食材を使用した加西カレーのPR・販売推進と新たな特産品開発を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	300%	80%	80%	80%		
			最終年度	60%	60%	60%	60%		
H30取組状況	市外への販売を進めていくために、ふるさと納税の返礼品に登録。また、公益財団法人兵庫県物産協会が選定する、「五つ星ひょうご」の認証に取組み、平成30年度に選定商品としての認証を受けた。								
課題と今後の取組	加西産農産物を利用している飲食店は数多く存在するはずだが、それを公表、PRIに活用している店舗は少ない。観光まちづくり協会との連携を強化して、さらに集客材料となるよう誘導していきたいと考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	80%	60%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。							
	経費(千円)	10,000							
備考									
令和元年度からは、空がつなぐまち・ひとづくり事業(地方創生推進交付金)を活用し、地元ブランドづくり事業を行う。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、生産者間の調整 ・学校における食育授業の推進 				<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進 			
	経費(千円)	1,480				1,480			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内小中学校における食育授業の時間数		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	—	10	10	10	16		
(指標及びR2目標値の設定理由) 現場で体感体験することが食育上最も効果が高いと考える。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	160%		
			最終年度	100%	100%	100%	160%		
H30取組状況	学校給食にJA直売所会員生産者が栽培した加西産農産物(キャベツ、だいこん、ジャガイモ、根日女みどり、アスパラ等)を14種計8.5tを提供しました。また、食育授業では、今年度より新たに賀茂小学校が加西とまとの収穫体験に取り組んだほか、引き続き神戸大学、JA、地域の農業者等との連携により推進した。								
課題と今後の取組	学校給食への食材を安定的に供給できるよう、愛菜館と協調し取り組む。 食育授業については、教育委員会と調整のうえ環境体験の実施校の増加に努める。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	160%	160%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進 							
	経費(千円)	1,480							
備考									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。

基本計画・主管部課			
基本計画	3 地域ビジネス講座を拡充します。		
主管部課	部名	地域振興部	課名 産業振興課

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾 	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾
	経費(千円)	1,500	1,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
製造品出荷額等(億円)【2-52】	目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
	実績	2,538	2,514	2,516	2,487	2,586		
(指標及びR2目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	104%	101%	98%	99%	
			最終年度	94%	95%	93%	97%	

H30取組状況	商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。新規開拓営業事業セミナー、キャッシュレス決済対応セミナー、業務効率アップセミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援、第二創業、金融相談、IT化支援等の専門家派遣を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	本事業については、平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センターと連携し拡充して実施しています。地域ビジネスのあり方、その必要性について検討し、その時々課題やテーマに即した役立つビジネス講座を開講していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度	今後の方針	
		区分	単年(H30)			最終(R2)
	②実行中	B: 予定より遅延	99%	97%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予算額)	/
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾 	
	経費(千円)	1,500	

備考

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・市内外での取扱店舗増のため、物産展への積極的参加により加西産品をPR ・JAFイベントへの参加				・JAFイベントへの参加 ・加西SAとの連携による商品の出展			
	経費(千円)	100				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①加西産品の販売店舗数		目標		35	37	39	41	43	45
		実績	27	30	30	36	43		
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西産品を商品・食材として販売し、PRしている小売店舗数をH32に10店舗増とする。		目標数値の達成度	単年度	86%	81%	92%	105%		
			最終年度	67%	67%	80%	96%		
②★PRブース年間開設数【3-57】		目標		12	13	14	15	17	17
		実績	—	12	13	13	16		
(指標及びR2目標値の設定理由) 物産展に参加し、加西産品を販売した回数をH32に5回増とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	93%	107%		
			最終年度	71%	76%	76%	94%		
H30取組状況	新しい取組として、伊丹空港に1日ブースを定住自立圏で設置。滋賀県大津市で西国33カ所スイーツ巡礼出展。と遠方でのPR活動をおこなった。								
課題と今後の取組	阪神間や京滋では、認知度が低かったため、加西のよいところをさらにPRが必要。他市長との連携を強化したPRを実施する								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	105%	96%	A: 目標を上回って達成	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	94%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・加西喝采みやげを活用できるようなPRチラシの作成等 ・他市町でのイベントへの参加 ・加西SAとの連携による商品の出展							
	経費(千円)	500							
備考									
加西SAへの加西産品の展開を増やし、販売促進につなげる。加西産品をPRするための新規イベントへの出展									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業				・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業			
	経費(千円)	13,153				13,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
卸売業・小売業年間販売額(億円)		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	732	748		
(指標及びR2目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	100%	102%	102%		
			最終年度	89%	94%	98%	100%		
H30取組状況	ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めました。								
課題と今後の取組	ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業やプレミアム付市内商品券事業の支援については、市内商業活性化に寄与していると考えられます。今後は、急速な人口減少により縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業							
	経費(千円)	13,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給 				<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給 			
	経費(千円)	195,317				205,358			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
製造品出荷額等(億円)【4-67】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487	2,587		
(指標及びR2目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10% 程度増加を設定。		目標数値の 達成度	単年度	104%	101%	98%	100%		
			最終年度	94%	95%	93%	97%		
H30取組状況	中小企業制度融資について、中小企業支援対策として市が0.4%を利子補給した。また信用保証協会保証料の20%を市が負担しました。平成29年度の中小企業事業資金融資の状況は、実行融資額25件・117,900千円、セーフティネット保証制度による中小企業信用保険法第2条第4項に規定する5号認定を3件行いました。								
課題と 今後の取組	中小企業制度融資を改正しH31年度から、利子補給の廃止、限度額を1,500万円から2,000万円に拡大、保証料補助の補助率を2分の1までに拡充しました。また、創業者への支援として、創業支援資金等保証料補給金交付制度を新設しました。引き続き、他市町及び県の制度の動向等をみながら、制度のあり方を研究していきます。また、金融機関と調整会議を開催し、ニーズの把握に努めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	97%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給 							
	経費(千円)	205,358							
備考									
平成29年度の融資実績からH30年度当初予算要求額を試算するため減額した。 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します 平成30年度の融資実績からR元年度当初予算要求額を試算した。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課、開発推進課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	(新産業団地関係) ・各種法令手続の開始 ・加西インター周辺地区新産業団地基本設計及び実施設計 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用				(新産業団地関係) ・各種法令手続許可 ・用地取得 ・工事着手 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用			
	経費(千円)	10,600				1,113,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内総生産(名目)【2-39、4-68】		目標		1,931	1,940	1,950	1,960	1,980	1,980
		実績	1,819	1,835	1,969	1,959	未発表		
(指標及びR2目標値の設定理由) H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定		目標数値の達成度	単年度	95%	101%	100%	県HPで確認		
			最終年度	93%	99%	99%			
H30取組状況	<p>(新産業団地関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備対象事業の合意形成を図るため、整備対象となる土地の所有者に対する説明会や個別交渉を行いました。 ・加西インター産業団地(1工区)の整備工事実施設計を行うほか、農村地域産業導入実施計画の策定、農業振興地域整備計画による総合見直し、地区計画の決定、優先交渉事業者の募集を行いました。 <p>(市内企業の拡張の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域において4地区の地区計画を策定しました。(鶉野飛行場跡地東部産業拠点地区、鶉野上町産業集積地区、東高室次世代へのまちづくり産業立地促進地区、加西インター産業団地地区) ・市街化区域である中野・下宮木地区において、市街化を促進するため用途地域の変更を行いました。 								
課題と今後の取組	<p>(新産業団地関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先交渉事業者と契約に向けて交渉を行い、同事業者が加西インター産業団地において、万全なスタートがきれるよう、必要な事務手続き等を整え、1-2工区の造成工事に着手します。 <p>(市内企業の拡張の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の实情に沿った都市計画制度を選択し、市内企業の拡張等のための規制緩和を推進します。 ・鶉野飛行場跡地東部産業拠点地区において、総合的なまちづくりを恒久的に行うため、市街化区域への編入を検討します。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	未発表			B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	(新産業団地関係) ・工事 ・分譲							
	経費(千円)	1,420,000							

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
備考	
H30 実績値については、現時点では公表されていないため未記入（R2.01頃速報値が発表される予定）	

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり							
施策	9 地域資源を活用した産業振興							
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	8 宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。							
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	—				—		
	経費(千円)	—				—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元
★ホテル設置数	目標		—	—	1	1	1	1
	実績		—	—	0	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 宿泊施設誘致による市内へのホテル設置数。 1カ所を目標に設定。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	0%	100%	
			最終年度	—	—	0%	100%	
H30取組状況	誘致したビジネスタイプの宿泊施設の建設工事が、安全及び順調に進むよう、事業者と事業用地周辺住民、関係各所との調整を行いました。H30年12月オープン、鉄筋コンクリート造、地上9階建て、客室150室。							
課題と今後の取組	市が誘致したビジネスホテル「ルートイン加西 北条の宿」がH30年12月オープン以来、宿泊稼働率80%を超えており、ほぼ満室状態で大変好調。ビジネス目的、観光目的の来訪者が増加し、さらなる街の賑わいの創出が図られると考えている。これを機会として、地域経済の循環と持続性を高めるため、商業における事業環境の整備や地域課題の解決に向けたさらなる取り組みの支援を図る。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	③完了	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	①完了		
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	—						
	経費(千円)	—						
備考								

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。

基本計画・主管部課			
基本計画	9 ★魅力ある商業施設の誘致を図ります。		
主管部課	部名	地域振興部	課名 産業振興課

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究	・商業施設誘致についての調査研究
	経費(千円)	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
卸売業・小売業年間販売額(億円)【3-56】	目標		700	710	720	735	750	750
	実績	493	667	707	732	748		
(指標及びR2目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。	目標数値の達成度	単年度	95%	100%	102%	102%		
		最終年度	89%	94%	98%	100%		

H30取組状況	事例集や事業者へのヒアリングを行うなど、商業施設誘致についての調査・研究を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	引き続き、調査・研究を行い、商業施設の誘致を図ります。
----------	-----------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	/
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究	
	経費(千円)	0	

備考	
----	--

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり							
施策	10 加西に住んで働ける就労支援							
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	1 新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。							
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in 				<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in ・インターンシップ雇用促進モデル事業 		
	経費(千円)	1,800				2,590		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①若者の加西市残存定住率	目標		73	75	76	77	80	80
	実績	73	74	74	75	78		
(指標及びR2目標値の設定理由) 大学就学前の若者が10年後に加西市に残存する率。年間1%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	101%	99%	99%	101%		
		最終年度	93%	93%	94%	98%		
②★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-37】	目標		42	43	44	46	50	50
	実績	—	41	42	42	38		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所で働く従業員が市内に居住する割合。年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%	83%		
		最終年度	82%	84%	84%	76%		
H30取組状況	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、関係機関と連携して若者への就職支援に取り組みました。兵庫県、大阪府、岡山県、鳥取県の兵庫県出身者の多い16大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めました。加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、合同就職面接会を開催しました。加西市雇用開発福祉協議会と連携を図り、就職ポータルサイトに市内の企業情報や採用情報を掲載しました。							
課題と今後の取組	全国的な人手不足により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあります。大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRに努めていきます。また、ハローワーク西脇と協力して、加西市内で保育分野、介護分野の就職面接会(説明会)を実施します。令和元年から、インターンシップ雇用促進モデル事業を始め、地方の大学生がUJIターンによる就職を考える機会を設けます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
①	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	98%	C: 目標を下回っている	②継続		
②	②実行中	B: 予定より遅延	83%	76%				
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in 						
	経費(千円)	1,800						
備考								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高め ます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 				<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 			
	経費(千円)	8,953				9,588			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ふるさとハローワークにおける就職者数		目標		568	620	640	660	680	700
		実績	—	600	506	565	479		
(指標及びR2目標値の設定理由) ふるさとハローワークからの紹介による就職者数。年間20名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	82%	88%	73%		
			最終年度	86%	72%	81%	68%		
H30取組状況	<p>兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組みました。 小学生の親子を対象に夏休み産業観光ツアーを開催し、子どもたちに「市内のモノづくり優良企業」への興味や関心を高めてもらい、将来の加西への定住促進を図りました。 ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談を実施しました。 利用者として就職件数の増加を目指して、就職支援セミナーを月1回開催しました。</p>								
課題と今後の取組	<p>全国的に求職者が減少しており、それに伴いふるさとハローワークの来所者が減少しました。インターネットによる求人サイトも増え、主に若者が、求職活動の際にハローワークの窓口を利用しなくなる事が想定されます。 現在実施しているSNSによる情報発信や、区長発送での事業の案内等に加え、労働局主導でハローワークのシステム改築を行い、窓口利用に限らない就職活動を進めます。また、利用者に適したマッチングや就職支援セミナーの充実を図り、就職者の増を目指します。さらに、ハローワーク西脇と連携して、市内事業所を対象としたミニ就職面接会を2か月に1回程度開催し、マッチングの機会増に努めます。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	73%	68%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 							
	経費(千円)	9,588							
備考									
平成30年度当初予算要求を減額要求したため									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討 				<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討 			
	経費(千円)	53				53			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市内企業における住民就労率(%)		目標		35	36	37	38	39	40
		実績	30	36	37	39	30		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内産業団地において就労する市民の割合を示す数値で、年間1%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	103%	103%	105%	79%		
			最終年度	90%	93%	98%	75%		
②★若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-34】		目標		42	43	44	46	50	50
		実績	—	41	42	42	38		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所において就労する市民の割合を示す数値で、年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%	83%		
			最終年度	82%	84%	84%	76%		
H30取組状況	産業(工業)団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行います。また県土地開発公社や商工会議所、各産業(工業)団地連絡協議会と連携を図りました。市内雇用を高めるため、各産業(工業)団地や市内企業に対して積極的に住民採用を働きかけました。								
課題と今後の取組	アンケートの調査結果を分析し、新たな定住促進施策を立案していく必要があります。また、施策立案に当たっては、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、様々なニーズ調査等を行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	79%	75%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	83%	76%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討 							
	経費(千円)	53							
備考									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり							
施策	10 加西に住んで働ける就労支援							
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	4 ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。							
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 				<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 		
	経費(千円)	425				900		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
★就職支援助成年間件数【2-38】		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	目標		1	2	4	6	10	10
	実績	—	1	0	0	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 再就職をめざす女性の講座受講を示す数値で、年間2件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	0%	0%	0%		
		最終年度	10%	0%	0%	0%		
H30取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、保険・税金の仕組みに関するセミナー等の女性を対象としたセミナーを2回開催しました。出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。							
課題と今後の取組	関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、平成31年4月1日から、助成対象者の拡大を図りました。また、市内小中学校へのチラシ配布等、積極的な制度の周知に努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている		②継続	
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 						
	経費(千円)	900						
備考								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★市内企業への高校生の就職を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話 				<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話 			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】		目標		71	75	80	85	100	100
		実績	—	—	72	70	91		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所による高校生採用人数を示す数値で、年間5名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	—	96%	88%	107%		
			最終年度	—	72%	70%	91%		
H30取組状況	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、高校生を含む若者の就職支援を行いました。高校生の職業意識の醸成を図るため、市内県立高校2校の高校2年生を対象に職業講話を実施しました。								
課題と今後の取組	関係機関と連携し、さらに高校生の就職支援に取り組みます。加西市企業ガイドブックFIT IN等を活用し、高校生に対して市内企業情報の提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	91%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話 							
	経費(千円)	0							
備考									
雇用対策協定に伴う事業追加									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり							
施策	10 加西に住んで働ける就労支援							
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	6 ★働く女性の雇用を推進します。							
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討 				<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討 		
	経費(千円)	425				900		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内事業所女性従業員正社員率(%)【2-33】	目標		43	43	45	47	50	50
	実績	—	41	46	46	45		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所に勤務する女性従業員のうち正社員の割合。年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	95%	107%	102%	96%		
		最終年度	82%	92%	92%	90%		
H30取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、保険・税金の仕組みに関するセミナー等の女性を対象としたセミナーを2回開催しました。出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。							
課題と今後の取組	関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、平成31年4月1日から、助成対象者の拡大を図りました。また、市内小中学校へのチラシ配布等、積極的な制度の周知に努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	B: 予定より遅延	96%	90%	C: 目標を下回っている		②継続	
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討 						
	経費(千円)	900						
備考								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★返還している奨学金への助成により、UJIターンによる定住を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助				・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助			
	経費(千円)	13,357				16,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★UJIターン者数【2-36】		目標		123	170	228	288	350	410
		実績	—	123	158	198	231		
(指標及びR2目標値の設定理由) 「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間60名程度の増加を想定。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	87%	80%		
			最終年度	30%	39%	48%	56%		
H30取組状況	平成30年度は、継続申請者数が185人、新規申請者数が46人、合計231人のUJIターン者に対し当該補助金を交付しました。 また、子育て支援等、他の支援施策の充実が図られていることや、近年の加西市の財政状況等を踏まえ、令和元年度より所得制限を設けることとしました。								
課題と今後の取組	大学進学者の半数以上が奨学金の貸与を受けており、その返還問題が社会的に大きく取り上げられている状況の中、今後もその返還を支援することによりUJIターンを促進する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	80%	56%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助							
	経費(千円)	19,000							
備考									
補助対象者が予定を上回ったため、経費を増額しました。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課、文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者チャレンジ事業 ・②街角コンサート事業 300千円				・若者チャレンジ事業			
	経費(千円)	800				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】		目標		5	5	5	5	5	5
		実績	—	5	5	7	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 若者事業予算に即して5とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%	40%		
			最終年度	100%	100%	140%	40%		
②コンサート等の入場者数		目標		—	500	900	1,110	1,110	1,110
		実績	—	—	508	692	730		
(指標及びR2目標値の設定理由) はりま縁の芸術家の育成と芸術文化鑑賞機会の創出のため、はりま縁の人による芸術文化イベントへの入場者数を3年間で1000人増を目指す		目標数値の達成度	単年度	—	102%	77%	66%		
			最終年度	—	46%	62%	66%		
H30取組状況	若者チャレンジ事業助成金について、マーケットで配布しました。 6月から3月末までに、延べ30人の若手音楽家による12回のコンサートを実施しました。 ②6月から3月末までに、延べ30人の若手音楽家による12回のコンサートを実施した。夏休みには、加西児童合唱団「さるびあっ子」を交えた内容を実施するなど、幅広い世代の芸術文化の向上に努めた。								
課題と今後の取組	助成することにより若者がチャレンジでき、市を盛り上げることができるよう、広報・ちらし・SNSなどで周知します。観客席数も限られており、観客数が思うように伸びていません。一定の周知がされている現行の形をベースにしつつ、新たな開催場所等について検討を重ねていきます。 ②観客席数も限られており、観客数が思うように伸びていない。一定の周知がされている現行の形をベースにしつつ、新たな開催場所等について検討を重ねたい。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	40%	40%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	66%	66%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予算額)							
	取組内容	・若者チャレンジ事業							
	経費(千円)	500							
備考									
若手音楽家によるコンサートの開催については、文化観光スポーツ課で芸術の振興を支援する。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者起業調査助成事業				・若者起業調査助成事業			
	経費(千円)	150				300			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★若者起業支援年間件数【2-42】		目標		4	5	5	5	5	5
		実績	—	4	1	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 予算・人員に伴い、全体で5件程度が限界であるため。		目標数値の達成度	単年度	100%	20%	20%	20%		
			最終年度	80%	20%	20%	20%		
H30取組状況	女性が集まるマーケットやマルシェで案内ちらしを配布しました。 1名が利用し、起業しました。								
課題と今後の取組	女性が集まるマーケットで配布するとともに、広報・ちらし・SNSなどで周知します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	20%	20%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・若者起業調査助成事業							
	経費(千円)	300							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★創業希望者に対する支援体制を構築します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口 かさい創業塾 創業支援相談窓口 創業支援施策の調査研究 産業活性化センター事業 				<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口 かさい創業塾 創業支援相談窓口 創業支援施策の調査研究 産業活性化センター事業 			
	経費(千円)	4,000				4,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★年間創業者数【2-45】		目標		3	5	5	7	7	7
		実績	—	5	5	6	12		
(指標及びR2目標値の設定理由) 創業支援事業を受けて創業した人数で、最終年度に年間7名(倍増)の創業を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	167%	100%	120%	171%		
			最終年度	71%	71%	86%	171%		
H30取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口(産業振興課)、かさい創業塾(加西商工会議所)、創業支援相談窓口(加西商工会議所)等の創業希望者に対する支援を行った。								
課題と今後の取組	平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センターの事業の一つとして、さらなる創業の促進を図るため、創業者向けの支援の充実を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	171%	171%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口 かさい創業塾 創業支援相談窓口 創業支援施策の調査研究 産業活性化センター事業 							
	経費(千円)	4,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・文化財等看板設置				・文化財等看板設置			
	経費(千円)	376				300			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
文化財の新規指定・登録件数		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	5	8	17	17	28		
(指標及びR2目標値の設定理由) H32までに3倍増の累計15件を指定する。		目標数値の達成度	単年度	80%	155%	142%	215%		
			最終年度	53%	113%	113%	187%		
H30取組状況	市指定文化財として3群(11物件)を新指定しました。 文化財説明看板を4基新設しました。								
課題と今後の取組	令和元年度に策定予定の「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」に基づき、今後は包括的な文化財の指定を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	215%	187%	S: 目標を大きく上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・文化財等看板設置							
	経費(千円)	384							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・日本遺産申請 ・歴史文化遺産の調査				・「文化財保存活用地域計画」の策定 ・歴史文化遺産の調査			
	経費(千円)	861				8,230			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★歴史文化遺産の調査		目標		0	10	15	18	20	20
		実績	—	—	27	32	34		
(指標及びR2目標値の設定理由) 歴史文化遺産20件の調査を実施する		目標数値の達成度	単年度	—	270%	213%	189%		
			最終年度	—	135%	160%	170%		
H30取組状況	市指定に先立ち酒見寺建造物群の実測調査を実施しました。 「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」策定の事前調査として腰石積建物悉皆調査を実施しました。								
課題と今後の取組	令和元年度に策定予定の「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」に基づき、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	189%	170%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・「文化財保存活用地域計画」の国認定申請 ・歴史文化遺産の調査							
	経費(千円)	0							
備考									
平成30年度の文化財保護法の改正に伴い、平成29年度に策定した「加西市歴史文化基本構想」を、文化庁の推奨に従い「文化財保存活用地域計画」へグレードアップします。R2年度に国に計画の認定申請を行います。計画が認定を受けることで、文化庁国庫補助金等の優遇を受けることができます。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookで加西の旬な情報を発信 ・外国人向けモニターツアーの実施 ・バスラッピング 				<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookとInstagramで加西の旬な情報を発信 ・鶺野飛行場跡への観光バスツアー助成拡充 			
	経費(千円)	3,590				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数		目標		2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000
		実績	1,450	1,990	2,146	2,008	2,666		
(指標及びR2目標値の設定理由) H32の参加者数を1000人増の3000人を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	98%	84%	103%		
			最終年度	66%	72%	67%	89%		
②★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】		目標		736	1,100	1,200	1,800 (1,300)	1,900 (1,400)	2,000 (1,500)
		実績	—	1,011	1,434	1,588	1,761		
(指標及びR2目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	137%	130%	132%	98%		
			最終年度	51%	72%	79%	88%		
H30取組状況	ハイキング、バス助成に加えて、鶺野への集客力の社会実験を実施。2回で560人超の参加があった。400人を想定していたので反響の大きさがうかがえた。バス助成は、参加者が減っている。								
課題と今後の取組	バス助成金額を増額して、鶺野への訪問者増加を目指す。Facebook、Instagramが人気があるため情報発信の充実を図る。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	103%	89%	A: 目標を上回って達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	98%	88%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookとInstagramで加西の旬な情報を発信 ・飛行場跡地周辺の情報発信 ・鶺野飛行場跡への観光バスツアー助成拡充 							
	経費(千円)	1,500							
備考									
フェイスブックは、当初のR2目標値をH27で達成したため、1,000件→1,500件に目標値変更 (H29)2,000件に目標変更 ツアー参加者を増やすために、バス助成制度の見直しを実施(鶺野飛行場跡への拡充、助成条件の再設定)									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西喝採みやげの更新 ・鶉野飛行場跡地周辺の観光活用の検討 				<ul style="list-style-type: none"> ・物産展等での加西喝採みやげブースの出展 ・イベントなど鶉野飛行場跡地周辺を活用するオープン会議の開催 ・鶉野飛行場跡地を活用したツアー 			
	経費(千円)	500				5,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西喝採ブランド品数		目標		30	30	30	35	35	35
		実績	—	30	30	30	30		
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西喝採みやげ数を増やすため現状の30品をH32に35品に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	86%		
			最終年度	86%	86%	86%	86%		
H30取組状況	鶉野飛行場跡のメディアへの露出が増え、ガイド申込者も増え、社会実験で実施したツーリズムも予想をはるかに上回る来場者数となった。								
課題と今後の取組	鶉野飛行場跡と周辺歴史遺産は、今後も定期的なイベント開催などでメディア露出を増やし、来場者を増やす。紫電改実物大模型の公開に合わせて、鶉野平和祈念の碑苑保存会にガイド案内を依頼して満足度の向上を目指す。喝採みやげのチラシを作成。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	86%	86%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・鶉野飛行場跡地を活用したツアー構築等							
	経費(千円)	5,500							
備考									
R1から鶉野飛行場跡地周辺の観光活用を推進していく									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催				・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催 ・期間外の1日イベントプログラム主催者セミナー開催			
	経費(千円)	2,350				2,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】 ★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】		目標		400	850	900	950	1,000	1,050
		実績	—	843	836	466	931		
(指標及びR2目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、約倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	211%	98%	52%	98%		
			最終年度	80%	80%	44%	89%		
H30取組状況	69プログラムを提供できた。参加者も前年比倍増するなど、浸透してきている。まちあそびレポーターを採用し、これから参加したい人たちの目線に沿ったPRを実施。新規プログラムを作るためのセミナーを実施								
課題と今後の取組	まちあそびの通年化。一定期間の開催だけでなく通年を通して体験できるコンテンツの提供。プログラム提供者の自主運営。まちあそびの枠内だけでなく独自の活動によって広がりを持たせる。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	98%	89%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予算額)							
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催 ・期間外の1日イベントプログラム主催者セミナー開催							
	経費(千円)	2,000							
備考									
参加者を増やすために、定期イベント外のまちあそびを実施とプログラム主催者のレベル向上セミナー開催									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★観光拠点のネットワーク化を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・観光拠点10カ所のWi-Fi施設の運営				・観光拠点10カ所のWi-Fi施設の運営			
	経費(千円)	120				120			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】		目標	/	1	1	4	6	10	10
		実績	-	1	10	10	10		
(指標及びR2目標値の設定理由) 観光施設の利便性向上のため現状1箇所を10箇所に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	1000%	250%	167%		
			最終年度	10%	100%	100%	100%		
H30取組状況	設置したWifiの維持								
課題と今後の取組	Wifiを活用した取組を実施する。 Wifi設置個所のPR 未設置個所への広報								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	167%	100%	S: 目標を大きく上回って達成		①完了		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	・観光拠点10カ所のWi-Fi施設の運営							
	経費(千円)	120							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・調査研究				・構想策定			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由) 整備推進の前段となる基本構想のとりまとめ が第1段階の目標となる。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—	—		
			最終年度	—	—	—	—		
H30取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と 今後の取組	根日女の森整備基本構想策定に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	—	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									
・事業を再検討します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・売却方針協議 ・市有財産(普通財産)の適正な管理				・北条東南医師住宅解体 ・北条西保育所跡地売却			
	経費(千円)	0				5,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市所有未利用地の住宅開発年間箇所数		目標		-	-	-	1	-	2
		実績	0	-	-	1	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 計画期間内に市有未利用地の解消を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	0%		
			最終年度	-	-	50%	0%		
H30取組状況	北条西保育所の建屋解体に続き、跡地売却事務に着手したところ、敷地境界の未確定な箇所があり登記事務事務に時間を要したため、売却に至りませんでした。 北条東南医師住宅については、売却について具体的な交渉を行いました、契約締結に至りませんでした。								
課題と今後の取組	北条西保育所跡地については、早期に境界確定を行い登記事務を完了の上、売却事務を進めます。旧庁舎近隣にホテルが開業したため、今後の周辺土地利用の需要を考慮して効果的な跡地利用を検討していきます。 その他の未利用市有地についても、近畿財務局や市のホームページを活用し積極的に情報発信を行い、購入希望者を募って参ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・北条東南医師住宅解体							
	経費(千円)	5,000							
備考									
市有財産(普通財産)の適正な管理を行うため、不要な財産については測量等を実施の上、公売等により売却方法を検討します。もしくは有効活用を検討し、不要と判断されるものについても解体・公売等による処分を検討します。 旧北条西保育所については、H30解体工事が完了し、R1登記事務を完了の上、公売手続きに進みます。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	開発推進課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 ・換地計画業務 ・保留地販売業務 ・3号公園 遊具・トイレ整備 				<ul style="list-style-type: none"> ・換地処分・登記業務 ・組合解散認可業務 			
	経費(千円)	20,339				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】		目標		—	—	30	40	50	50
		実績	0	—	—	42	50		
(指標及びR2目標値の設定理由) 保留地において整備された住宅戸数を指標としているが、完売には日数が必要なため、7割を設定(目標値は延べ件数)		目標数値の達成度	単年度	—	—	140%	125%		
			最終年度	—	—	84%	100%		
H30取組状況	・H29年度に工事が完了し、H30年度は出来形確認測量、事業計画の変更、換地計画策定等の作業を行いました。								
課題と今後の取組	・事業計画の変更・認可後、換地処分が完了し、事業完了の予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	125%	100%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	※R2年度に事業完了の予定							
	経費(千円)	—							
備考									
事業の安全性を確保するため、H30年度に施行予定であった「3号公園 遊具・トイレ整備」は、地元協議により遊具整備のみを実施した。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区 や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地区及び制度のPR 歴史的景観形成建築物修景助成のPR 				<ul style="list-style-type: none"> 地区及び制度のPR 歴史的景観形成建築物修景助成のPR 			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①景観形成に関する条例届出年間受付件数	目標			20	20	20	20	20	20
	実績		—	16	5	4	14		
(指標及びR2目標値の設定理由) 区域内での建築確認申請見込み件数より設定		目標数値の達成度	単年度	80%	25%	20%	70%		
			最終年度	80%	25%	20%	70%		
②景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	目標			1	1	1	1	1	1
	実績		—	1	1	1	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	0%		
			最終年度	100%	100%	100%	0%		
H30取組状況	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRや県景観条例に基づく指導を行いました。								
課題と今後の取組	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRを行う等、北条旧市街地の景観保全に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	70%	70%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地区及び制度のPR 歴史的景観形成建築物修景助成のPR 							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。								
主管部課	部名	地域振興部、ふるさと創造部			課名	産業振興課、人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク 				<ul style="list-style-type: none"> ・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク 			
	経費(千円)	7,481				11,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市街化区域内の商業店舗立地件数		目標		250	250	250	250	250	250
		実績	244	211	211	217	218		
(指標及びR2目標値の設定理由) 中心市街地に立地する商業店舗数で、当初数値並の店舗数維持を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	84%	84%	87%	87%		
			最終年度	84%	84%	87%	87%		
②★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】		目標		0	1	2	3	5	5
		実績	—	0	0	0	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市街化区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を想定。		目標数値の達成度	単年度	0%	0%	0%	0%		
			最終年度	0%	0%	0%	0%		
③★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】		目標		—	1	2	3	5	5
		実績	—	—	1	0	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	—	100%	0%	33%		
			最終年度	—	20%	0%	20%		
④★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】		目標		4	3	6	9	15	15
		実績	—	4	2	2	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	33%	33%		
			最終年度	27%	13%	13%	20%		
H30取組状況	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度の周知及び運用に取り組みました。また、創業支援事業計画(平成27年度策定)に基づき、創業希望者に対する支援を実施しています。								
課題と今後の取組	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	87%	87%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%					
③	②実行中	B: 予定より遅延	33%	20%					
④	②実行中	B: 予定より遅延	33%	20%					

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	/
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク 	
	経費(千円)	11,000	

備考
 平成30年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。
 平成31年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守 				<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守 			
	経費(千円)	130				131			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
空き家バンクの年間登録数【4-77】		目標		2	5	5	5	5	5
		実績	3	2	6	12	9		
(指標及びR2目標値の設定理由) 空き家バンクへの年間登録物件数について、約倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	120%	240%	180%		
			最終年度	40%	120%	240%	180%		
H30取組状況	市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るPRチラシを同封したり、空き家の利活用を検討されている相談者へ制度周知を行いました。また、電話や窓口での個別相談については、丁寧な対応を心がけ可能な範囲内で空き家バンクへ掲載していただくよう誘導し、バンク取扱物件となるよう努めました。								
課題と今後の取組	利用者の選択肢が増えるよう物件登録を増やしていく必要がありますので、引き続き、PRに努めるとともに、総務部で実施した市内全域の空き家調査の結果を踏まえ、利活用可能なもののうちバンク登録を希望される方へ積極的にアプローチし物件数の増を目指します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	180%	180%	S: 目標を大きく上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守 							
	経費(千円)	131							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★新たな土地区画整理事業等を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用途地域の見直し ・地区計画の見直し ・地権者の合意形成 				<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画道路用地取得補助 ・測量、設計補助 ・開発事業者の募集 			
	経費(千円)	0				7,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】		目標		-	-	-	-	70	70
		実績	-	-	-	-	-		
(指標及びR2目標値の設定理由) 中野地区にある一団の未利用地の面積より設定		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-		
			最終年度	-	-	-	-		
H30取組状況	・中野町上山地区において、土地利用の促進を図るため用途地域の変更を行い、まちづくり協議会が主体となり良好で利便性の高いまちづくりに向けた検討を行いました。								
課題と今後の取組	・まちづくり協議会と協働し、引き続き良好で利便性の高いまちづくりを積極的に推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	-	-	-	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・地区計画道路工事補助							
	経費(千円)	29,300							
備考									
<p>(H30) アンケートの結果を踏まえ、土地利用の有効促進を図るため、用途地域・地区計画の見直しを行います。</p> <p>(R元) 地区内公共施設の整備に向けた、地区計画道路用地取得補助、測量・設計補助を実施します。</p> <p>中野・下宮木地区は、まちづくり構想に基づき、都市計画(用途地域、地区計画)の変更を行いました。住・商・工がバランスよく配置された活気溢れる良好なまちづくりを目指します。</p>									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。 8 ★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	—				—			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積(㎡)【1-27】		目標	/	10,000	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績	—	10,028	15,803	22,700	22,700		
(指標及びR2目標値の設定理由) 「住宅建築のための宅地供給促進補助金」の交付を受けた対象土地の面積を指標とし、補助制度の期限のH29年度まで面積が増加する見込み。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	151%	—		
			最終年度	67%	105%	151%	151%		
H30取組状況	宅地供給促進補助制度は平成29年度で受け付けを終了しました。								
課題と今後の取組									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	③完了	—	—	151%	S:目標を大きく上回って達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									
宅地供給促進補助制度は平成29年度で受け付け終了となります。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助				・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助			
	経費(千円)	13,598				13,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】		目標		110	200	300	300	300	300
		実績	—	106	216	294	294		
(指標及びR2目標値の設定理由) 定住促進を推進するため、賃貸共同住宅建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数を現状の約3倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	96%	108%	98%	—		
			最終年度	35%	72%	98%	98%		
H30取組状況	平成30年度は、34件の継続申請に対して補助金の交付を行いました。34件の内訳としては、世帯用の賃貸共同住宅が24件、単身者用が10件となっています。								
課題と今後の取組	賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請については、平成29年1月1日完成分までが対象のため、今後は継続申請分のみに対する補助金交付となります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	③完了	—	—	98%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助							
	経費(千円)	10,000							
備考									
賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請は平成29年度までとなっております。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・空き店舗整備 ・街歩きにかかる整備情報発信				・空き店舗改修の側面支援			
	経費(千円)	17,820				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】		目標		—	—	—	1	1	1
		実績	—	—	—	2	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 28年度中に、ブランディングの方針を定め、29年度に助成施策を決定し30年度以降1件の助成を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	200%		
			最終年度	—	—	200%	200%		
H30取組状況	平成28年度に策定した北条旧市街地リノベーション計画に基づき、チャレンジショップの場として、旧東播物産(御旅町)が播磨農高生プロデュースレストラン「はりまのちっちゃな台所」に、また、滞在の場として、旧暮らしのファッションやまもと(本町)がゲストハウス「HOJO MACHI HOSTEL」に、空き店舗を改修し2か所のモデル拠点が完成しました。								
課題と今後の取組	ハード面での整備は完了しましたが、建物を維持しながら運営する主体が、自走するためには行政や地域住民等の協力が不可欠であり、また、平成29年度・平成30年度で整備した計4か所のモデル拠点が互いに連携できる関係づくりが必要です。引き続き側面支援を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	200%	200%	S: 目標を大きく上回って達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・空き店舗改修の側面支援							
	経費(千円)	0							
備考									
街歩きにかかる整備情報発信は、H30の北条旧市街地元気なまち再生事業で実施するため、R元以降は、新規開業希望者へ空き店舗等の物件紹介や補助金情報の提供などの支援を行います。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★住環境整備による定住促進を図ります。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備 				<ul style="list-style-type: none"> ・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備 			
	経費(千円)	2,827				9,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】		目標		2	9	16	23	30	30
		実績	—	9	21	26	30		
(指標及びR2目標値の設定理由) 年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	450%	233%	163%	130%		
			最終年度	30%	70%	87%	100%		
H30取組状況	・危険空き家の除去や狭あい道路の拡幅を行うことにより、北条市街地の安全・安心のまちづくりの推進に努めました。								
課題と今後の取組	・助成制度のPRを行う等、住民への周知を行い、より一層の安全・安心のまちづくりの推進に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	130%	100%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備 							
	経費(千円)	9,800							
備考									
(H30、R元)H29年度の実績により、経費の変更を行います。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 移住体験施設(お試し住宅)の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部、地域振興部			課名	ふるさと創造課、きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・創造会議等にお試し住居運営の打診				・お試し住居の整備に向けた調査・研究			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★お試し滞在施設数【3-63】		目標	—	1	1	2	3	3	
		実績	—	0	0	0			
(指標及びR2目標値の設定理由) 市北部、市街地、南部の3ヶ所で、創造会議による立ち上げを目指す		目標数値の達成度	単年度	—	0%	0%	0%		
			最終年度	—	0%	0%	0%		
②★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】		目標	—	5	25	30	35	50	50
		実績	—	20	31	54	83		
(指標及びR2目標値の設定理由) 移住相談会等への参加体制を整えることで年間50件の相談を受けることを目指す		目標数値の達成度	単年度	400%	124%	180%	237%		
			最終年度	40%	62%	108%	166%		
③★空き家改修年間助成数【4-76】		目標	—	1	3	3	3	5	5
		実績	—	1	2	4	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 制度の周知を図り、登録物件を増やし、マッチングの成果を年間5件と設定		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	133%	33%		
			最終年度	20%	40%	80%	20%		
④★お試し滞在補助年間助成組数【3-63】		目標	—	—	—	5	5	5	
		実績	—	—	—	2			
(指標及びR2目標値の設定理由) 制度の周知を図り、移住希望者の負担軽減を図るため、助成数を年間5組と設定		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	40%		
			最終年度	—	—	—	40%		
H30取組状況	<p>お試し滞在施設の設置においては、他市町の先進事例について調査研究を行いました。平成30年度にきてみて住んで課が新設され、移住相談会、電話、窓口、メールなどによる移住に関する相談窓口が一本化されました。</p> <p>空き家改修については相談件数は多くありましたが、実際に着手となったのが1件で他は次年度へ持越しとなりました。</p>								
課題と今後の取組	平成30年度に総務部で実施した市内建物等実態調査で利活用可能な空き家を抽出し、ふるさと創造会議での運営に理解いただきながら機運を高めるよう取り組みます。								

平成30年度評価

政策・施策						
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり					
施策	13 周辺地域の定住促進					
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	237%	166%		
③	②実行中	B: 予定より遅延	33%	20%		
④	②実行中	B: 予定より遅延	40%	40%		
実施計画						
実施計画	区分	R2 (予定額)		/	/	
	取組内容	・お試し居住の整備に向けた調査・研究				
	経費(千円)	0				
備考						
・整備を31年度に変更 ・移住・定住促進のため、指標「お試し滞在補助年間助成組数」を追加しました。 ・ふるさと創造会議では自らの拠点整備を進める動きとなっている。お試し居住整備にはまだハードルが高いため先進地事例の調査研究から取り組む。						

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 県の特別指定区域制度 における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し案及び宇仁小跡地土地利用計画に沿った特別指定区域を指定 ・宇仁小跡地事業化検討・調査 ・宇仁地区定住補助 				・開発事業者の調査、募集			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
新規居住者地区住宅戸数		目標		3	4	4	6	8	10
		実績	0	3	4	4	4		
(指標及びR2目標値の設定理由) 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大等の販売を見込んで設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	67%		
			最終年度	30%	40%	40%	40%		
H30取組状況	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しの検討を行いました。								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度に宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しを行います。 ・宇仁地区への定住促進を図るため、地域活力維持定住促進補助制度を活用していきます。 ・宇仁小学校グランド跡地活用土地利用計画の検討を引き続き行ないます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	40%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宇仁小グランド跡地の特別指定区域指定 ・開発事業者の調査、募集 							
	経費(千円)	0							
備考									
<p>(H30) 宇仁地区新規居住者に対し、新しい定住補助制度を実施します。 (R元) 宇仁小学校グランド跡地において、民間事業者調査、募集を行います。</p>									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者世帯定住促進補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度				・若者世帯定住促進住宅補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度			
	経費(千円)	51,873				56,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】		目標		35	40	40	45	50	50
		実績	7	37	76	74	103		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内に持家を取得した若者世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	190%	185%	229%		
			最終年度	74%	152%	148%	206%		
②★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】		目標		52	60	60	65	70	70
		実績	—	57	65	49	50		
(指標及びR2目標値の設定理由) 将来市内に持家を取得する可能性のある新婚世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	110%	108%	82%	77%		
			最終年度	81%	93%	70%	71%		
H30取組状況	新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ制度の周知を図りました。								
課題と今後の取組	新婚世帯向け家賃補助制度及び若者世帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	229%	206%	A: 目標を上回って達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	77%	71%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・若者世帯定住促進住宅補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度							
	経費(千円)	56,000							
備考									
平成30年度当初予算要求において若者世帯定住促進住宅補助及び新婚世帯向け家賃補助の見込件数を増としたため。令和元年度当初予算要求において若者世帯定住促進住宅補助及び新婚世帯向け家賃補助の見込件数を増としたため。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	開発推進課、都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査				・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査			
	経費(千円)	106,000				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】		目標	-	-	-	-	1	1	1
		実績	-	-	-	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 土地利用計画の策定数		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	100%		
			最終年度	-	-	100%	100%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・加西インター地区農村地域産業導入実施計画を策定しました。 ・県担当課とほ場整備事業と整合した土地利用のあり方について協議しました。 ・地元と協議を行いました。 ・加西インター産業団地地区地区計画を決定し、新産業団地整備が可能となる規制緩和を行いました。 								
課題と今後の取組	・加西インター地区農村地域産業導入実施計画に基づき、ほ場整備事業と整合を図りながら、積極的に加西インター産業団地地区整備事業を推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査							
	経費(千円)	0							
備考									
平成29に土地利用計画は策定済みのため、H30の目標値を「-」から「1」に変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 鶉野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	鶉野未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画に基づく事業実施 ・交流のまちづくり促進事業 ・鶉野ミュージアム等整備連携事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画に基づく事業実施 ・空がつなぐまち・ひとづくり推進事業 			
	経費(千円)	294,127				189,141			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★鶉野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】		目標		8,000	8,000	8,000	8,000	16,000	16,000
		実績	—	8,000	8,000	8,000	8,000		
(指標及びR2目標値の設定理由) 都市再生整備計画の目標値(現状の倍増)を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	50%	50%	50%	50%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画に基づき、展望広場、備蓄倉庫、歴史資料展示施設兼トイレ、散策用歩道の整備を行いました。また、法華口を拠点としたレンタサイクル用ガイドマップの作成やフラワーロード事業など鶉野飛行場跡地周辺の環境整備を行いました。 ・紫電改実物大展示模型の製作や、地域活性化拠点施設の設計業務等を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・鶉野飛行場跡地を活用した地域活性化拠点施設の整備を行い、同地域周辺の歴史遺産を一体とした地域活性化のための利活用を検討、実施する。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	空がつなぐまち・ひとづくり推進事業							
	経費(千円)	300,500							
備考									
<p>(H30) 散策用歩道整備、展示施設(トイレ)整備、防空壕等サイン整備、紫電改レプリカ製作、地域活性化拠点施設実施設計等を行います。</p> <p>(R元) 散策用歩道整備、防空壕等整備、地域活性化拠点施設実施計画等を行います。</p> <p>地方創生推進交付金(先駆タイプ)への変更が採択を受けて事業名称が変更となった。</p>									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 住宅区域のPR 定住促進まちづくり活動助成金制度のPR 				<ul style="list-style-type: none"> 住宅区域のPR 定住促進まちづくり活動助成金制度のPR 特別指定区域制度を活用した新しい建築ルール策定の検討 			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市街化調整区域における新築住宅戸数		目標		40	40	40	40	40	40
		実績	—	43	63	33	40		
(指標及びR2目標値の設定理由) 周辺地域の定住促進の状況を示すもので、過去5年の平均値を設定		目標数値の達成度	単年度	108%	158%	83%	100%		
			最終年度	108%	158%	83%	100%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページで、地縁者の住宅区域・新規居住者の住宅区域・定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域の見直しを行います。 県特別指定区域制度を活用した加西市独自基準の策定に向けた協議を進めました。住宅建築の規制緩和制度の創設を積極的に推進します。 市ホームページで、地縁者の住宅区域・新規居住者の住宅区域・定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 住宅区域のPR 定住促進まちづくり活動助成金制度のPR 特別指定区域制度を活用した新しい建築ルール策定の検討 							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定 				<ul style="list-style-type: none"> ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定 ・定住促進補助の実施 			
	経費(千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・H27 ヘルデ 28 ・H28 横尾 35 (63) ・H29 中野3、笠屋4、寿前8 15 (78) ・H30 笠屋4、尾崎13 17 (95) 				4,910 1,300			
指標名		4,860(H29繰)+50 (H30)							
		設の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】		目標		28	60	100	150	200	200
		実績		28	63	78	95		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市街化区域内での開発見込み戸数+市街化調整区域内の各小学校区毎での開発目標戸数※実績はH27からの合計戸数です(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	78%	63%		
			最終年度	14%	32%	39%	48%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域における住宅地開発について、民間資金活用と自治会・事業者・行政の三者連携の手法により、尾崎町北条高校前地区において、地区計画を策定し事業を推進しました。 ・民間住宅団地開発事業について、開発調整条例に基づく協議を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎町北条高校前地区における住宅団地整備事業を完成し、早期の分譲販売を積極的に推進します。 ・民間住宅団地開発事業について、開発調整条例に基づく協議を行います。 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅地整備の可能性について検討を行います。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	63%	48%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良整備工事(測量、設計費)の実施 							
	経費(千円)	2,900							
備考									
(H30) 尾崎町北条高校前地区への定住促進補助を実施します。民間住宅団地開発に伴う市道整備負担金を交付します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	—				—			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】		目標		6	6	6	6	10	10
		実績	—	6	0	0			
(指標及びR2目標値の設定理由) 現状6件の利用件数を5カ年で10件に増加させる		目標数値の達成度	単年度	100%	0%	0%			
			最終年度	60%	0%	0%			
H30取組状況									
課題と今後の取組									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									
空き家バンク登録者が利用できる「加西市お試し居住制度」を、加西市出逢いサポートセンターの支援で成立したカップルに情報提供を行います。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)				・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)			
	経費(千円)	220				220			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★出張相談会年間参加数【2-35】		目標		1	3	3	3	3	3
		実績	—	2	3	5	5		
(指標及びR2目標値の設定理由) 移住希望者に対する相談・PRを神戸・大阪・東京の3箇所で開催することを想定		目標数値の達成度	単年度	200%	100%	167%	167%		
			最終年度	67%	100%	167%	167%		
H30取組状況	移住相談会は、カムバックひょうごセンターやひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会の一員として、ひょうご田舎暮らし臨時相談所(5/19・神戸)、北播磨・西播磨合同移住相談会(8/19・大阪)、ひょうごの田舎暮らし臨時相談所(11/24・神戸)、北播磨移住相談会(1/26・大阪)、田舎暮らしセミナー・相談会(2/24・神戸)の計5回参加しました。								
課題と今後の取組	出張相談会へは引き続き積極的に参加し、丁寧な対応に努めて参ります。また、イーナカサイ(冊子)やPR動画を効果的に活用し、京阪神地区を中心にPRし、加西市の魅力を発信してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	167%	167%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)							
	経費(千円)	220							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 2 市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 6 交通結節点(駅・バス停)の整備を進めます。 9 ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・交通結節点の整備 ・地域主体型交通の導入支援				・交通結節点の整備(高速泉バス停パーク&ライド等) ・地域主体型交通の導入支援			
	経費(千円)	6,795				29,150			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%		
			最終年度	60%	76%	92%	101%		
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332		
(指標及びR2目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%		
			最終年度	92%	89%	86%	87%		
H30取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。 北条鉄道のホームページの機能強化を図り、情報発信を行うとともに、鉄道沿線の魅力や見所をわかりやすく案内する「北条鉄道乗ってくマップ」を作成し、利用促進を図りました。								
課題と今後の取組	・各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行います。 ・市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行いより分かりやすい情報提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	126%	101%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	87%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・交通結節点の整備 ・地域主体型交通の導入支援							
	経費(千円)	150							
備考									
・地域主体型交通の導入支援事業及び高速泉バス停パーク&ライド整備事業を追加します。 ・予算要求額へ変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・バス対策費補助				・バス対策費補助			
	経費(千円)	25,000				26,841			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 広域幹線のフィーダー路線となるコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%		
			最終年度	60%	76%	92%	101%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道安全輸送設備の整備に対する支援を行いました。 ・駅舎の改修など鉄道施設の整備に対する支援を行いました。 ・北条町駅、法華口駅および車両内のWiFi整備への支援を行い北条鉄道の利用促進を行いました。 								
課題と今後の取組	老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	126%	101%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・バス対策費補助							
	経費(千円)	25,000							
備考									
予算要求額へ変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進				・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進 ・通学定期券購入補助事業			
	経費(千円)	1,500				2,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%		
			最終年度	60%	76%	92%	101%		
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332		
(指標及びR2目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%		
			最終年度	92%	89%	86%	87%		
H30取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。 北条鉄道のホームページの機能強化を図り、情報発信を行うとともに、鉄道沿線の魅力や見所をわかりやすく案内する「北条鉄道乗ってくマップ」を作成し、利用促進を図りました。								
課題と今後の取組	・各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行います。 ・市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行いより分かりやすい情報提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	126%	101%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	87%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進							
	経費(千円)	1,500							
備考									
予算要求額へ変更します									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・公共交通相互連携事業 ・交差施設整備事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・交差施設整備事業 			
	経費(千円)	18,394				76,098			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332		
(指標及びR2目標値の設定理由) 北条鉄道の利用促進効果をはかるため利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%		
			最終年度	92%	89%	86%	87%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道安全輸送設備の整備に対する支援を行いました。 ・駅舎の改修など鉄道施設の整備に対する支援を行いました。 ・北条町駅、法華口駅および車両内のWiFi整備への支援を行い北条鉄道の利用促進を行いました。 								
課題と今後の取組	老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	89%	87%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・交差施設整備事業 							
	経費(千円)	6,894							
備考									
交差施設整備事業を追加します。 予算要求額へ変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7・8 自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子ども保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減				・コミバス・路線バス運賃軽減			
	経費(千円)	1,800				1,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 運賃軽減による効果をコミバスの利用者数で測ります。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%		
			最終年度	60%	76%	92%	101%		
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332		
(指標及びR2目標値の設定理由) コミバスの運賃軽減による北条鉄道への波及効果を利用者数で測ります。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%		
			最終年度	92%	89%	86%	87%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子育て世帯を対象にコミバス等の運賃を無料化しました。 ・子育て世帯の利用を促進するため保育所・幼稚園・こども園において周知活動を実施しました。 								
課題と今後の取組	・コミバス利用者の新規開拓として対象者への利用促進を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	126%	101%	B: 目標を達成			②継続	
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	87%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減							
	経費(千円)	1,800							
備考									
予算要求額へ変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 公園長寿命計画変更 丸山総合公園整備工事(都市再生整備事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 ウッドデッキ等修繕工事(第2期) 			
	経費(千円)	70,467				26,277			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
都市公園利用者数		目標	/	27,500	28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
		実績	-	27,500	32,568	28,500	29,200		
(指標及びR2目標値の設定理由) 安心・快適な施設の目安としてH22年度の都市公園の利用者数を超えることを目標に設定した		目標数値の達成度	単年度	100%	116%	100%	101%		
			最終年度	92%	109%	95%	97%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協働し、適切な公園管理に努めました。また、イベントを開催することで、利用者数の増加に取り組みました。 施設の経年劣化に対応した修繕を適時実施しました。 丸山総合公園において、都市再生整備事業を活用し、ソーラー街灯、カラー舗装、グラスパーキング、サークルベンチ、スプリング遊具等を整備しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協働し、利用者数の更なる増加に向けた取り組みを進めます。 遊具等の施設の経年劣化に対する迅速な修繕を行い、更新についても検討を進めます。 丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについて、撤去も視野に入れた対策を検討します。塩田池西側の東屋周辺については、H30年度にウッドデッキの撤去を行い、H31年度にインターロッキング舗装と転落防止柵の整備を実施します。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	97%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 ウッドデッキ等改修工事(第3期) 公園長寿命化計画に基づく実施設計策定 							
	経費(千円)	29,031							
備考									
(H30) 都市再生整備事業を活用し、丸山総合公園整備工事を実施します。 (R元) 丸山総合公園のウッドデッキ修繕工事を行う。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 史跡を計画的に整備し、活用を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	笹塚古墳 ・第二期工事(本工事)				・笹塚公園供用開始			
	経費(千円)	32,001				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数		目標	/	-	-	1	2	3	4
		実績	-	-	-	1	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づく		目標数値の達成度	単年度	-	-	100%	100%		
			最終年度	-	-	25%	50%		
H30取組状況	史跡笹塚古墳の第二期工事を実施し、平成31年4月1日から史跡公園として供用を開始しました。整備完了記念講演会の開催しました。								
課題と今後の取組	補助事業のため、国・県の状況によりスケジュールの遅れが発生しています。国・県とスケジュールを調整し整備計画を変更する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	・史跡整備委員会の開催							
	経費(千円)	221							
備考									
整備スケジュールの変更に伴い、取組内容・経費を変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、大村笠原線、北条西上野線、段下4号線外				・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、大村笠原線、北条西上野線、段下4号線外			
	経費(千円)	193,736				311,900			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①基幹道路網の整備延長距離(km)【4-70】		目標		0.2	1.0	1.7	2.5	4.0	4.5
		実績	—	0.2	0.3	0.5	0.6		
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路の計画整備延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	30%	29%	24%		
			最終年度	4%	7%	11%	13%		
②集落道路の改良延長距離(km)【4-70】		目標		0.5	0.9	1.2	2.4	4.5	4.5
		実績	—	0.5	0.8	1.3	1.4		
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、集落道路の計画改良延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	108%	59%		
			最終年度	11%	18%	29%	32%		
H30取組状況	地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。								
課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に道路網整備を実施していくとともに、現道の適切な維持管理に努めてまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	24%	13%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	59%	32%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、大村笠原線、北条西上野線、段下4号線外							
	経費(千円)	400,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線				・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線			
	経費(千円)	174,737				292,600			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
歩道設置総延長(m)		目標		34,500	34,820	35,140	35,460	35,780	36,100
		実績	32,808	34,500	34,699	34,699	34,787		
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路整備に伴う計画歩道整備延長を目標値に設置		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	99%	98%		
			最終年度	96%	96%	96%	96%		
H30取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。								
課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に歩道整備を実施していくとともに、交通反則金充当事業を活用し、ガードレール等の安全施設整備に積極的に取り組んでまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	98%	96%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線							
	経費(千円)	300,000							
備考									
事業の進捗を図るため。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・橋梁修繕(2橋)				・橋梁修繕(2橋)			
	経費(千円)	4,445				25,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
修繕工事を実施する橋梁数(橋)		目標		5	9	13	15	21	25
		実績	—	9	13	14	16		
(指標及びR2目標値の設定理由) 長寿命化計画に基づき、計画橋梁修繕工事箇所数を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	180%	144%	108%	107%		
			最終年度	36%	52%	56%	64%		
H30取組状況	橋梁利用者の安全確保のため、橋梁修繕工事に取り組みました。								
課題と今後の取組	長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕工事を実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	64%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・橋梁修繕(2橋)							
	経費(千円)	25,000							
備考									
事業の進捗を図るため。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・河川浚渫等				・河川浚渫等			
	経費(千円)	500				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
河川修繕工事及び河川浚渫の実施(箇所)		目標		2	3	4	5	6	7
		実績	—	2	5	6	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 標準的な年間浚渫要望箇所数を目標値に設定		目標数値の 達成度	単年度	100%	167%	150%	40%		
			最終年度	29%	71%	86%	29%		
H30取組状況	河川修繕工事及び河川浚渫に取り組みました。								
課題と今後の取組	河川修繕工事及び河川浚渫を実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	40%	29%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・河川浚渫等							
	経費(千円)	1,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン の導入を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・案内表示版等の設置検討				・案内表示板等 1箇所			
	経費(千円)	100				100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入 (箇所)		目標		0	1	2	3	4	5
		実績	—	0	1	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 1箇所/年(必要に応じて適宜実施)		目標数値の 達成度	単年度	0%	100%	50%	33%		
			最終年度	0%	20%	20%	20%		
H30取組状況	案内表示版等の設置について検討した。								
課題と 今後の取組	必要に応じて、実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	33%	20%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・案内表示板等 1箇所							
	経費(千円)	100							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実				・高齢者学級・講座の充実			
	経費(千円)	804				880			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者講座年間受講者数		目標		460	470	470	480	490	500
		実績	426	493	533	558	577		
(指標及びR2目標値の設定理由) 「かしの木学園」「生き生き元氣塾」受講者実数。当初から2割増加と設定。		目標数値の達成度	単年度	107%	113%	119%	120%		
			最終年度	99%	107%	112%	115%		
H30取組状況	年々高齢者人口の増加に伴い高齢者を対象とした講座の受講者数も増加しています。運営委員会の自主運営で事業を実施している講座では、企画に参画するなど、活性化しています。								
課題と今後の取組	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き生き元氣塾」は参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、サポートボランティアの確保が難しくなっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	120%	115%	S: 目標を大きく上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実							
	経費(千円)	880							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助				・シルバー人材センター運営補助			
	経費(千円)	9,541				9,541			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
シルバー人材センター会員数		目標		440	425	445	465	485	500
		実績	517	404	393	382	342		
(指標及びR2目標値の設定理由) H27年度の数値を基準として目標値を設定		目標数値の 達成度	単年度	92%	92%	86%	74%		
			最終年度	81%	79%	76%	68%		
H30取組状況	シルバーだより、HPによる積極的な情報発信を実施するとともに、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき、就業機会の確保を行いました。								
課題と今後の取組	人口減少社会における高齢者の活用とともに、多様化するニーズに応える運用が求められます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	74%	68%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助							
	経費(千円)	9,541							
備考									
・実施計画中、「経費」…H30 9,641→9,541、 R元 9,641→9,541 に変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・介護予防リーダー養成講座 ・生活支援・介護サポーター養成講座 ・生活支援サポートセンター運営				・生活支援サポートセンター運営			
	経費(千円)	5,060				4,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者ボランティア数		目標		450	485	520	575	610	650
		実績	350	453	404	411	332		
(指標及びR2目標値の設定理由) 高齢者ボランティア数を当初の約倍増となる300人増を設定		目標数値の達成度	単年度	101%	83%	79%	58%		
			最終年度	70%	62%	63%	51%		
H30取組状況	住民同士の支え合い活動を広げ、また高齢者の社会参加により介護予防へ繋げるため、生活支援サポーター・介護予防リーダー養成講座を開催し、延べ177名の参加がありました。								
課題と今後の取組	受講者を地域活動に繋げるため、活動場所の紹介を行います。また、地域活動を実施いただいている方においては、モチベーションの向上のため、活動内容を広報していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	58%	51%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・生活支援サポートセンター運営							
	経費(千円)	4,000							
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 6,260→5,060、R元 6,260→4,000 に変更します。 ・実施計画中、「取組内容」・・・介護予防リーダー養成講座を削除します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施				・障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施			
	経費(千円)	700				700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
障がい者サロン年間参加者数		目標		450	460	470	480	490	500
		実績	430	540	717	488	515		
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業の浸透とともに参加者が徐々に増加しているため、さらに50人増を設定		目標数値の達成度	単年度	120%	156%	104%	107%		
			最終年度	108%	143%	98%	103%		
H30取組状況	新規団体2団体を含め8団体による実施となりました。障がい者フォーラム等の今までにない事業も実施することができ、内容に幅が出てきました。								
課題と今後の取組	参加人数も徐々に増加していますが、今後も広報等を行い新規参加者を増やしていきたい。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	103%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施							
	経費(千円)	700							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営 				<ul style="list-style-type: none"> ・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営 			
	経費(千円)	26,802				27,050			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
就労系サービス利用者数(延月人数)		目標		1,445	1,520	1,640	1,800 (1,760)	1,824 (1,880)	1,872 (2,000)
		実績	—	1,445	1,627	1,681	1,777		
(指標及びR2目標値の設定理由) 就労系サービス人数を示すもので、H27年度から5年間で555人増の数値を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	107%	103%	101%		
			最終年度	77%	87%	90%	95%		
H30取組状況	障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援を行いました。また、市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。								
課題と今後の取組	障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	95%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営 							
	経費(千円)	27,050							
備考									
第5期加西市障害福祉計画(H30.3月策定)を策定する際に指標における計画の見直しを行い、その目標数値と合わせるため。消費税増税による増額分について経費を増やしています。									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。

基本計画・主管部課			
基本計画	6	★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいCCRC構想の具体化を図ります。	
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名 人口増政策課

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	・調査研究	・構想策定
	経費(千円)	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★CCRC整備構想とりまとめ【3-61】	目標		—	—	—	—	1	1
	実績	—	—	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由) 構想推進のための基本構想のとりまとめが第1段階の目標となる	目標数値の達成度	単年度	—	—	—	—		
		最終年度	—	—	—	—		

H30取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。
---------	--------------------

課題と今後の取組	中高齢者の人口移動状況だけでなく、既存ストックの活用方策、さらには民間活力の有効活用の可能性等についても十分に検証し、併せて、今後国が提示する予定の参考となるビジネスモデルや参考事例、経済効果・自治体財政への影響の分析結果等も踏まえながら、施策の検討を進めていきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
	②実行中	—	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	
	取組内容	—	
	経費(千円)	—	

備考	
・事業を再検討します。	

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。

基本計画・主管部課				
基本計画	1 特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課、国保医療課

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 土日の町ぐるみ健診で託児を実施 国保加入者の特定健診料金の無料化 39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 胃がんリスク検診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 20～30歳代の子宮頸がん検診個別受診勧奨 土日の町ぐるみ健診で託児を実施 国保加入者の特定健診料金の無料化 39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 胃がんリスク検診の実施
	経費(千円)	37,955	48,100

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
		①がん検診受診率(%)	目標	胃 9.3 大腸 23.4 肺 29.6 子宮 13.9 乳 16.0	胃 11.0 大腸 25.0 肺 30.0 子宮 13.9 乳 16.6	胃 13.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 14.0 乳 18.0	胃 15.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 16.0 乳 20.0	胃 17.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 18.0 乳 22.0	胃 19.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 21.0 乳 23.0
	実績	胃 12.6 大腸 22.4 肺 28.2 子宮 13.3 乳 11.6	胃 9.4 大腸 23.8 肺 31.2 子宮 11.1 乳 14.9	胃 7.9 大腸 22.3 肺 30.7 子宮 14.4 乳 14.5	胃 6.7 大腸 22.7 肺 30.9 子宮 15.7 乳 17.0	胃 5.8 大腸 22.0 肺 28.5 子宮 14.9 乳 17.1			
(指標及びR2目標値の設定理由) 健康かさい21計画(国の目標値に準拠)	目標数値の達成度	単年度	98%	93%	93%	83%			
		最終年度	76%	76%	78%	74%			
②★がん検診の無料クーポン利用率(%) 【5-80】	目標	男14.8 女36.0	男15.0 女37.0	男16.5 女38.0	男18.0 女39.0	男20.0 女40.0	男20.0 女40.0		
	実績	— 男15.8 女45.5	— 男15.7 女45.6	— 男17.5 女55.5	— 男17.2 女46.2				
(指標及びR2目標値の設定理由) 市重点事業として5%の増を目指す	目標数値の達成度	単年度	120%	118%	134%	111%			
		最終年度	87%	102%	122%	106%			
③特定健診受診率	目標	—	—	40.0	44.0	48.0	52.0		
	実績	29.7	—	34.5	39.1	39.9			
(指標及びR2目標値の設定理由) 特定健診受診率の向上を図るため、年4%増を設定	目標数値の達成度	単年度	—	—	98%	91%			
		最終年度	—	66%	75%	77%			

平成30年度評価

政策・施策						
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり					
施策	17 ころとからだの健康づくり					
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。					
H30取組状況	41歳(男3がん、女5がん)、子宮頸がん(21.26.31.36歳)、乳がん(46.51.56.61歳)に無料クーポンを送付し、受診勧奨するとともに未受診者には再勧奨しました。					
課題と今後の取組	今後がん検診が受診しやすい体制を整備していきます。がん検診無料クーポン券の配布と共にごんや健診について啓発し、継続して受診してもらえるよう取り組みます。令和元年度は受診率が低い子宮頸がんについて若い世代をターゲットに個別勧奨通知を実施し、若年期より自身の健康づくりに意識していただけるよう支援していきます。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	83%	74%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	111%	106%		
③	②実行中	B: 予定より遅延	91%	77%		
実施計画						
実施計画	区分	R2 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・20～30歳代の子宮頸がん検診個別受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施 				
	経費(千円)	48,425				
備考						
<p>変更なし 平成30年度より一部を除き、乳がん検診での視触診を実施しません。 平成29年度より指標として「特定健診受診率」を追加しています。 令和元年度に若い世代の子宮頸がん検診個別勧奨を実施します。</p>						

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり							
施策	17 こころとからだの健康づくり							
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	2 予防接種の助成制度を拡充します。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・定期外の乳幼児ワクチン助成の実施				・定期外の乳幼児ワクチン助成の 継続実施 ・高齢者肺炎球菌ワクチンの助成		
	経費(千円)	276				3,510		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
★接種助成制度の創設数【1-2】	目標	当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	実績	-	-	-	-	1	1	1
(指標及びR2目標値の設定理由) 当面は、種類の追加を目指す	目標数値の 達成度	単年度	-	-	-	100%		
		最終年度	-	-	-	100%		
H30取組状況	1歳～3歳未満の方を対象に(一部対象外あり)おたぶくかぜの予防接種費用を助成しました。助成額は3,000円を上限とし、市内協力医療機関で接種できるようにしました。対象者への個別通知や広報で広く周知しました。また、1歳6か月児健診ではおたぶくかぜの予防接種の周知状況や接種状況を確認し、今後の事業継続の参考としました。							
課題と今後の取組	本来任意予防接種は定期接種と違い、接種の努力義務がないため個別通知を行いませんが、対象者へ確実に情報を届けるために個別通知を実施しました。その効果もあり1歳6か月児健診アンケートでは多くの保護者に周知できていることを把握しました。今後も広報だけでなく個別通知を継続し、接種希望者が利用しやすい事業にします。また、今後もおたぶくかぜの予防接種の継続と高齢者への任意予防接種として定期予防接種対象年齢外の肺炎球菌予防接種の助成を継続します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続	
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	・定期外の乳幼児ワクチン助成の継続実施 ・高齢者肺炎球菌ワクチンの助成						
	経費(千円)	3,510						
備考								
平成30年度に助成対象ワクチンの決定と対象者数より経費を再算出しています。								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 24回/年 ・健診結果説明会 2回/年 ・運動短期教室での実施				・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 22回/年 ・健康講座の開催 4回/年 ・健診結果説明会 1回/年 ・運動短期教室での実施			
	経費(千円)	2,609				2,846			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①運動を心がけている人の割合(%)		目標		31.4	(5年に1回の調査)				35
		実績	34	-	-	-	-		
(指標及びR2目標値の設定理由) 第2次健康かさい21		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-		
			最終年度	-	-	-	-		
②健康相談事業の利用者数		目標		574	1,000	1,025	1,050	1,075	1,100
		実績	-	574	962	791	679		
(指標及びR2目標値の設定理由) スマイル健康相談、町ぐるみ健診結果説明会、町ぐるみ健診個別相談利用者数		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	77%	65%		
			最終年度	52%	87%	72%	62%		
H30取組状況	運動ポイント事業を継続実施し、運動への意識向上と習慣化に向けた取組ができました。健康相談や健康教育についてもチラシや広報等でPRし、多くの方に参加していただくことができました。町ぐるみ健診では一定条件を満たす方に健康相談を実施し、普段出会う機会のない世代の方にも生活改善指導を行うことができました。								
課題と今後の取組	今後も継続的に取り組み、市民一人ひとりの健康意識を高めるとともに家族・地域の健康づくりにつながるよう取組ます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	-	-	-	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	65%	62%					

平成30年度評価

政策・施策		
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり	
施策	17 ころとからだの健康づくり	
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。	
実施計画		
実施計画	区分	R2 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 22回/年 ・健康講座の開催 4回/年 ・健診結果説明会 1回/年 ・運動短期教室での実施
	経費(千円)	2,846
備考		
平成30年度は北播磨圏域医師会の事業で「北播磨健康大学」で健康講座を開催したが、令和元年度については、医師会の協力を得て健康講座を開催します。		

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続				・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続			
	経費(千円)	91				94			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
自主組織(いずみ会・ゆうゆう会)による健康づくり普及実績数(健康課との共同実施した事業)		目標		2,499	2,550	2,600	2,650	2,700	2,750
		実績	—	2,499	2851	2,849	2,682		
(指標及びR2目標値の設定理由) 健康づくり普及実績数の増減がみられるため維持向上を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	112%	110%	101%		
			最終年度	91%	104%	104%	98%		
H30取組状況	子育て世代の親子や小学生を対象に、朝食の大切さや食事バランスについて伝えるため調理実習を行いました。また、市内各園では健康ピラミッドを使ってバランスの良い朝ご飯の普及も行いました。大学生を対象に日本型食生活の普及を行いました。高齢者を対象にバランスのとれた簡単にできる料理を普及するため調理実習を行いました。また、会員の研修会を数回開催し、会員の知識と技術向上に努めています。								
課題と今後の取組	第2次食育計画に基づき、今後も子供から高齢者までを対象に、バランスの良い朝食や正しい食習慣を啓発していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	98%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続							
	経費(千円)	94							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 ころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 健康づくりのための拠点施設を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・運動事業の推進 ・保健事業の実施				・運動事業の推進、保健事業の実施			
	経費(千円)	61,851				59,713			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
運動事業参加者実人員		目標		364	380	400	420	440	460
		実績	—	364	403	390	384		
(指標及びR2目標値の設定理由) 健康福祉会館事業のため。毎年5%の利用者増		目標数値の達成度	単年度	100%	106%	98%	91%		
			最終年度	79%	88%	85%	83%		
H30取組状況	H30年度はH29年度から導入した前期・後期システムを継続して事業を実施しました。自主的な健康づくりに取り組む人数は大幅に増え、数名で自主トレーニングに取り組むグループもいくつか確認されるようになりました。自主的な健康づくりを推進するため、新たに「チャレンジ自主トレ」を開始しました。また、ランニングマシン導入し、自主トレーニング環境の充実を図りました。								
課題と今後の取組	自主トレーニングの利用者については大幅に増加していますが、運動事業参加者実人員についてH29年度に引き続き、目標値を下回る結果となりました。H30年度は特定保健指導の支援方法の変更により、対象者を新規利用につなげにくくなったことも影響し、例年並みに新規利用者を増やすことが出来ませんでした。R元年は、特定保健指導対象者を新規利用へつなげる方法を改めて検討します。また、健康づくりに対して無関心な層へのアプローチ方法を検討し、新規利用者の増加を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	91%	83%	C: 目標を下回っている		③見直し		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・運動事業の推進、保健事業の実施							
	経費(千円)	59,713							
備考									
運動教室の開催内容について見直し、「自主トレーニング」に取り組みやすい環境整備を進め、自主的な健康づくりの推進を図ります。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化週間・月間の庁外への普及啓発 睡眠・休養講座でこころの健康づくりを周知 加西市自殺対策計画の策定 				<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化週間・月間での庁外への普及啓発 睡眠・休養講座等でこころの健康づくりの周知 			
	経費(千円)	3,470				931			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
自殺率の減少(3か年・人口10万対) 【減少指標】		目標		24.7	24.0	23.0	22.0	21.0	20.0
		実績	29.5	24.7	18.7	18.8	17.5		
(指標及びR2目標値の設定理由) ・加西市は自殺率が県下でも高く推移していた。現在は減少傾向にあるが、動向を確認していく必要がある。 ・自殺率は3か年ごとに評価。1年前のデータが最新となるため1年前の数値とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	118%	120%		
			最終年度	77%	107%	106%	113%		
H30取組状況	加西市自殺対策計画を策定し、関係機関と加西市の自殺の現状を踏まえ対策を検討しました。自殺予防週間、予防月間等に合わせ横断幕やのぼりの設置、庁内、健康福祉会館に普及啓発冊子を設置しました。落語家や臨床心理士によるセミナーの開催や、「こころの体温計」システム、成人式等においてこころの健康へ関心が高まるよう啓発を行いました。								
課題と今後の取組	過去3年の平均自殺率は減少傾向にありますが、自殺者数は微増しており、引き続き自殺対策の取組が必要です。自殺対策計画に沿って関係者との連携を図り、自殺対策の普及啓発、相談窓口の拡充を推進していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	120%	113%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化週間・月間での庁外への普及啓発 睡眠・休養講座等でこころの健康づくりの周知 							
	経費(千円)	931							
備考									
自殺対策基本法の改正により市町に自殺対策計画の策定が義務づけられたため、H30年度に策定する事とし、内容を追加します。計画策定後、こころの健康相談や相談先の普及啓発等、内容を拡大強化し実施します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西市第2次食育推進計画に基づき実施				加西市第2次食育推進計画に基づき新プロジェクトの実施			
	経費(千円)	982				965			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①朝食を欠食する人の割合(%)	目標			20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代27 30歳代15 40歳代14	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代20 30歳代10 40歳代8
	実績			20歳代32.8 30歳代18.1 40歳代16.9	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代15 30歳代6.7 40歳代5.0	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 若い世代での朝食欠食者が増えているため、減少を目指す。(加西市食育推進計画の目標値)	目標数値の達成度			単年度	-	-	155%	-
				最終年度	-	-	132%	-	
②★野菜を毎食食べる人(%)の割合	目標			13.3	-	15	-	-	18
	実績			-	-	18.5	-		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 生活習慣病予防に欠かせない野菜の摂取量の増加を目指す。(健康かさい21の目標値)	目標数値の達成度			単年度	-	-	81%	-
				最終年度	-	-	97%	-	
③栄養相談実施人数	目標			545	570	600	630	660	700
	実績			-	545	559	601	656	
	(指標及びR2目標値の設定理由) 望ましい食習慣確立のためには個別の相談で食生活の助言をしていく必要がある。	目標数値の達成度			単年度	100%	98%	100%	96%
				最終年度	78%	80%	116%	107%	
H30取組状況	子育て中の母親など若い世代に対して、子どもの健診や各園での食育教室などで、朝食の摂取や食事バランスなど正しい食習慣について啓発しました。また、健康福祉まつりでは、一般市民に対し、1日に必要な野菜量や毎食野菜料理を取り入れることを啓発しました。								
課題と今後の取組	栄養相談実施人数については年々増加傾向にあり、平成30年度は町ぐるみ健診時の相談件数が増えたことが大きく影響していると考えられる。今後も出前講座や健康福祉まつりなどで相談に対応できる環境づくりや、相談窓口の周知を行います。また、第2次食育計画に基づき、野菜摂取を含め正しい食習慣を啓発していきます。								

平成30年度評価

政策・施策						
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり					
施策	17 ころとからだの健康づくり					
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
①	②実行中	-	-	-	B:目標を達成	②継続
②	②実行中	-	-	-		
③	②実行中	B:予定より遅延	96%	107%		
実施計画						
実施計画	区分	R2 (予定額)		/	/	
	取組内容	加西市第2次食育推進計画に基づき新プロジェクトの実施				
	経費(千円)	965				
備考						
平成29年度策定の加西市第2次食育推進計画をもとに、食育を推進していきます。						

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★特定不妊治療に対する支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)			R元 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)の医療費助成(上限5万円) ・不育症(2回以上の流産や死産などがあること)の治療費助成(上限15万円)			・体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)・男性不妊治療費の医療費助成(各上限5万円) ・不育症(2回以上の流産や死産などがあること)の治療費助成(上限15万円)				
	経費(千円)	1,554			3,300				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★特定不妊治療助成年間件数【1-19】		目標		45	48	51	54	60	60
		実績	—	44	40	56	33		
(指標及びR2目標値の設定理由) 補助実績件数による推計(約25%増)		目標数値の達成度	単年度	98%	83%	110%	61%		
			最終年度	73%	67%	93%	55%		
H30取組状況	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受け、兵庫県特定不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の1回あたりの助成額を控除した額の助成を行いました。(上限5万円)また、不育症(2回以上の流産や死産等があること)の治療費助成を行いました。(上限15万円)								
課題と今後の取組	引き続き特定不妊治療、不育症の治療助成について広報等で周知を図り支援を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	61%	55%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)・男性不妊治療費の医療費助成(各上限5万円) ・不育症(2回以上の流産や死産などがあること)の治療費助成(上限15万円)							
	経費(千円)	3,300							
備考									
取組内容に男性不妊治療を追加(R元より)									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり							
施策	17 ころとからだの健康づくり							
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	9 ★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)					R元 (予算額(補正含む))	
	取組内容	・運動ポイント事業の実施・拡充					スマートフォンを利用した運動ポイント事業を実施	
	経費(千円)	18,355					16,160	
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
★健幸ポイント事業参加者数【5-79】	目標	当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	実績	—	250	500	1,000	1,500		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 500人定員とし、徐々に増やし倍増を想定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%	133%	150%	
		最終年度	25%	50%	100%	150%		
H30取組状況	当初は継続者1,000人のみでH30年度の事業を実施する予定でしたが、市民の要望にお応えし、新たに新規参加者500人を募り事業を実施しました。継続者については、事業実施期間を5か月間から約9か月間に延長し、健康づくりの習慣化を図りました。また、ラジオ体操による健康づくりの推進として「加西市ラジオ体操」をイオンモール加西北条にて8月から毎週水曜日に実施し、毎回100人を超す多くの方に健康づくりに取り組んでいただきました。							
課題と今後の取組	2019年度からは、歩数計測ツールを活動量計からスマートフォンに変更し事業を実施します。参加対象を40歳以上の市民から20歳以上の市民に幅を広げ実施し、健康づくりに対して無関心な層へのアプローチにより一層取り組んでいきます。また、これまで事業に参加され、健康づくりが習慣化された方へのフォローもしっかりと取り組んでいきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	150%	A: 目標を上回って達成		③見直し	
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	・事業の継続実施						
	経費(千円)	10,000						
備考								
専用のモバイルアプリケーションを作成し、スマートフォンを利用した運動ポイント事業を実施します。								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。								
主管部課	部名	加西病院			課名				
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。 ・電子カルテ更新事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。病院将来構想の策定を受けて、病院機能等の再検討・再構築を図る。 			
	経費(千円)	390,080				80			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420
		実績	—	320	110	400	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 一人でも多くの市民の方々に関心を持ってもらい、愛着をもって病院を応援して頂く方を増やすため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%	0%		
			最終年度	76%	26%	95%	0%		
H30取組状況	地域医療フォーラムは、市立加西病院将来構想検討委員会が立ち上がったばかりであったことから、むしろ具体的内容がはつきりしてから地域医療フォーラムを開催の方が望ましいと考え、平成30年度の開催を見送りました。。小・中学生向けの救急救命講習を今年も4中学で実施。住民向けの病院出前講座を11団体で実施した。ワークライフバランスWGを開催して仕事と生活の両立を推進。看護師・研修医の就職説明会へ参加し(計6か所)、実習・見学者も積極的に受け入れた、その結果平成31年度も研修医6名を採用できた。医師確保については、平成30年度中に4名(消化器内科医1名、循環器内科医1名、一般内科医2名)を採用、31年4月には神大派遣以外に精神科1名を採用した。・内科専門医研修プログラムで現在1名の専攻医が研修中。・市立加西病院の将来のあり方と建て替えに向けた検討をするため、加西市将来構想検討委員会を開催し、検討を開始した。病院改革プランについては、地域多機能型病院を目指すため、内容・目標を一部変更して実施した。また電子カルテシステムを更新した。								
課題と今後の取組	平成30年度は、2年続けて追加繰入を実施していただくなど経営状況が非常に厳しくなっている所から、市立加西病院の経営の安定化を図り将来の機能、規模等を検討するため、市立加西病院将来構想検討委員会を開催し検討を始め、令和元年度に検討委員会の提言をまとめてゆく。市立加西病院改革プランについても、将来構想検討委員会の方向性に併せて今後改正してゆく。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている		②継続		

平成30年度評価

政策・施策			
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり		
施策	18 地域医療体制の充実		
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。		
実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。病院将来構想の策定を受けて、病院機能等の再検討・再構築を図る。	
	経費(千円)	80	
備考			
平成30年度に市立加西病院将来構想を策定する予定となっています。そのため将来構想の策定を受けて病院機能、病床数の検討に着手する予定のため取り組み内容を追加します。			

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。								
主管部課	部名	加西病院			課名				
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(カルテシステム含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進				・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(CT含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進			
	経費(千円)	420,000				253,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西病院への年間紹介患者数		目標		6,900	7,000	紹介率43%、逆紹介率55%(7,100)	紹介率45%、逆紹介率60%(7,200)	紹介率47%、逆紹介率65%(7,500)	紹介率50%、逆紹介率70%(7,900)
		実績	6,100	6,782	6,452	紹介率53%、逆紹介率61%(6,166)	紹介率40%、逆紹介率53%(6,891)		
(指標及びR2目標値の設定理由) 診療所等から加西病院への紹介患者数を後5カ年で1,000人増を目指す		目標数値の達成度	単年度	98%	92%	87%	97%		
			最終年度	86%	82%	78%	89%		
H30取組状況	開業医へのホットライン、開業医・救急への循環器内科のホットラインを運用、消化器内科においても365日対応体制を敷いた。また、救急担当医師を置き断らない救急受入を目標に掲げて診療所との連携を強化した。近隣市開業医・病院へも訪問を継続し顔の見える関係づくりを行った。きずなネットの運用継続を行い、今年度は電子カルテシステムを更新し併せて、患者さんのニーズに合わせてクレジット払い、夜間救急時の清算支払いを実施するとともに一部医療機器の充実を図った。								
課題と今後の取組	紹介患者数は11.7%増加したが、救急受入増等患者数の増により紹介率、逆紹介率は低下した。今後も開業医との連携を強化して入院患者数の増を図る。 はりま姫路総合医療センターが令和4年にも開設される予定であり、同センターとも機能連携協議を開始。身近にある病院としての救急の受入、可能な急性期医療の提供、地域包括ケア病棟の活用により、開業医と連携を深めて地域医療の充実を図る。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	89%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(CT含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進							
	経費(千円)	230,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
平成30年度に新病院改革プランの目的・目標を見直しました。その中で、地域中核病院として地域医療支援病院を目指すことから、地域多機能型病院として地域（診療所等）との連携強化へと目標が変わり、紹介率・逆紹介率の数値目標値を変更したため、それにあわせて、数値目標を変更するものです。	

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 県、医師会、病院との連携を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・福祉企画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催 			
	経費(千円)	0				20			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
病院・診療所数		目標		32	32	32	33	34	35
		実績	27	32	32	32	31		
(指標及びR2目標値の設定理由) 地域医療の維持の観点から設定。医療機関が不足しているため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	94%		
			最終年度	91%	91%	91%	89%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携における研修会や会議を開催した(地域医療フォーラムは実施せず。) ・医師会とは、保健事業検討会の開催や医師研修会での事業説明等、連携強化に努めた。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療フォーラムと医療介護推進部会(地域包括ケアシステム)との連携。 ・取組みの継続と効果的な取り組みの検討。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	94%	89%	C: 目標を下回っている	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催 							
	経費(千円)	20							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課、健康課、長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置				・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置			
	経費(千円)	2,898				3,275			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420
		実績	—	320	110	400	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 保健、医療、福祉、介護等各サービスの現状や課題、展望についてフォーラムにて周知を行うため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%	0%		
			最終年度	76%	26%	95%	0%		
H30取組状況	地域包括ケアシステム推進部会のワーキングチームにより、保健・医療・福祉・介護等が包括的に提供される多職種連携体制構築に向けての検討を進め、推進部会で協議を行いました。 地域医療市民フォーラムについては、市立加西病院の将来構想検討委員会が立ち上がったばかりであり、具体的な内容が未確定であったため、平成30年度は開催せず。								
課題と今後の取組	引き続き推進部会において多職種連携のあり方を協議するとともに、地域医療市民フォーラムを開催することで、地域医療の現状や課題を共有し、地域医療包括ケアシステムの推進について、市民への周知を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置							
	経費(千円)	3,275							
備考									
・平成30年2月から加西病院に医療介護連携相談窓口を設置したことによる増額。 ・医療フォーラム(医療・介護フォーラム)に専門講師を呼び、広く市民への広報を図る。 ・598→3,461千円 ・委託料等の変更による減額									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知				・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知			
	経費(千円)	4,880				4,880			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	1	2	2	2	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 医療体制確保の実績のため		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	前年度と同様加西市医師会による休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。								
課題と今後の取組	平成27年度より開始した、年末年始休日歯科診療の市民への普及が必要です。体制を維持しつつも、適正な受診行動を市民に促すため「医療のかかり方」を周知する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知							
	経費(千円)	4,880							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・誘致検討				・誘致協議			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★産婦人科医院等の開設【1-4】		目標	/	—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由) 産婦人科医院等の開設数が指標として適当であり、現在市内にない産婦人科医院をまず1施設開設させることが必要である。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	—		
			最終年度	—	—	—	—		
H30取組状況	平成28年度の庁内プロジェクトチームでの検討の後は、新たな他団体の取組みなどの把握に努めている。								
課題と今後の取組	市立加西病院産婦人科の医師確保及び利用状況並びに今後の出生者数の動向等を踏まえ、民間の産婦人科医院等の開設の必要性及び費用対効果等を念頭に置きつつ検討を進める必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	—	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)			/				
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									
・事業を再検討します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課、福祉企画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案				・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案 ・第3期加西市地域福祉計画策定			
	経費(千円)	59,825				56,197			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①生活介護サービス利用者数(延月人数)		目標		1,547	1,560	1,620	1,680	1,740	1,800
		実績	—	1,547	1,639	1,871	1,945		
(指標及びR2目標値の設定理由) 生活介護サービスの利用者数を示すもので、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	115%	116%		
			最終年度	86%	91%	104%	108%		
②一時相談窓口寄せられた相談者数		目標		2,235	2,300	2,370	2,440	2,510	2,580
		実績	—	2,235	2,692	2,169	2,240		
(指標及びR2目標値の設定理由) 一時相談窓口への年間延べ相談者を指標とし、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	117%	92%	92%		
			最終年度	87%	104%	84%	87%		
H30取組状況		・一時相談窓口は実績が増加しました。 ・第一層生活支援コーディネーターは、地域のサロン等で地域の現状把握と必要に応じて他機関へつなぐ種のサポートを行いました。また、関係機関との会議等でネットワークづくりに取り組みました。 ・障がい者の日中の居場所提供となるサービスにおいて、地域活動支援センターに対して支援を行いました。							
課題と今後の取組		・一時相談窓口は、引き続き福祉を中心に安心して地域生活を送るための総合的な相談窓口であることを周知していく必要があり、地域包括支援センターと一時相談窓口との連携を密にしていきます。 ・第二層コーディネーターと共に地域のインフォーマルなサービスの発見やニーズに対するマッチングを行う必要があります。 障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行います。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	①	②実行中	S: 予定より早く進行	116%	108%	B: 目標を達成			②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	92%	87%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案							
	経費(千円)	51,530							
備考									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
<ul style="list-style-type: none">・実施計画中、「経費」…長寿介護課分について、H30 13,922→ 18,732、R元 13,922→ 18,732 に変更します。・長寿介護課分 R元・R2 24,232に変更します。・地域福祉課分については、26,802で変更ありません。・地域福祉課分、消費税増税によりR元年度27,050、R2年度27,298に変更します。	

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・配食サービス				・配食サービス利用助成金交付事業			
	経費(千円)	10,298				4,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
配食サービス配食数		目標		400	400	400	400	400	400
		実績	—	295	305	347	348		
(指標及びR2目標値の設定理由) 理論上最大配食数を目標値として設定		目標数値の達成度	単年度	74%	76%	87%	87%		
			最終年度	74%	76%	87%	87%		
H30取組状況	概ね65歳以上の高齢者で調理が困難な一人暮らし及び高齢者世帯を対象に調理・配達ボランティアの協力を得て定期的に、栄養バランスのとれた食事を配達するとともに、対象者の安否確認を実施しました。休止者やキャンセルがあるため目標達成は難しい。								
課題と今後の取組	H31年度より、一定の要件を満たす、民間事業者を含めた加西市登録配食事業者からの配食サービスに利用助成を行います。また、登録された事業者をネットワーク化することで助成事業に該当しない高齢者等にもより安心して安全な食事の選択の幅を拡大し、利便性を確保することにつなげます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	87%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・配食サービス利用助成金交付事業							
	経費(千円)	4,800							
備考									
H30年度、民間企業等への委託を予定していましたが、提供量と選択肢の幅を増やすために一定の条件を備えた配食事業者を登録制にし、それらからの配食に対してH31年度より助成事業として助成金を交付することとします。また、登録された事業者をネットワーク化することで助成事業に該当しない高齢者等にもより安心して安全な食事の選択の幅を拡大し、利便性を確保することにつなげます。R元年度からの指標については、助成事業となっても助成対象の条件は変更ないことから変更しないこととします。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 要援護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス				・高齢者等外出支援サービス			
	経費(千円)	663				1,110			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数		目標		300	300	300	300	300	300
		実績	—	291	237	235	156		
(指標及びR2目標値の設定理由) 開庁日稼働件数を目標値として設定		目標数値の達成度	単年度	97%	79%	78%	52%		
			最終年度	97%	79%	78%	52%		
H30取組状況	加西市社会福祉協議会に委託し、おおむね65歳以上の車イスを利用している高齢者や障がい者の方で、一般の交通機関では移動が困難な方を対象に、リフト付ワゴン車で通院や買い物等の送迎を、有償ボランティアの協力により行いました。								
課題と今後の取組	高齢者の移動手段確保のニーズが高まっていますが、公共交通との棲み分けが課題となっています。関係機関と調整のうえ、総合的な移送サービス事業を検討していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	52%	52%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス							
	経費(千円)	1,110							
備考									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。

基本計画・主管部課				
基本計画	4 地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	・4回コースの講座を開催予定	・地域の介護リーダーを養成
	経費(千円)	60	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
介護予防リーダー養成数	目標		300	340	380	420	460	500
	実績	73	301	301	378	498		
(指標及びR2目標値の設定理由) 前期、後期にそれぞれ4回コースの講座を開催	目標数値の達成度	単年度	100%	89%	99%	119%		
		最終年度	60%	60%	76%	100%		

H30取組状況	社会福祉協議会と共催により、生活支援サポーター養成講座と共通講座(2回)を設けて、年に1度全4回の講座を開催し、延べ120名の参加がありました。
---------	--

課題と今後の取組	介護予防の輪を広げていくため、住民を主体とした地域活動を紹介し、自走型の地域活動へ繋げていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	119%	100%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	
	取組内容	・地域の介護リーダーを養成	
	経費(千円)	0	

備考	
----	--

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★大学等との連携による高齢者の介護支援(介護予防)を進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援				・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援			
	経費(千円)	20				240			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★連携カフェ年間開催数【5-81】		目標		—	2	4	8	16	16
		実績	—	—	0	2	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 大学生や子育て中の母親と連携したカフェをH32に16回開催を目指します。		目標数値の達成度	単年度	—	0%	50%	25%		
			最終年度	—	0%	13%	13%		
H30取組状況	連携カフェ年間開催数は開催カフェ数として計上。 1か所は夜間営業により夕食を提供、地域の高齢者から20代等の若い世代も来店し交流をもっている。年間12回開催。 1か所は、子育て中の女性など若い世代の方の来店が多く来店している。年間20回開催。 市内の認知症カフェは1か所増加し、7か所となった。カフェ連絡会を通じて、カフェ運営の負担や周知方法について検討し、運営助成制度やパンフレットの作成を実施した。								
課題と今後の取組	カフェ連絡会を継続し、他のカフェにも情報提供や情報共有を図り、高齢者や認知症の方だけでなく地域のさまざまな世代の交流の場としての存在をアピールしていく必要がある。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	25%	13%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援							
	経費(千円)	240							
備考									
・実施計画中、「経費」・・・R元 300→40、R2 300→45 に変更します。 ・加西市認知症カフェ運営助成金としてR元 40→240 R2 45→240に変更します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★あったか声かけ作戦を推進します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・あったか声かけ作戦の実施				・あったか声かけ作戦の実施			
	経費(千円)	330				330			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
あったか声かけ作戦の実施地区数		目標		8	11	11	11	11	11
		実績	—	10	11	11	11		
(指標及びR2目標値の設定理由) 全校区においてあったか声かけ作戦を実施		目標数値の 達成度	単年度	125%	100%	100%	100%		
			最終年度	91%	100%	100%	100%		
H30取組状況	各小学校区ごとに1町選出し、あったか声かけ作戦を実施しました。キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座を行い、その後、住民らによる寸劇や声かけ体験を実施し、行方不明の人がいたらどのように対応したらよいかを学びました。								
課題と今後の取組	認知症という病気についての理解と対応力を学んだ方は増えてきていますが、地区内での見守り体制づくりにつながるなど実践的な活動に進めていくような取り組みを考えていく必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・あったか声かけ作戦の実施							
	経費(千円)	330							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 災害時要援護者の登録推進を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定				・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定			
	経費(千円)	360				360			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
災害時要援護者台帳登載率(%)		目標		61.5	63.0	64.0	65.0	66.0	67.0
		実績	—	61.5	61.1	54.7	54.8		
(指標及びR2目標値の設定理由) 支援希望の有無について回答のない方198名のうち2/3を台帳に搭載すると想定		目標数値の達成度	単年度	100%	97%	85%	84%		
			最終年度	92%	91%	82%	82%		
H30取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・要介護度3以上及び重度障がい者で災害時要援護者でない者に対して申請書類を送付しました。 ・社会福祉協議会に委託して福祉委員(民生委員)により訪問調査を実施しました。 ・災害時要援護者台帳を作成し、自治会、民生委員、社会福祉協議会及び消防署に配布しました。 							
課題と今後の取組		H31.2時点で災害時要援護者数1,198名(+39)、支援不要と回答があった未登録要援護者746名(+18)、支援希望の有無について回答がない潜在要援護者244名(+13)となっており、台帳登載率に変化がないため、今後、福祉委員(民生委員)の協力も得ながら、支援希望の回答のない方にアプローチしていきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	84%	82%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定							
	経費(千円)	360							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 				<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 			
	経費(千円)	2,290				2,700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
① ★防災訓練・研修年間開催数【5-89】	目標			35	44	53	62	71	71
	実績		—	34	37	30	27		
(指標及びR2目標値の設定理由) 自主防災組織が2年に1度は訓練実施するように設定		目標数値の達成度	単年度	97%	84%	57%	44%		
			最終年度	48%	52%	42%	38%		
② ★資器材補助団体数	目標			10	12	14	16	18	20
	実績		—	26	51	41	52		
(指標及びR2目標値の設定理由) 資器材補助団体数の倍増		目標数値の達成度	単年度	260%	425%	293%	325%		
			最終年度	130%	255%	205%	260%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資器材整備補助制度を見直し、毎年50,000円を上限に補助(1/2)することとし(H28.1から)消防関係の資器材を中心に補助申請が増えています。 ・出水期前に土のう作り訓練を実施(2回)しました。 ・地震発生を想定した避難所開設運営訓練を北条小学校区で実施しました。 ・消防団のあり方について検討するため、「加西市消防団あり方検討委員会」を2回開催しました。 								
課題と今後の取組	訓練を実施する自主防災組織が固定化しているため、実施していない地域への普及啓発を行いたいと考えます。ただ、土のう作り訓練は2回で21町、避難所開設訓練は1回で17町が参加しており、訓練補助申請町24町と合わせて、延べ62町、重複を省いても51町が訓練を実施しています。資器材補助団体数は、補助制度を見直したこともあり、当初の目標を既に達成していますが、今後も維持又は増加するように啓発していきたいと考えます。また、消防団のあり方についても継続して検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	44%	38%	C: 目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	S: 予定より早く進行	325%	260%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 							
	経費(千円)	2,700							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置				・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置			
	経費(千円)	16,000				16,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
LED防犯灯設置数		目標		3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200
		実績	—	3,776	3,915	4,013	4,072		
(指標及びR2目標値の設定理由) 通学路のLED防犯灯を増設して児童の安全を図るために各中学校区に100灯程度を目標に設置		目標数値の達成度	単年度	102%	103%	103%	102%		
			最終年度	90%	93%	96%	97%		
H30取組状況	自治会申請、通学路設置を含めて59灯を設置しました。 また、既設置防犯灯においても不具合が生じ、取替えという事態が発生してきています。								
課題と今後の取組	まだまだ、通学路等においても必要と思われる場所があるので、積極的に設置喚起をしていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	97%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置							
	経費(千円)	16,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール				・登下校時の見守り ・防犯パトロール			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
年間のパトロール実施回数		目標	/	190	190	190	190	190	190
		実績	-	190	190	190	190		
(指標及びR2目標値の設定理由) 毎日計画的に青色防犯パトロールを実施します。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	小中学生の下校時の見守り、また不審者情報等を基に当該付近の監視を行いました。								
課題と今後の取組	今後も、警察と協力し、不審者情報等に気を付けながら小中学生の下校時の見守り活動を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/			
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発する				・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者における人身事故加害者率(%) 【減少指標】		目標		0.44	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
		実績	0.49	0.44	0.43	0.43	0.43		
(指標及びR2目標値の設定理由) 高齢者の運転免許保持者が人身事故を起こす割合を現在の水準より上げない		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	98%	100%	100%	100%		
H30取組状況	高齢者運転免許自主返納サポート協議会へ加盟して以来、市内業者様に返納特典付与をお願いし、自主返納の推進を行いました。								
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 警察、安全協会等と連携し、自主返納を推進して行きます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 所有者への助言・指導 自治会への除却補助 老朽危険空き家のデータベース作成 				<ul style="list-style-type: none"> 所有者への助言・指導 自治会への除却補助 老朽危険空き家対策計画策定 			
	経費(千円)	10,220				2,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数		目標		5	5	5	5	5	5
		実績	—	5	3	2	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 危険空き家の増加を抑制する。		目標数値の達成度	単年度	100%	60%	40%	40%		
			最終年度	100%	60%	40%	40%		
H30取組状況	2件の指導を行い、老朽危険空家の解体の申請を1件受理し、解体を完了しました。								
課題と今後の取組	令和元年度に空家等対策計画の策定を予定しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	40%	40%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 所有者への助言・指導 自治会への除却補助 							
	経費(千円)	2,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助				・主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助			
	経費(千円)	3,120				5,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
防犯カメラ設置台数		目標		7	15	20	30	40	50
		実績	—	8	22	44	61		
(指標及びR2目標値の設定理由) 主要な交差点20カ所 30団体の設置を支援		目標数値の 達成度	単年度	114%	147%	220%	203%		
			最終年度	16%	44%	88%	122%		
H30取組状況	市設置防犯カメラが8基、自治会設置防犯カメラは9基を設置しました。								
課題と 今後の取組	警察等からの要請もあり、自治会設置の防犯カメラ数が増加する見込みのため、補助申請時には適切な指導を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	203%	122%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・必要とする自治会(県の補助を受けたことを前提)に設置補助							
	経費(千円)	5,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ★加西市の子ども・子育てでの総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施				・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施			
	経費(千円)	16,439				16,445			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】		目標		5	6	6	6	5	5
		実績	—	5	5	4	4		
(指標及びR2目標値の設定理由) 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増		目標数値の達成度	単年度	100%	83%	67%	67%		
			最終年度	100%	100%	80%	80%		
H30取組状況	・各ひろばで季節の催事等、親子交流の場を設け、地元の高校や福祉団体と連携し、参加者の拡大と交流を図りました。一方、少子化の影響や低年齢から保育所に入る子どもが増加しており、ひろばの年間延べ利用者は、H29年20,350人からH30年14,490人に大きく減少しました。								
課題と今後の取組	今後は、出張広場のように他施設や地域に積極的に出向いて、働きかける必要があります。また、低年齢から保育所に入所する児童が増えており、ひろば来園者は減少傾向にあります。新たな施設をさらに増やすよりも、既存施設の魅力を高め、活用を図ることが課題となっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	80%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施							
	経費(千円)	16,445							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診費用の助成 ・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ ・新生児聴覚検査等の費用助成 				<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診費用の助成 ・産婦健康診査費用の助成 ・新生児聴覚検査等の費用助成 ・乳幼児発達相談・健診の実施 ・視覚検査スクリーニング機器の導入 			
	経費(千円)	38,581				30,112			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★妊婦健診の年間受診延べ件数【1-20】		目標		3,664	3,682	3,699	3,716	3,750	3,750
		実績	—	3,493	3,620	3,183	2,971		
(指標及びR2目標値の設定理由) 妊婦数及び妊娠期の健康管理の状況を示すもので、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	95%	98%	86%	80%		
			最終年度	93%	97%	85%	79%		
H30取組状況	今年度より、新生児聴覚検査の助成を開始し、聴覚検査受診により必要な方は聴覚のフォローにつながることができています。妊婦健診費用野の助成により必要な妊婦健診を受けることができ、妊娠期を安全に、安心して過ごしていただくことができ、支援の必要な方は医療機関と連携を図ることができました。								
課題と今後の取組	母子手帳交付者は必要な健診を受診できていますが、母子手帳交付数が減少傾向のため健診受診数が減少しています。令和元年度より、3歳児健診に視覚検査スクリーニング機器を導入し、視覚異常の早期発見・早期治療につながるよう関係機関と調整しながら健診の充実を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	80%	79%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診費用の助成 ・産婦健康診査費用の助成 ・新生児聴覚検査等の費用助成 ・乳幼児発達相談・健診の実施 ・視覚検査スクリーニング機器の導入 							
	経費(千円)	30,112							
備考									
包括支援センター・産前産後サポート事業等の開始により実施体制が変更してきているため、取り組み内容を変更しています。(基本政策3施策2基本計画11と組み替えました)									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化				・児童療育室と他部署との連携強化			
	経費(千円)	20,527				20,527			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】		目標		5	6	6	6	5	5
		実績	—	5	5	4	4		
(指標及びR2目標値の設定理由) 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増		目標数値の 達成度	単年度	100%	83%	67%	67%		
			最終年度	100%	100%	80%	80%		
H30取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・発達相談等のあった園児44名を対象に、個々の実態調査を行い、支援担当職員28名を配置しました。私立園には加配職員配置助成措置を3件講じて、園児の生活の様子や保護者との対応に関する相互理解を図りました。 ・発達支援児の指導計画を基に個々の支援ファイルを作成し、保幼小職員間で支援ファイルをもとに情報の共有化を進めました。特に就学前の児童については保育者、関係機関が保護者との相談を重ねながら、体験入学等、円滑な接続に取り組みました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育を進めていくために、職員は研修に参加して特別支援教育の専門知識と実践力を高め、個々の園児に合った支援の方法を探っていく必要があります。 ・支援を必要とする園児数が年々増加しており、加配職員の確保が厳しい状況であります。丁寧な関わりがもてる環境を整えるため、引き続き職員の確保と育成に努めていきます。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	80%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化							
	経費(千円)	20,527							
備考									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	4 地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実 				<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実 		
	経費(千円)	11,943				11,075		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
相談窓口啓発カードの配布枚数	目標		350	400	500	600	700	800
	実績	29	350	360	1270	1751		
(指標及びR2目標値の設定理由) 相談窓口の周知は早期発見・対応に不可欠であり、配布枚数は啓発の進捗状況を示す。		目標数値の達成度	単年度	100%	90%	254%	292%	
			最終年度	44%	45%	159%	219%	
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードを全ての新生児のいる家庭への訪問時や民生委員研修等で配布。児童虐待防止強化月間に粗品と共に配布し、普及啓発を図りました。 昨年度末に改訂した加西市児童虐待防止マニュアルをHPに掲載、学校園や研修会で配布し、意識啓発を図りました。 要保護児童対策地域協議会が主催し、関係者向けに虐待対応研修を開催しました。 							
課題と今後の取組	全国的に重篤な児童虐待が増加しており、今後も市民や関係機関への普及啓発を継続して行います。併せて学校・教育委員会、警察、児童相談所等関係機関との協力連携を強化し、虐待の未然防止や早期発見に努めていきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	S: 予定より早く進行	292%	219%	A: 目標を上回って達成	②継続		
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実 						
	経費(千円)	11,075						
備考								
R元年度から実施予定の養育支援訪問事業等の子育て支援事業を追加しました。								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 学校との連携を強化し、学童保育を充実します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・富田学童保育園分園 15園(各校1園、北条・北条東・富田・富合各2園)				・学童保育園の運営 15園(各校1園、北条・北条東各2園)			
	経費(千円)	71,450				81,473			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
学童保育受入率(%)【1-23】		目標		100	100	100	100	100	100
		実績	82.9	100	97	81	93		
(指標及びR2目標値の設定理由) 11園で運営し受入枠を拡充		目標数値の達成度	単年度	100%	97%	81%	93%		
			最終年度	100%	97%	81%	93%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安全に生活できるよう富田学童保育園舎を拡充するなど環境整備に努めました。 ・計画的に指導員の研修会を開催し、毎月の連絡会とともに指導員の共通理解を深めました。また、県の資格認定研修に指導員2名が参加し、研修を終えました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より4年生以上の高学年の受け入れが必須となり、待機児童が発生しています。待機児童が発生している校区については、小学校の余裕教室や近隣の公的施設を活用もしくは学校敷地内に専用棟を建設し、受け入れ場所の整備を図る必要があります。 ・人材不足が課題です。今後も放課後児童支援員の計画的な採用と育成支援に努めていきます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	93%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・学童保育園の運営 15園(各校1園、北条・北条東各2園)							
	経費(千円)	81,473							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・北条ならの実こども園の開設 ・(仮称)泉こども園の整備				・(仮称)泉こども園の整備			
	経費(千円)	125,395				959,092			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
認定こども園の普及(園)【1-22】		目標		5	5	6	7	7	7
		実績	—	5	5	6	7		
(指標及びR2目標値の設定理由) H29年に1ヶ所、H30年に1ヶ所認定こども園を開設		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	71%	71%	86%	100%		
H30取組状況		<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月に北条ならの実こども園が開園しました。さらに、(仮称)泉こども園の建設に向け、敷地内のため池改修工事を実施しました。 富田保育所が認定こども園に移行するにあたり、施設整備補助を実施しました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の原因のひとつとして、公立の認定こども園での保育士不足が深刻な課題となっています。施設整備による待機児童解消を図るとともにこども園の民営化を含め、加西市全体の幼保施設の在り方を検討する必要があります。 女性の社会進出に伴い、0～2歳児の待機児童が増加しています。保育士の確保とともに事業所内保育、家庭的保育など新たな受け皿確保が必要です。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会 ふるさと創造部	課名	こども未来課 人口増政策課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討				・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討			
	経費(千円)	172,206				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★保育料等の無料化対象年齢【1-12】		目標	—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳
		実績	—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳		
(指標及びR2目標値の設定理由) 4・5歳児保護者の負担軽減を維持する		目標数値の 達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
②★子育て応援券制度対象者数【1-7】		目標	—	—	—	900	1,300	1,300	1,500
		実績	—	—	—	—	—		
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て応援券制度対象者の増加を図る		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—	—		
			最終年度	—	—	—	—		
H30取組状況	平成30年度も前年同様、4・5歳を対象に負担軽減を実施しています。								
課題と今後の取組	令和元年10月の国の保育料無償化にあわせて、給食費の無料化について検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	—	—	—					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)				/	/		
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討							
	経費(千円)	—							
備考									
保育料の無料化に伴う経費は予算要求とならないため計上していません。また、子育て応援券制度について引き続き検討を行います。令和元年10月からの幼児教育の無償化については、国の動向を注視し対応します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・病児保育の実施				・病児保育の実施			
	経費(千円)	13,842				14,746			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】		目標		300	400	400	400	500	500
		実績	—	411	475	623	431		
(指標及びR2目標値の設定理由) H27年の実績を基に目標を設定する		目標数値の達成度	単年度	137%	119%	156%	108%		
			最終年度	82%	95%	125%	86%		
H30取組状況	平成30年度より月曜日から土曜日の開設としました。 閑散期は、各園を巡回訪問し、当制度の周知を図りました。								
課題と今後の取組	今後も事業者と制度に対する保護者の評価を高めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	108%	86%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・病児保育の実施							
	経費(千円)	14,746							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知 				<ul style="list-style-type: none"> ・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知 			
	経費(千円)	2,812				3,851			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ファミリーサポートセンター協力会員数【1-21】		目標		60	61	62	63	65	65
		実績	29	60	61	57	63		
(指標及びR2目標値の設定理由) 協力会員数は、地域の保育サポーターを示すもの。現状より会員増(約1人/年)を設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	92%	100%		
			最終年度	92%	94%	88%	97%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会報(ファミサポだより)発行による活動状況等の周知に努めました。 ・安心して活動が行えるよう会員養成講座を開催、協力会員の資質向上を図りました。また、ファミサポ活動への理解と会員増、利用増を図るため、会員交流会を開催しました。 ・乳児検診時に交流会のチラシを配布し、事業の啓発を図りました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートクラブ活動の周知・啓発に努めます。 ・現在は利用者の要望にほぼ対応できる体制になっていますが、2019年10月に開始される幼児教育無償化の対象サービスになっており、今後は新たな要望にも対応できるよう協力会員の増を図っていきます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	97%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知 							
	経費(千円)	3,851							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施				・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施			
	経費(千円)	153,392				174,715			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
中学3年生までの医療受診件数【1-18】		目標		82,496	83,000	83,500	84,000	84,500	85,000
		実績	—	81,456	84,042	83,119	78,825		
(指標及びR2目標値の設定理由) 子どもの増加に伴い、受診件数が増えることが予想されるため、受診件数を評価指標としています。		目標数値の達成度	単年度	99%	101%	100%	94%		
			最終年度	96%	99%	98%	93%		
H30取組状況	中学3年生までの医療費無料化を継続して実施するとともに、出生や転入者などの新規対象者について、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内しました。								
課題と今後の取組	県内では、所得制限を撤廃する自治体もあり、今後も他市町の動向に注視していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	94%	93%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施							
	経費(千円)	174,715							
備考									
直近約2年間の実績を踏まえ、経費を見直したものです。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業の継続 乳房ケア事業の継続 産婦検診費用の助成 				<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業の継続 乳房ケア事業の継続 すくすく相談窓口 プレママ・パパママ教室 産前産後サポート事業 			
	経費(千円)	1,882				5,995			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★産後ケア事業の利用率(%)【1-3】		目標		—	3.0	6.0	8.0	10.0	10.0
		実績	—	—	16.7	9.3	9.4		
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業についての周知が広がることで利用者が 増加することを見込む		目標数値の 達成度	単年度	—	557%	155%	118%		
			最終年度	—	167%	93%	94%		
H30取組状況	利用者支援事業担当の保健師1名の配置を継続した。また、毎月妊産婦のケース会議を他課と連携のもと実施し、情報を共有しよりよい支援を実施した。								
課題と今後の取組	支援が必要なケースだけでなく、ポピュレーションアプローチにも取り組む必要があるため、利用者支援事業担当保健師を増員し対応していく必要がある。また、産後ケア事業だけでなく産前産後サポート事業の実施も検討し、様々なサービスを利用しながら妊産婦が安心安全に希望した妊娠期や産後を過ごせるよう支援していく必要がある。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	118%	94%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業の継続 乳房ケア事業の継続 すくすく相談窓口 プレママ・パパママ教室 産前産後サポート事業 							
	経費(千円)	5,995							
備考									
包括支援センター・産前産後サポート事業等の開始により実施体制が変更してきているため、取り組み内容を変更しています。(基本政策6施策21基本計画2と組み替えました)									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	12 ★ひとり親家庭の支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備				・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備			
	経費(千円)	3,337				2,785			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実【1-5】		目標		-	-	-	-	1	1
		実績	-	-	-	-	-		
(指標及びR2目標値の設定理由) ひとり親家庭の支援施策整備のための追加メニュー数		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-		
			最終年度	-	-	-	-		
H30取組状況	・現行事業を実施しました。 ・児童扶養手当現況届時にニーズを聞き取り、必要な支援を検討しました。								
課題と今後の取組	・聞き取り調査では金銭的な補助に対する要望が多い為、関係制度を紹介し、利用を勧めていきます。 ・「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」の実施に向けて調整を進めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備							
	経費(千円)	2,785							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	13 ★子育て応援企業の支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・セミナーの実施				・セミナーの実施			
	経費(千円)	0				50			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】		目標		-	-	30	30	30	30
		実績		-	-	81	28		
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て応援に取り組む企業の支援数で、年間30名の参加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	-	270%	93%		
			最終年度	-	-	270%	93%		
H30取組状況	働き方改革セミナーとして、有給や産休、育休の取得促進に関するセミナーを実施した。								
課題と今後の取組	働き方改革制度の周知とともに、くるみん認定制度、えるぼし認定制度等の子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するための制度の説明等を、関係機関と連携し実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	93%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・セミナーの実施							
	経費(千円)	50							
備考									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	14 ★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。				・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。		
	経費(千円)	5				25		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元
★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】		目標	—	5	7	10	13	15
		実績	—	0	0	10		
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て家庭の外出支援の充実を図るもの。		目標数値の 達成度	単年度	—	0%	0%	100%	
			最終年度	—	0%	0%	67%	
H30取組状況	市内の公共施設、民間施設の10施設を「赤ちゃんの駅」として指定しました。							
課題と今後の取組	公共施設にはおむつ交換台の設置等を呼び掛け、民間施設には協力を依頼します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	B: 目標を達成	②継続		
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。						
	経費(千円)	25						
備考								

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	15 ★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・調査研究				・誘致協議		
	経費(千円)	0				0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元
★屋内遊具施設の誘致【1-10】		目標	—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	—
(指標及びR2目標値の設定理由) 屋内遊具施設の誘致数が指標に適している。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—	—	—
			最終年度	—	—	—	—	—
H30取組状況	市内大手ショッピングセンターに屋内遊具施設等の設置について協議をしました。							
課題と今後の取組	屋内遊具については集客力のある店舗等での設置が最も効果的であることから、市内大手ショッピングセンターに継続して協議する。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	②実行中	—	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続		
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	—						
	経費(千円)	—						
備考								
・事業を再検討します。								

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	16 ★空き家を活用した子育て支援を行います。							
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報収集				・ニーズや受け皿に関する情報収集		
	経費(千円)	0				0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元
★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】		目標	-	-	-	-	1	1
		実績	-	-	-	-	-	-
(指標及びR2目標値の設定理由) 必要が生じた時点で目標年度を設定する		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-	-
			最終年度	-	-	-	-	-
H30取組状況	なし							
課題と今後の取組	空き家に限定せず、子育て施設の活用を図るため、保育事業者を広く公募を行う予定です。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
	①未着手	-	-	-	C: 目標を下回っている	③見直し		
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報収集						
	経費(千円)	0						
備考								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	17 ★子育て情報の発信に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・子育てNAVIIによる子育て情報の発信				・子育てNAVIIによる子育て情報の発信			
	経費(千円)	713				713			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★「子育てNAVII」1日平均閲覧数【1-14】		目標		60	60	100	150	300	300
		実績	—	50	273	1,397	466		
(指標及びR2目標値の設定理由) 登録数により5倍増を設定		目標数値の 達成度	単年度	83%	455%	1397%	311%		
			最終年度	17%	91%	466%	155%		
H30取組状況	・子育て専用掲示板の設置、ハンドブックの改訂、メール配信サービス等を活用し、子育て全般に関する情報発信の強化に努めました。								
課題と今後の取組	・登録者は増えているものの、閲覧数が減っています。加西市ならではの子育て支援情報を発信し、引続き登録者の増加に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	311%	155%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・子育てNAVIIによる子育て情報の発信							
	経費(千円)	713							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	18 ★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免。				・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金減免			
	経費(千円)	10,751				12,292			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】		目標		560	590	620	650	700	700
		実績	—	630	624	615	612		
(指標及びR2目標値の設定理由) 様々な子育て支援策を講じることにより多子世帯数を年々30名程度増加させる。		目標数値の達成度	単年度	113%	106%	99%	94%		
			最終年度	90%	89%	88%	87%		
H30取組状況	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。								
課題と今後の取組	加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	94%	87%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金減免							
	経費(千円)	12,500							
備考									
減免対象者の減少によりH31年度の経費を減額しました。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	19 ★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給				・乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給			
	経費(千円)	1,153				1,100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ごみ袋年間支給枚数(万枚)【1-16】		目標		12	12.5	13	13.5	15	15
		実績	—	10	11.2	8.9	9.6		
(指標及びR2目標値の設定理由) 様々な子育て支援施策等の実施により乳幼児保護者世帯を年々増加させ、支給枚数を2割増加させる。		目標数値の達成度	単年度	83%	90%	68%	71%		
			最終年度	67%	75%	59%	64%		
H30取組状況	乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行いました。								
課題と今後の取組	ごみ処理の広域化等によるごみ袋の販売金額、出生者数の状況及び生活保護世帯への支援内容等を踏まえながら制度の見直しを行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	71%	64%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給							
	経費(千円)	1,300							
備考									
想定していたより対象者が減少したため、R元年度の経費について減額します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民参加による地域の里山整備を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理				・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理			
	経費(千円)	900				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
里山整備箇所数(毎年)		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	0	8	9	10	9		
(指標及びR2目標値の設定理由) 予算の範囲内で小学校区に1つ程度の整備を想定		目標数値の達成度	単年度	80%	90%	100%	90%		
			最終年度	80%	90%	100%	90%		
H30取組状況	集落共有林等の山林を整備することにより美しい里山の再生を図るため、9団体に対し補助金を交付しました。								
課題と今後の取組	集落の住環境と里山との共生を図り、美しい里山を整備していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	90%	90%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理							
	経費(千円)	1,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・企業による森づくり活動				・企業による森づくり活動			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
企業の森面積(ha)		目標		4	8	8	8	8	8
		実績	0	0	8	8	8		
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内の活動フィールド候補地面積		目標数値の達成度	単年度	0%	100%	100%	100%		
			最終年度	0%	100%	100%	100%		
H30取組状況	協賛企業誘致活動を行いました。誘致できませんでした。								
課題と今後の取組	都市住民との交流を促進し、里山整備を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・企業による森づくり活動							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・動植物生態調査検討 ・普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成)				・動植物生態調査実施 ・普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成)			
	経費(千円)	203				1,095			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数(親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアー)		目標		108(2回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)
		実績	—	108(2回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)		
(指標及びR2目標値の設定理由) ・自然環境の保全の関心を喚起した人数としました。目標値は参加可能人数としています(マイクロバス2台分)。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	200%	100%	100%	100%		
H30取組状況	【あびき湿原関係】近年来場者が多くなったため、市と県が補助を行い、あびき湿原内に盗掘防止用の柵を設置しました。また、保全活動を推進するため、ソフト面の支援を行いました。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】毎年夏休みを実施しているバスツアーは159名応募があり抽選により参加者は54名となった。ただ、今年度は天候不良のため残念ながら実施できなかった。								
課題と今後の取組	【あびき湿原関係】あびき湿原だけでなく、他の地域の自然資源についても保全・活用を推進する仕組みが必要となっています。他地域の自然環境を把握するため、動植物生態調査の実施に入ります。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】30年度は天候不良のため未実施となったが、31年度は様々な層に知的関心をもってもらえるような企画を検討・実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・動植物生態調査実施 ・普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成)							
	経費(千円)	1,095							
備考									
R元年度より市内の動植物の生態調査の本格実施に向けて取組むため、微増となっています。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・県営ため池改修 3池着工				・県営ため池改修 4池着工			
	経費(千円)	23,111				17,687			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ため池改修箇所数(件)		目標		1	4	8	11	13	15
		実績	—	1	2	8	11		
(指標及びR2目標値の設定理由) 危険ため池が21箇所あり、H32までに半数以上を改修する。		目標数値の達成度	単年度	100%	50%	100%	100%		
			最終年度	7%	13%	53%	73%		
H30取組状況	事業着手(三口町、坂本町、田谷町)5池、事業採択申請(西笠原町、下若井町、東高室)3池、調査設計(東高室)3池を実施しています。								
課題と今後の取組	防災の観点から引き続きため池改修を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	73%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・県営ため池改修 4池着工							
	経費(千円)	88,780							
備考									
県営ため池事業費の経費について、県計画に基づき変更									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業 			
	経費(千円)	34,527				35,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
有害鳥獣年間被害額(千円) 【減少指標】		目標		25,000	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
		実績	27,284	18,963	17,819	13,587	17,561		
(指標及びR2目標値の設定理由) 農業被害額を5年間で2割削減を目指す。		目標数値の達成度	単年度	124%	126%	141%	120%		
			最終年度	105%	111%	132%	112%		
H30取組状況	加西市の南部地域を中心に、約10kmの金網柵を設置するとともに、兵庫県猟友会加西支部の協力のもと、シカ個体群管理事業、有害鳥獣駆除専任班委託業務などによりシカ、イノシシの駆除活動を行い被害軽減に努めた。								
課題と今後の取組	新たに被害が発生している南部地域を中心に、金網柵を設置するとともに、有害鳥獣の直接駆除により個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努める。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	120%	112%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業 							
	経費(千円)	35,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地調査の実施 農地中間管理事業 農業委員会耕作放棄地解消活動 				<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地調査の実施 農地中間管理事業 農業委員会耕作放棄地解消活動 			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
耕作放棄地面積(ha) 【減少指標】		目標		10	10	9	9	8	8
		実績	16	11	11	7	8		
(指標及びR2目標値の設定理由) 農地パトロールの結果と営農組合組織率から設定。		目標数値の達成度	単年度	90%	90%	122%	111%		
			最終年度	63%	63%	113%	100%		
H30取組状況	放棄地の発生を未然に防ぐため、集落営農組織化、新規就農者の参入等を積極的に推進しました。また、多面的機能支払交付金を活用し、各地域において農地維持活動に努めた。								
課題と今後の取組	果樹参入希望者の増に伴う耕作放棄樹園地の再整備を検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	111%	100%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地調査の実施 農地中間管理事業 農業委員会耕作放棄地解消活動 							
	経費(千円)	0							
備考									
農地利用円滑化団体事業から農地中間管理事業へ移行となったものです。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・定住自立圏ガイドブックの作成等 ・多言語パンフレットの作成				・加西グルメガイドの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等			
	経費(千円)	3,594				2,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
観光関連パンフレット、ガイドブック作成数		目標		5	6	7	8	9	10
		実績	—	5	6	7	15		
(指標及びR2目標値の設定理由) 毎年一種類は新しく掘り起こしたガイドブックを作成することを目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	188%		
			最終年度	50%	60%	70%	150%		
H30取組状況	加西市観光まちづくり協会に著作権のあるパンフレットの事業整理により、15種類のパンフレットを作成 H30は、加西北条ぶらぶらマップを作成。市街地の再活性化と合わせて旧北条市街地への人の流れを作る。 カサイチサイクリングマップを更新。市外も含めた内容に更新								
課題と今後の取組	加西市観光ガイドマップの更新。写真を多用した見ごたえのある内容にする。 加西のおみやげを記載したパンフレットの作成。 市内案内表示の多言語化								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	188%	150%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・定住自立圏ガイドブックの作成等 ・フラワーツーリズムガイドブックの作成等							
	経費(千円)	1,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座 				<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座 			
	経費(千円)	5,350				5,300			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
フォトコンテストへの出品数		目標		190	200	210	220	230	240
		実績	—	190	173	104	459		
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市の良さを発見してもらうフォトコンテストを行い、出品数の3割増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	87%	50%	209%		
			最終年度	79%	72%	43%	191%		
H30取組状況	フォトコンテストにInstagram部門を新設。手軽に出品できるため369件の応募があった。 H30より各講座を有料化。播磨国風土記講座は毎回好評ですべて大盛況となった。 こども狂言塾は、加西能のほか、PTCA実践発表会、南部公民館まつり、出雲大社特設ステージで新作狂言「根日女」を披露 風土記事業会計から計上による増額								
課題と今後の取組	Instagram部門に応募のあった優秀作品を活用したPR 加西市能・狂言プロジェクトの継続実施								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	209%	191%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座 							
	経費(千円)	5,300							
備考									
出品の増加を狙ったInstagram部門の新設									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 広告物の表示については、景観との調和に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づく指導により、景観との調和に努める				・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時の屋外広告物条例に基づく指導			
	経費(千円)	5,340				5,156			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
屋外広告物手続き件数		目標		40	100	60	120	80	140
		実績	95	55	97	61	104		
(指標及びR2目標値の設定理由) 手続き件数を増加することで広告物と景観との調和を図ることを目標に設定		目標数値の達成度	単年度	138%	97%	102%	87%		
			最終年度	39%	69%	44%	74%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物の違反広告物/パトロールを北播磨地区合同で実施しました。 ・屋外広告物の新規申請及び更新申請を遅滞なく行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の許可及び確認申請を利用し、屋外広告物の新規申請数の増加に努めます。 ・違反広告物の是正指導に努めます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	74%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時の屋外広告物条例に基づく指導							
	経費(千円)	5,156							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言				・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
開発調整条例に基づく事前協議件数		目標		30	30	30	30	30	30
		実績	—	35	38	35	25		
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	117%	127%	117%	83%		
			最終年度	117%	127%	117%	83%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業の事前調整を図ることで、周辺住民とのトラブルの防止に努めました。 ・関係部署への手続きの照会等、各種法令上の手続きと連携を迅速に行いました。 								
課題と今後の取組	継続して、事前協議と適切な指導に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	83%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 花咲くまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成				・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成			
	経費(千円)	2,200				2,200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
住民ボランティアによる植栽ポット数(万ポット)		目標		11	11	11	11	11	11
		実績	11	11	11	11	11		
(指標及びR2目標値の設定理由) 配布し花を植えられる施設数より設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーセンター、播磨農高で花苗の育苗を行い、公共施設や老人会花壇等に植栽することで、加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり」活動に努めました。 ・植栽、育苗作業に取り組むボランティアや老人会会員の生きがいや交流の場を創出しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・花苗、土等の資材単価が高騰していますが、目標とする花苗の配布数の確保に努めます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成							
	経費(千円)	2,200							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施				・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市庁舎の電気使用量(kwh)		目標		906,925	897,856	888,877	879,988	871,189	862,477
【減少指標】		実績	953,664	900,100	852,000	825,105	856,998		
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	101%	105%	107%	103%		
・デマンド監視システムを運用している市庁舎の電気使用量を指標としました。目標値は省エネ法に基づき年1%削減となる数値としています。			最終年度	96%	101%	104%	101%		
H30取組状況	デマンド監視システムを適切に運用し、夏場、冬場の空調の際に、一度に全空調を稼働させずに、順次移動させて、電力負荷が上がらないように努めました。特に議会会期中は、空調稼働が集中することから市庁舎の稼働を控えるなどの対策を講じました。また、ヒートポンプチャラーの温度を夏場は高め、冬場は低めに設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。								
課題と今後の取組	現行の取組みを継続していきます。ただし、気候によって電気使用量が増加することもあります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	103%	101%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	—				—			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
グリーンハウス建築促進補助金受付件数		目標		10	28	28	28	28	28
		実績	—	10	25	27	27		
(指標及びR2目標値の設定理由) グリーンエネルギーシティ構想に基づいた住宅団地における建築の見込み件数にて設定		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	96%	—		
			最終年度	36%	89%	96%	96%		
H30取組状況	・H29年度で事業完了しました。								
課題と今後の取組	・H29年度で事業完了しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	③完了	—	—	96%	B: 目標を達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)		/					
	取組内容	—							
	経費(千円)	—							
備考									
※「ベルデしもさと」整備に伴うため、H29で事業完了。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金 				<ul style="list-style-type: none"> ・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金 			
	経費(千円)	1,414				2,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西市内の太陽光発電導入容量(kw)		目標		37,285	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
		実績	—	52,758	63,099	64,317	97,858		
(指標及びR2目標値の設定理由) ・創エネの指標として導入が続いている太陽光発電の導入容量としました。目標値は、経済産業省発表の導入予定量の半分程度を見込んだ数値としました。		目標数値の達成度	単年度	141%	115%	107%	151%		
			最終年度	70%	84%	86%	130%		
H30取組状況	実績は電気自動車に5件(500千円)、蓄電池に14件(914千円)の補助金を交付しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、地域の住環境に配慮した創エネの導入になるように、事業者に指導、助言を行いました。								
課題と今後の取組	引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施し、蓄エネ・節エネをより一層推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	151%	130%	S: 目標を大きく上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金 							
	経費(千円)	2,000							
備考									
令和元年度は、引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・配水管の耐震化 L=1,400m				・配水管の耐震化 L=800m			
	経費(千円)	128,315				131,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水道管路耐震化率(%)		目標		82	82.6	83.2	83.8	84.4	85
		実績	78	82	82.4	82.6	82.7		
(指標及びR2目標値の設定理由) 上水道施設アセットマネジメントによる		目標数値の 達成度	単年度	100%	100%	99%	99%		
			最終年度	96%	97%	97%	97%		
H30取組状況	鴨谷地区で2工区、中野地区で1工区の耐震管布設工事を行いました。								
課題と今後の取組	配水池の新設工事に伴う新設管の布設工事を優先的に行いましたので、非耐震管の布設替工事が行えませんでした。令和元年度に新設管の布設工事が終了しますので、令和2年度より非耐震管の布設替工事を行い、実績を上げていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	99%	97%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・配水管の耐震化 L=250m							
	経費(千円)	50,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付				・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付			
	経費(千円)	6,000				15,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水洗化率(%)		目標		87.5	88.4	89.3	90.2	91.1	92
		実績	76.1	87.9	89.2	90.5	91.7		
(指標及びR2目標値の設定理由) 過去5年間の水洗化率の伸び率を勘案して設定		目標数値の達成度	単年度	100%	101%	101%	102%		
			最終年度	96%	97%	98%	100%		
H30取組状況	引き続き水洗化補助金の交付制度を実施しました。								
課題と今後の取組	水洗化率は目標より早いペースで順調に伸びています。今後も補助金制度を継続実施し、水洗化の促進に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	100%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付							
	経費(千円)	15,000							
備考									
申請件数の実績により、変更									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事				・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事			
	経費(千円)	43,921				254,900			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
統合施設数 (x / 3)		目標		0	1	1	1	2	3
		実績	—	0	1	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 生活排水処理計画による		目標数値の達成度	単年度	0%	100%	100%	100%		
			最終年度	0%	33%	33%	33%		
H30取組状況	福住・剣坂地区の実施設計と、南綱引地区の工事を行いました。								
課題と今後の取組	予定通り進んでいます。引続き、令和元年度に1地区、2年度に1地区の公共下水道への接続を目指して、設計・工事を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事							
	経費(千円)	260,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)					R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉					・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
給水原価(円/m ³) 【減少指標】		目標		208.9	208.4	207.9	207.4	206.9	206.5
		実績	—	208.9	204.8	198.4	198.9		
(指標及びR2目標値の設定理由) 有収水量あたりの給水にかかる費用の割合、H28年から大規模事業が始まるためH32目標値はH27の約1%減とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	102%	105%	104%		
			最終年度	99%	101%	104%	104%		
H30取組状況	有収水量は、家庭用・公共用の減少を営業用の増加で補い、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減に努めました。								
課題と今後の取組	責任水量は年度ごとに受水状況を見ながら協議することになっていることから、引き続き受水費の削減につながるよう交渉を継続します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	104%	104%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 公道の透水性舗装を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線				・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線			
	経費(千円)	174,737				600			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
透水性舗装の実施(m)		目標		229	1,000	1,700	2,500	3,200	4,000
		実績	—	229	823	823	911		
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、透水性舗装の計画 整備延長を目標値に設定		目標数値の 達成度	単年度	100%	82%	48%	36%		
			最終年度	6%	21%	21%	23%		
H30取組状況		歩道整備に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。							
課題と 今後の取組		計画的に透水性舗装整備に取り組んでまいります。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	36%	23%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線							
	経費(千円)	1,500							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマーを推奨する事業者の割合を増やします。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発				・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発			
	経費(千円)	259				440			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
レジ袋削減協力事業者数 (量販店のみ)		目標		9	9	9	9	9	10
		実績	9	9	9	9	10		
(指標及びR2目標値の設定理由) 新規量販店協力依頼は経営に影響を及ぼすため10を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	111%		
			最終年度	90%	90%	90%	100%		
H30取組状況	播磨風土記をデザインしたマイバッグ(エコバック)を作成し、出生家族ならびに3歳未満の子供がある家庭が転入時に無料配布した。平成30年度については、300個購入し301個を配布した。また、レジ袋の削減については、新規出店の小売りに協力依頼をし10店舗となる。								
課題と今後の取組	今後とも新規出店の量販店への協力依頼をするほか、マイバッグ持参運動を推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	111%	100%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発							
	経費(千円)	440							
備考									
令和元年10月の消費税10%に対応して増額。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ごみの分別(現23分類)、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充 				<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充 			
	経費(千円)	10,500				12,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①住民1人1日あたりのゴミ 排出量(g) 【減少指標】	目標			783	780	776	773	769	766
	実績		794	793	776	760	776		
(指標及びR2目標値の設定理由) 当初値より、ごみ排出量500tの減量を設定		目標数値の達成度	単年度	99%	101%	102%	100%		
			最終年度	96%	99%	101%	99%		
②ゴミのリサイクル率(%)	目標			21	21	21	21	21	22
	実績		20	20	20	22	21		
(指標及びR2目標値の設定理由) ごみ搬出量を減量し、搬入リサイクル量を増加		目標数値の達成度	単年度	95%	95%	105%	100%		
			最終年度	91%	91%	100%	95%		
H30取組状況	ペットボトル、トレイ、空き缶、ビン回収事業に加え、剪定枝リサイクル、古繊維リサイクル、小型家電のリサイクル事業を実施している。また、資源物の集団回収補助事業を実施し、リサイクル率の向上に取組んだ。排出目標値を上回った要因としては、産業活動にともなう事業系一般廃棄物の増と、罹災による埋立ごみが多かったことが考えられる。								
課題と今後の取組	3Rの啓発(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、リサイクル率の向上に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	99%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	95%					
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充 							
	経費(千円)	12,000							
備考									
$\text{住民1人あたり1日のごみ排出量(g)} = \frac{\text{ごみの処理量} + \text{集団回収量}}{\text{9月末の人口}} = \frac{(11,264\text{t} + 1,369\text{t})}{44,582\text{人}} \div 365\text{日} \times 1,000,000 = 776.3\text{g}$									
$\text{リサイクル率} = \frac{\text{再生業者直接搬入量} + \text{中間処理で資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{資源回収量}} = \frac{(358\text{t} + 940\text{t} + 1,369\text{t})}{(11,264 + 1,369)} = 21.11\%$									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続 				<ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続 			
	経費(千円)	494				719			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
廃食用油の回収量(千L)		目標		13.0	13.3	13.6	13.9	14.2	14.5
		実績	—	12.6	10.8	10.6	10.9		
(指標及びR2目標値の設定理由) 一般家庭で手軽に実行できて、水環境の改善につながるもので指標として設定し、1割増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	97%	81%	78%	78%		
			最終年度	87%	74%	73%	75%		
H30取組状況	家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。H30年度の回収実績は10,925L、廃食用油売捌収入は29,565円でした。「与作プロジェクト」の一環としては、間伐材玉切運搬業務(6t)の委託を行い、搬入先の善防園の就労支援と薪割会を実施し、薪等の利用促進を図りました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林の整備の実施に伴い、樹木粉碎機の貸出しを行いました(4団体)。								
課題と今後の取組	H25年度をもって市外回収、BDF生産を終了した結果、回収量が減少しました。しかし、一方で市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。今後、広報、回収方法の再検討が必要であると思われます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	78%	75%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続 							
	経費(千円)	719							
備考									
間伐材玉切り・運搬委託を縮小したため、減額となっています。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 美バースへの補助金を継続します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続				・改正後単価での奨励金の交付を継続			
	経費(千円)	1,500				1,700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
資源物集団回収登録団体による年間回収量(t)		目標		1,506	1,510	1,515	1,520	1,525	1,530
		実績	—	1,506	1,451	1,409	1,369		
(指標及びR2目標値の設定理由) 資源物集団回収物の減少傾向に歯止めをかけ、資源物回収の増量(毎年5t増)を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	93%	90%		
			最終年度	98%	95%	92%	89%		
H30取組状況	資源物(新聞、雑誌、古繊維、空き缶、ペットボトル、古鉄等)に対して、「1kgあたり1円」及び「売払い金額が5円未満の場合は5円との差額」1,369,000円を、集団回収登録団体に交付し資源回収事業の促進を図った。								
課題と今後の取組	市内全域に、民間が新聞雑誌、段ボールの回収ボックスが設置され、集団回収事業で回収量が減少傾向にある。引続き事業の啓発に努め、地域におけるごみ減量とリサイクルの推進を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	90%	89%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続							
	経費(千円)	1,922							
備考									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27 環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。

基本計画・主管部課				
基本計画	1 親子で参加できる環境学習を推進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

評価検証			
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)	R元 (予算額(補正含む))
	取組内容	・こども環境講座の実施	・こども環境講座の実施
	経費(千円)	12	50

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館におけるこども環境学習の受講者数	目標		100	130	160	190	220	250
	実績	51	25	93	88	106		
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館のこども対象の環境学習講座延受講者数。当初の5倍と設定。		目標数値の達成度	単年度	25%	72%	55%	56%	
			最終年度	10%	37%	35%	42%	

H30取組状況	公民館等で子供向け環境学習講座を実施しました。
---------	-------------------------

課題と今後の取組	公民館講座だけでは講座数の確保が困難なことから、引き続き公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を開催していきます。また、親子での参加となると開催日が休日に限定されており、開催日に苦慮しています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
	②実行中	B: 予定より遅延	56%	42%	B: 目標を達成	②継続

実施計画			
実施計画	区分	R2 (予定額)	
	取組内容	・こども環境講座の実施	
	経費(千円)	50	

備考	
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。	

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・環境講座の開催				・環境講座の開催			
	経費(千円)	88				60			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数		目標		200	210	220	230	240	250
		実績	123	115	317	517	582		
(指標及びR2目標値の設定理由) 公民館の環境学習の延受講者数。当初の倍増と設定。		目標数値の達成度	単年度	58%	151%	235%	253%		
			最終年度	46%	127%	207%	233%		
H30取組状況	高齢者学級で環境学習を開催し、342人が身近な環境問題を学習しました。地域と連携し、貴重な自然環境を保全し守っていく人材を養成することを目的に公民館主催講座「加西自然環境について学ぼう！語ろう！」を開催。18人が6回にわたり、環境講座や視察、保全活動実習を学習しました。								
課題と今後の取組	今後も継続して、毎年異なるテーマで環境講座を開催します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	253%	233%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・環境講座の開催							
	経費(千円)	60							
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)				・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)			
	経費(千円)	2,004				2,122			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
環境学習実施学校数		目標		15	15	15	15	15	15
		実績	—	15	15	15	15		
(指標及びR2目標値の設定理由) 環境学習を実施している学校数を示しており、全小・中学校の学校数で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	市内小中学校全15校で環境体験学習を実施しました。校区の特性を生かした里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等農業体験などを通して、身近にある自然やそれを取り巻く環境について、充実した学習を展開することができました。特に、小学校全校で「あびき湿原」を中心として、加西市の自然について環境学習に取り組み、ふるさとの環境について考えることができました。また、地域人材を活用し、人・地域とつながる研究を進めるなど、新たな試みを行う学校の取組もありました。								
課題と今後の取組	兵庫県教育委員会が推進する「兵庫県体験学習」の一環として、小学校3年生での環境体験学習を中心に、事業が継続されています。今後は、これまでの実績に加え、小中9年間を見通した環境学習の実施、各校区の特色を踏まえたカリキュラムの整備、人材バンク等、実績の蓄積と改善が必要な時期となってきています。そして、各校区での体験をともなう新たな学習教材の開発、地域人材の発掘に努め、さらに意味ある環境体験学習を目指しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)							
	経費(千円)	2,122							
備考									
学級数の変動により、経費を見直しました。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 環境普及啓発 				<ul style="list-style-type: none"> 事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 環境普及啓発 			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ISO14001、エコアクション21取得企業団体数		目標		53	53	53	53	53	53
		実績	32	52	46	44	35		
(指標及びR2目標値の設定理由) ・普及啓発の効果として環境経営に努める事業者の数としました。目標値は取得できる事業者が限られていることから、現状維持の数値としました。		目標数値の達成度	単年度	98%	87%	83%	66%		
			最終年度	98%	87%	83%	66%		
H30取組状況	エコアクション21地域事務局ひょうごEMSセンターと連携して実施してきたエコアクション21自治体イニシャティブプログラムが、平成28年度に広域実施の方針となったことから、加西市で実施されなくなかったことも、減少傾向の一因かと思われます。								
課題と今後の取組	環境経営システムは、認証取得に数十万から百数十万円の費用がかかることから、取り組める事業者が限られています。また、一度認証を受けても、次回更新しない事業者が増えています。このため、実績として認証事業の総数が横ばい・減少傾向になってきています。本市自体もH25年度をもってエコアクション21の認証・登録を終了し、新たに「EMS自治体間相互環境監査」に取組んでいることもあり、今後の方針としては、取組内容の変更も含め、見直しを検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	66%	66%	C: 目標を下回っている	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 環境普及啓発 							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課、総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実				・教職員研修講座における環境教育講座の充実			
	経費(千円)	15				15			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数		目標		2	2	3	4	2	2
		実績	—	2	2	2	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 教員を対象とした環境学習に関する研修講座の回数を示し、当初値の倍増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	67%	50%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%		
H30取組状況	「次世代型農業施設」を見学し、農業と科学を融合させた環境にやさしい次世代農業について考える機会としました。「あびき湿原」を見学し、守り伝えるべきふるさとの自然に触れ、教科化について考える機会としました。								
課題と今後の取組	各校の環境教育担当以外にも広く受講を促すとともに、加西市の環境保全について理解を深められるよう、内容の充実を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	100%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実							
	経費(千円)	15							
備考									
環境学習に関する研修の開催数を増やすのではなく、環境を保全する態度を、まず教職員が養えるよう、内容の充実に目標を変更します。									

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西							
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり							
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	1 自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の採用				・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の採用		
	経費(千円)	4,404				9,368		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元
①地域づくりコーディネーター数	目標		2	2	4	4	4	4
	実績	—	0	2	2	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 地域おこし協力隊の活動の内、コーディネーターとして配置する人員数。		目標数値の達成度	単年度	0%	100%	50%	75%	
			最終年度	0%	50%	50%	75%	
②★地域おこし協力隊員数【6-91】	目標		2	4	6	6	6	6
	実績	—	2	4	4	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 最大6名体制を2年取り組んだ後、事業の収束をはかる。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	67%	50%	
			最終年度	33%	67%	67%	50%	
H30取組状況	○年度当初(H30年4月)は、2名(2期生)でスタートし、H30年5月に3期生1名を採用し、3名体制。但し、2期生のうち1名は加西市内で起業・定住の目途がたったため、H30年8月末協力隊退任。残りの2期生1名は、隊員のビジョンと市の求める隊員活動とのズレが生じたため、H30年4月末で退任。○次年度に新たな協力隊を採用するため、受け入れ地域団体(ふるさと創造会議)を対象に、協力隊研修を実施。							
課題と今後の取組	【課題】受け入れ地域団体(ふるさと創造会議)の協力隊制度及び活動内容の周知・理解不足 【今後の取組】令和元年6月に2名の協力隊を募集							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
①	②実行中	B: 予定より遅延	75%	75%	C: 目標を下回っている	③見直し		
②	②実行中	B: 予定より遅延	50%	50%				
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の採用						
	経費(千円)	9,368						
備考								
・R元年度では、新たに協力隊(4期生)を2名採用する予定です。 ・受け入れ元となる地域(ふるさと創造会議)からの課題やニーズをヒアリングし、課題やニーズにあった協力隊を募集・採用予定です。								

平成30年度評価

政策・施策								
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西							
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり							
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	2 社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・若者ターミナルスポット運営事業 ・起業支援				・若者ターミナルスポット事業 ・起業支援		
	経費(千円)	1,486				982		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①NPO法人数	目標		21	20	25	25	25	35
	実績	11	19	20	20	19		
(指標及びR2目標値の設定理由) NPO法人立ち上げ支援等により着実に増えており、今後は、ふるさと創造会議の受け皿としても期待できるため当初の3倍を想定。	目標数値の達成度	単年度	90%	100%	80%	76%		
		最終年度	54%	57%	57%	54%		
②★加西サポーター登録者数【6-90】	目標		24	100	150	200	300	300
	実績	—	24	50	81	81		
(指標及びR2目標値の設定理由) 総務省とともに行ったマチホメコミュニティによる都市部のファンづくりが好評で毎年50名のコミュニティが期待できるため。	目標数値の達成度	単年度	100%	50%	54%	41%		
		最終年度	8%	17%	27%	27%		
H30取組状況	若者ターミナルスポット「ココカラ」でカフェやレストランを起業したい人のためのビジネススクール『ココカラカレッジ2期』を開校し、3名が受講しました。企業に向けてのセミナーに加え、4か月にわたって実習を行いました。さらに起業に向けて商工会議所と連携しました。							
課題と今後の取組	カフェ等起業したい受講生が毎年一定数集まることは見込めないため、毎年の開校は見合わせることにしました。若者や女性を初め、起業したい人やチャレンジしたい人が、目標に向け利用しやすいチャレンジスペースとなるよう、期間限定で希望者に利用してもらうような取り組みをします。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)				
①	②実行中	B: 予定より遅延	76%	54%	C: 目標を下回っている	②継続		
②	②実行中	B: 予定より遅延	41%	27%				
実施計画								
実施計画	区分	R2 (予定額)						
	取組内容	・若者ターミナルスポット事業 ・起業支援						
	経費(千円)	982						
備考								
若者ターミナルスポットをカフェなどの起業に向けたスクールにし起業支援を行っていたが、R元年度以降は運営方法を変更し、自主運営できるような講座を開催する。 また、空いた時間や空いたスペースの効果的な利用を検討する。								

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・登録団体による市民対象の活動を行う				・登録団体による市民対象の活動を行う			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ボランティア活動希望登録者数		目標	/	—	20	100	200	200	200
		実績	—	—	—	263	286		
(指標及びR2目標値の設定理由) ボランティア活動の充実を図るため登録者数の増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	263%	143%		
			最終年度	—	—	132%	143%		
H30取組状況	地域交流センターにて市民や地域の問い合わせに関して登録団体等のマッチングをしています。								
課題と今後の取組	地域交流センターの0登録団体に対して、市民参画活動に関する講演会を開催します。その中で団体間でコラボしたイベント等を開催したり、市民の方向けに出前講座を提供していくことを呼び掛けていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	143%	143%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・登録団体による市民対象の活動を行う							
	経費(千円)	0							
備考									
当初、ボランティア活動の人材バンクを設置する予定で、その登録者数をカウントする予定であったが、H29より指標の数値を地域交流センターに登録するボランティア団体の会員数を反映する。 登録団体による市民対象のワークショップやセミナーをボランティア活動とする。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・創造会議の運営及び立上支援				・創造会議の運営支援 ・創造会議の組織強化及び計画策定支援等			
	経費(千円)	15,600				16,850			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ふるさと創造会議設置数【4-73】		目標		7	9	11	11	11	11
		実績	—	8	9	11	11		
(指標及びR2目標値の設定理由) 小学校区の数。ただし、北条は2校区を一本化。		目標数値の達成度	単年度	114%	100%	100%	100%		
			最終年度	73%	82%	100%	100%		
H30取組状況	H30年3月をもって市内全地区において、ふるさと創造会議(まちづくり協議会)が設立済。H30年度は各創造会議の組織運営を中心に支援。中でも、設立当初の日吉地区と役員交代があった西在田地区にはまちづくりアドバイザーに参画いただき、重点的に支援。また、団体同士の情報交換や活動内容の共有を目的に、「ふるさと創造大会議」を実施。								
課題と今後の取組	【課題】①組織メンバー及び事業(イベント中心の事業)の硬直化、②限られたメンバー(役員)間のみでの情報共有 【今後の取組】①事務局体制の強化、②まちづくり活動全般に係る勉強会の実施、③アドバイザーの活用								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・創造会議の運営支援 ・創造会議の組織強化及び計画策定支援等							
	経費(千円)	16,850							
備考									
<p>・H29年度に全創造会議が設立されたため、R元年度以降は、各創造会議の組織強化や計画策定等を支援予定です。</p> <p>・地域づくりに関する意識醸成を図るため、地域づくりに関する様々なテーマで、創造会議関係者を対象に勉強会を実施予定です。</p>									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載				・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
HP掲載件数		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	—	2	2	1	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) タウンミーティングが2回程度/年開催されるため		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	50%	50%		
			最終年度	100%	100%	50%	50%		
H30取組状況		平成30年10月16日から11月13日にかけて、市内10ヶ所をまわるタウンミーティングを開催しました。平成29年度の同会で多くの意見をいただいた加西病院のその後の取り組み状況の報告と、各地域の要望書をもとに、地域の課題、要望事項、地域の将来計画、地域づくりの提言について意見交換しました。行政主導では、1回のみで開催となりましたが、代わりに住民企画型タウンミーティングを下里地区と富合地区の2ヶ所で実施しました。							
課題と今後の取組		住民企画型タウンミーティングの申請をさらに増やすため、区長会での広報活動や広報紙での呼びかけを積極的に行う予定です。また、令和元年度は、引き続き病院の経営問題と市の財政状況を市民の方にわかりやすくプレゼンし、意見交換をする予定です。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	50%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★集落支援員の配置を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ふるさと創造会議運営交付金による集落支援員(創造会議内の事務局職員等)の経費支援				集落支援員導入に向けた調査や研修会の実施			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★集落支援員数【4-72】		目標		0	9	11	11	11	11
		実績	—	0	0	0	0		
(指標及びR2目標値の設定理由) 各小学校区に1名を配置する計画		目標数値の達成度	単年度	—	0%	0%	0%		
			最終年度	—	0%	0%	0%		
H30取組状況	集落支援員制度に関する他市事例の調査								
課題と今後の取組	【課題】集落支援員制度全般の調査不足 【今後の取組み】ふるさと創造会議を対象にした集落支援員制度にかかるの勉強会の実施及び他市事例の調査								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	①未着手	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	集落支援員の導入検討							
	経費(千円)	0							
備考									
<ul style="list-style-type: none"> 集落支援員制度は、各集落への「日記り」として、集落の巡回や状況把握等を実施いただくことから、集落支援員の導入については、地域づくり組織である「ふるさと創造会議」を対象に導入予定。 導入にあたっては他市の集落支援員の状況を視察するほか、他市で活動中の集落支援員の方を招き研修会を実施する予定です。 									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度				・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度			
	経費(千円)	324				400			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率(%)		目標		50	50	50	50	50	60
		実績	—	24	24	24	24		
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市は第二次産業が多く、女性が働く場はある。子育てが終わった女性の就業を想定した。		目標数値の達成度	単年度	48%	48%	48%	48%		
			最終年度	40%	40%	40%	40%		
H30取組状況	起業を希望する女性が助成金を申請し、カフェレストランを起業しました。 男女共同参画の意識啓発の映画上映や、セミナー、女性の起業相談、就職セミナー、また男女共同参画講演会などを開催しました。								
課題と今後の取組	男女共同参画の意識啓発に一層取り組み、女性の社会進出を目的にしたセミナー等を開催します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	48%	40%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度							
	経費(千円)	400							
備考									
助成金の補助だけでなく、男女共同参画社会の実現に向け、女性の就労支援に関するセミナーや男女の働き方を見直すためのセミナーを開催することにより、女性の社会進出を促すことに取り組みます。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業				・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業			
	経費(千円)	200				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市の女性管理職登用率(%)		目標		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
		実績	7	3.4	3.9	7.4	5.1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 政府目標数値30%に対して、加西市は第二次産業が多く、自治会でも男性中心で慣例があるため、政府目標の半分の数値を目標とした。		目標数値の達成度	単年度	34%	39%	74%	51%		
			最終年度	23%	26%	49%	34%		
H30取組状況	35歳以上の女性職員向けの研修を開催し、意識改革に取り組みました。								
課題と今後の取組	病院や幼保の女性管理職はいますが、本庁内の女性管理職がまだ少ない状態です。女性職員の意識改革と並行して、男性職員も含めたワークライフバランスの研修を開催し、男性も女性も働きやすく、活躍できるように取り組みます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	51%	34%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成				・外国人児童の学習サポート ・支援者育成			
	経費(千円)	200				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内における日本語講座の実施教室数		目標		2	3	4	4	5	5
		実績	—	2	2	2	3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 今後市内に外国人の増加が見込まれるため、受け入れ教室を増やす必要がある。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	50%	75%		
			最終年度	40%	40%	40%	60%		
H30取組状況	ねひめカレッジが日本語教室を開室しました。学校に通っているが日本語があまり理解できない児童とその保護者のための日本語教室とし、また長期休暇中は学習をサポートしています。								
課題と今後の取組	学校の授業についていけない児童とその保護者のための日本語教室を開室するとともに、増加する外国人に対応できるように整備していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	75%	60%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成							
	経費(千円)	200							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解と情報発信 ・プルマン市への中学生等の派遣 ・スワン市への高校生等の派遣 				<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解と情報発信 ・プルマン市からの中学生等の受入 ・スワン市への高校生等の派遣 ・スワン市からの高校生等の受入 			
	経費(千円)	6,000				6,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内における各種外国文化関係団体の会員数		目標		30	33	35	40	45	50
		実績	—	13	30	91	129		
(指標及びR2目標値の設定理由) NPO法人に委託すると同時に会員が激減し、再度PRをし、会員増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	43%	91%	260%	323%		
			最終年度	26%	60%	182%	258%		
H30取組状況	ねひめニュースレターとして、3か月に1回情報発信をし、年6回の国際理解講座を開催しました。また、市が主催して1回の国際理解講座を開催しました。								
課題と今後の取組	国際理解に興味がある人が固定化しているため、会員数を増やすことによって、参加者を新しく募集します。プルマン市・スワン市に訪問した生徒に架け橋となっていただけるよう定期的に情報交換をします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	323%	258%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解と情報発信 ・プルマン市への中学生等の派遣 ・スワン市への高校生等の派遣 							
	経費(千円)	6,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人権推進課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催 			
	経費(千円)	9,139				9,200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
人権学習会参加者数		目標		2,400	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000
		実績	2,700	2,592	3,787	3,841	3,039		
(指標及びR2目標値の設定理由) 住民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりのため、様々な人権課題を学習する機会を広げていきます。		目標数値の達成度	単年度	108%	146%	142%	109%		
			最終年度	86%	126%	128%	101%		
H30取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどいを開催し、人権ポスター・標語の表彰や講演会を実施しました。(参加者550人) ・地区人権学習会(6地区)、まちかどフォーラム(48町)を開催し、合計1,038人が参加しました。 ・自主参加型の学習機会として、公民館コラボ事業や加西市人権教育協議会と連携した太鼓作り教室や人権フィールドワーク、人権問題を扱った映画上映会などを開催し、483人の参加がありました。 ・自治会、事業所、団体等が自主開催する研修会に講師派遣、資機材の貸出等の実施援助をおこない、456人の参加がありました。 ・その他、公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、512人の参加がありました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・地区人権学習会、まちかどフォーラム(町別学習会)の内容、進行について、参加者から「マンネリ化している」「意見発表を求められるので参加したくない」などの意見がだされたり、町の役員の責任出席化している状況などから、内容、進行方法等について音楽を取り入れるなど、楽しみながら学習できる手法を取り入れる等の工夫をしています。 ・自主参加型の学習機会を多く実施し、また、事業所、団体等による自主的な研修会実施に対する講師派遣、資機材貸出などの支援策を充実し、市民自らが人権について関心をもち、考えていただけるよう努めていきます。 							
自己評価		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
		②実行中	S: 予定より早く進行	109%	101%	A: 目標を上回って達成		②継続	
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催 							
	経費(千円)	9,200							
備考									
・市民会館が耐震化工事のため、公民館コラボ事業は休止します。									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用				・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市役所の正規職員総数 (消防、医療職員除く) 【減少指標】		目標		332	332	330	330	328	326
		実績	350	332	332	329	326		
(指標及びR2目標値の設定理由) 組織の見直しや必要な部門に職員を重点配置しつつ、職員数の純減(△6名)に取り組む。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	101%		
			最終年度	98%	98%	99%	100%		
H30取組状況	新規採用職員数を退職補充にとどめつつ再任用制度を活用し16名の任用を行い、当初目標と比較し正規職員を4名減としました。								
課題と今後の取組	行政ニーズの多様化・高度化に対応するため、行政職を中心に業務量は増加している状況にあり、働き方改革やワークライフバランスに配慮した人員体制の確保を行っていく必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実				・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職員研修成果発表回数		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	2	2	2	2	2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 人事評価による成果発表会の実施対象の拡大を図る。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	67%	67%	67%	67%		
H30取組状況	人事評価の結果に基づく管理・監督職員による成果発表会を実施しました。 また、加西市行政及び議会活動報告会においても、市民に向けて管理職員の成果発表を行いました。								
課題と今後の取組	今後も引き続き成果発表会を開催し、あわせて内部研修の充実を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実							
	経費(千円)	0							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10	健全な行財政運営の確立							
施策	30	行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 8	民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催(共生ビジョン改定) ・次期総合計画策定に向けたアンケート調査 ・総合計画審議会の設置準備 			
	経費(千円)	0				8,856			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】		目標		28	28	28	29	30	30
		実績	—	28	28	28	28		
(指標及びR2目標値の設定理由) 広域的に連携協力し効率的な行政サービスを推進するため連携事業数の増加を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	97%		
			最終年度	93%	93%	93%	93%		
H30取組状況	第5次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、地域の産学官金労言老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計4回の会議を開催しました。定住自立圏においては、7月に北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、外部委員による評価検証を行いました。								
課題と今後の取組	加西市元気なまちづくり市民会議においては、平成30年度の会議にて指摘があった事項(評価方法等)について充実させ、実りある市民会議の運営に取り組めます。定住自立圏においては、次期計画の策定(令和元年度末)に向けて連携事業の評価・見直し等を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	93%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催 ・次期総合計画の策定作業 ・評価手法の再検討 							
	経費(千円)	6,648							
備考									

平成30年度評価

政策・施策	
基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・維持管理実施				・維持管理実施			
	経費(千円)	648				648			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市の公有財産の把握と管理運営方針の策定		目標	計画策定	計画策定	維持管理				
		実績	-	-	-	-	-	-	-
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-	-	-
			最終年度	-	-	-	-	-	-
H30取組状況	導入したデータ管理システムの保守およびデータ更新等を委託し、正確な情報処理と業務の効率化を進めました。								
課題と今後の取組	総合管理計画方針に沿った、各施設の個別計画を令和2年度末までに策定し、維持管理を行う必要があります。固定資産台帳データ管理及び更新(入力)のマニュアル化を図る必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・維持管理実施							
	経費(千円)	648							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10	健全な行財政運営の確立							
施策	30	行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5	行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。							
主管部課	部名	総務部			課名	財政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営				・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①基金残高(財政調整+減債)(億円)	目標			26	23	24	24	24	24
	実績		18	26.5	21	21	21		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持	目標数値の達成度	単年度	102%	91%	88%	88%		
		最終年度	110%	88%	88%	88%			
②全会計市債残高(億円) 【減少指標】	目標			435	436	443	439	433	423
	実績		457	427	422	420	413		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 公債費負担適正化計画に基づき、最終年度においてH26の市債残高を下回る数値設定	目標数値の達成度	単年度	102%	103%	105%	106%		
		最終年度	99%	100%	101%	102%			
③実質公債費比率(%) 【減少指標】	目標			10.5	9.5	8	8	8	8
	実績		20.3	10.3	9.3	8	7.9		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の実質公債費比率を下回る数値設定	目標数値の達成度	単年度	102%	102%	100%	101%		
		最終年度	71%	84%	100%	101%			
④★将来負担比率(%)【6-94】 【減少指標】	目標			70	70	70	70	67	65
	実績		—	61.6	68.6	76.9	72.7		
	(指標及びR2目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の将来負担比率を下回る数値設定	目標数値の達成度	単年度	112%	102%	90%	96%		
		最終年度	105%	94%	82%	88%			
H30取組状況	基金残高は、前年度の病院への繰出等の影響により基金積立は少なく、前年と同水準のまま目標を下回りましたが、ふるさと納税推進事業の更なる強化をはじめ、歳入の確保・歳出の適正化に努めた結果、実質収支に大きな改善が見込まれ、R元年度には多額の基金積立を行い目標に近づくことができそうです。また市債残高は引き続き減少し、単年度・最終年度ともに目標を達成できています。								
課題と今後の取組	今後、人口減少・高齢化が進行するなか、社会保障、子育て支援、教育、社会資本整備など、多様化し増大する住民ニーズに対する的確な対応が求められています。歳出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営を目指します。								

平成30年度評価

政策・施策						
基本政策	10 健全な行財政運営の確立					
施策	30 行政サービスの向上と効率経営					
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H30)	最終(R2)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	88%	88%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	106%	102%		
③	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	101%		
④	②実行中	B: 予定より遅延	96%	88%		
実施計画						
実施計画	区分	R2 (予定額)		/	/	
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営				
	経費(千円)	—				
備考						

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	税務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市税等収納向上対策 市県民税特別徴収の推進 口座振替推進 滞納処分の強化 				<ul style="list-style-type: none"> 市税等収納向上対策 市県民税特別徴収の推進 口座振替推進 滞納処分の強化 			
	経費(千円)	6,707				8,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
収納率 上段:現年分 下段:過年分		目標	—	98.8 18.0	98.8 18.0	98.8 18.1	98.8 18.2	98.8 18.3	98.8 18.4
		実績		98.8 17.9	98.8 17.6	98.8 18.6	99.0 23.3		
(指標及びR2目標値の設定理由) 現年分は高い収納率を保ちつつ、過年分の率0.1%/年を伸ばす。		目標数値の達成度	単年度	100%	98%	103%	128%		
			最終年度	97%	96%	101%	127%		
H30取組状況	兵庫県整理回収チームに毎月来ていただき、処理困難案件等について、指導してもらいながら差押等により納税交渉を行い、徴収額増となりました。								
課題と今後の取組	兵庫県からの派遣が平成30年度をもって終了となり、直接来てもらったの指導が受けられなくなりましたが、昨年教えていただいたノウハウを生かし、収納の向上に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	128%	127%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市税等収納向上対策 市県民税特別徴収の推進 口座振替推進 滞納処分の強化 							
	経費(千円)	8,000							
備考									

平成30年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H30 (決算額)				R元 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・事業者への立ち入り調査、指導				・事業者への立ち入り調査、指導			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
一般競争入札の割合(%)		目標		19.2	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0
		実績	—	19.2	21.2	29.3	28.2		
(指標及びR2目標値の設定理由) 入札制度の改正により一般競争入札割合の3%増を目指す		目標数値の達成度	単年度	100%	101%	133%	128%		
			最終年度	87%	96%	133%	128%		
H30取組状況	建設業者研修会の開催や、工事成績等を重視した入札加点制度の実施により、市内事業者の育成を図りました。また、公契約条例に基づく調査を行い適正価格での応札と、公共事業従事者の労働環境の両立に努めました。								
課題と今後の取組	公共事業入札において、入札執行者及び入札参加者の人的負担を軽減するため電子入札の導入を検討します。また、公契約条例の遵守については、下請業者を含めた周知を図る必要があり、今後も現地立ち入り調査を継続していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H30)	最終(R2)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	128%	128%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	R2 (予定額)							
	取組内容	・事業者への立ち入り調査、指導							
	経費(千円)	0							
備考									